TOSHIBA
Leading Innovation >>>

CELL REGZA

ハードディスク内蔵
地上･BS･110度CS
デジタルハイビジョン液晶テレビ

55X1

取扱説明書 **操作編**



卓上スタンドは別売です。

- 最初に別冊の「準備編」をお読みください。
- 本書ではテレビの操作のしかたについて説明しています。
- 映像や音声が出なくなった、操作ができなくなったなどの場合は、「困ったときは」をご覧ください。

このたびは東芝テレビをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
お求めのテレビを安全に正しく使っていただくため、お使いになる前にこの取扱説明書「操作編」と別冊の「準備編」をよくお読みください。
お読みになったあとは、いつも手元に置いてご使用ください。

もくじ

はじめに

テレビを見る

過去の番組を見る ～タイムシフトマシン～

映像・音声を調整する

録画・予約をする

レグザリンクを使う

ブロードバンドを楽しむ

困ったときは

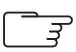
その他

もくじ つづき

※ 以下は別冊の内容です。（一部省略しています。準備編もよくお読みください）

準備編（別冊）

この取扱説明書内のマークについて


参照していただきたい情報が記載されているページの番号を示しています。



機能などの補足説明、参考にしていただきたいこと、制限事項などを記載しています。



取扱上のお願いを記載しています。

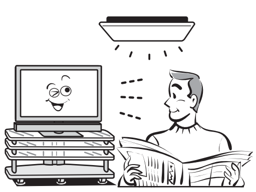


取扱上のご注意を記載しています。

テレビの正しい見かた

■ 部屋の明るさは新聞が読める程度で

- 明るすぎ、暗すぎは目を疲れさせます。
  ときどき目を休めましょう。



■ 音量は適切に

- 音量は周囲に迷惑にならないように、適切な大きさでお聞きください。特に夜間はご注意ください。

本機の特長

ハードディスク録画機能

内蔵ハードディスクや市販のUSBハードディスクでハイビジョン放送をそのままの画質で録画･再生することができます。

● タイムシフトマシン録画機能で、最大8チャンネルの地上デジタル放送を内蔵ハードディスクに毎日自動的に同時録画することができます。
　※自動録画された番組を視聴したり、保存したりすることができます。32

● 内蔵ハードディスクやUSBハードディスクにデジタル放送の2番組同時録画ができるので、録画したい番組が重なった場合に便利です。

● 連続ドラマを1回の予約操作で毎回自動的に録画する「連ドラ予約」機能57や、登録したニュース番組を自動的に録画し、録画された最新のニュース番組をボタン一つで見られる「今すぐニュース」25など、便利な録画機能を搭載しています。

レグザリンク搭載

● 本機のリモコン操作で以下の視聴ができます。
　• 内蔵ハードディスクおよびUSBハードディスクの録画番組64
　• DLNA認定サーバーの動画･静止画･音楽コンテンツ73 77 82
　• 内蔵ハードディスクに収録されている名画コンテンツ、およびSDメモリーカードなどの写真77

● 録画番組を著作権保護条件に従ってダビングすることができます。71

● 本機と東芝製のレグザリンク対応機器や東芝推奨のHDMI連動機能対応のAVシステム機器をHDMIケーブルで接続すれば、本機のリモコンで機器の基本操作をすることができます。86

ブロードバンド対応

本機でブロードバンドが楽しめます。

● キーワードでインターネット検索や画像検索ができる「Yahoo!　JAPAN」89、幅広いジャンルの映像や、ニュース、株価、気象情報などの役立つ情報をチェックできる「アクトビラ」92に対応しています。

● 有害サイトなどから青少年を保護することを意図した閲覧制限機能（レグザ版あんしんねっと）を備えています。（準備編89）

おまかせ機能

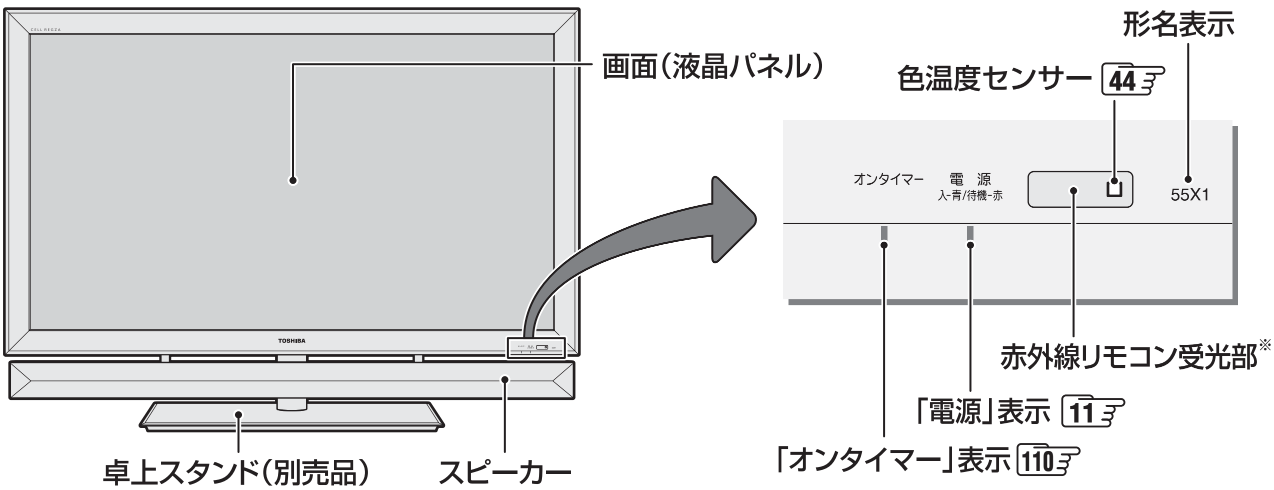
● 映像メニューの「おまかせ」37によって、周囲の明るさと見ている映像の情報を本機が判断し、常に見やすい画質に自動調整します。また、「レゾリューションプラス」41によって、緻密で精細感のある映像がご覧になれます。

● 音声メニューの「おまかせ」47によって、放送番組のジャンルやシーン（音楽）、CMなどを本機が検出し、それぞれに適した聴きやすい音声に自動調整します。

各部のなまえ

- イラストは、見やすくするために誇張、省略しており、実際とは多少異なります。
- 詳しくは［ ☞］内のページをご覧ください。（代表的なページを示しています）

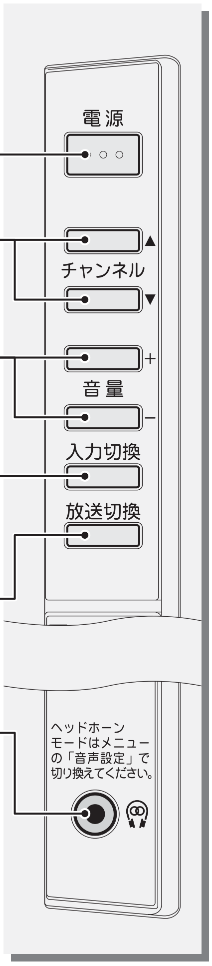
モニター前面



※ **赤外線リモコンについて**
- 赤外線リモコンは本機に付属されていません。
- お買い上げ時は、東芝レグザシリーズ用の赤外線リモコンで本機の一部の操作ができるように設定されています。設定を変える場合は、「赤外線リモコン設定」（準備編 94☞）をご覧ください。

モニター操作部

【横から見た図】



電源 11☞
- 電源を「入」、「切」にします。

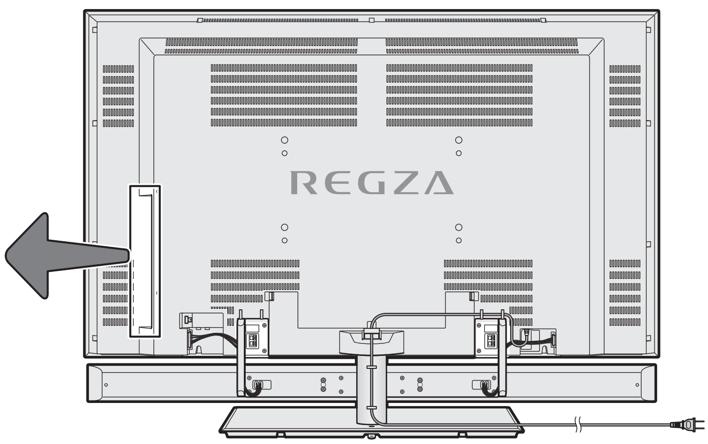
チャンネル▲·▼ 12☞
- チャンネルを順番に切り換えます。

音量 +·− 11☞
- 音量を調節します。

入力切換 26☞
- 入力を切り換えます。

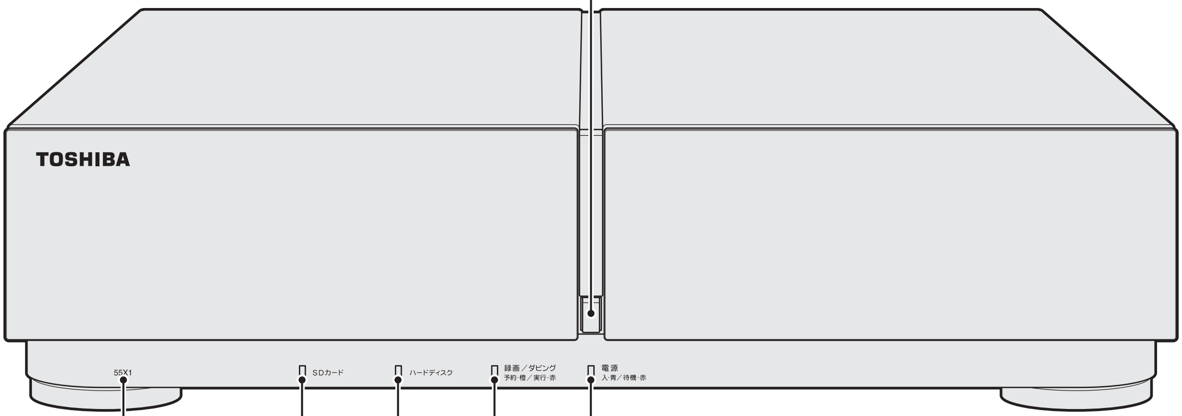
放送切換 12☞
- 放送の種類を切り換えます。

ヘッドホーン端子
- ヘッドホーンで聴くときに、プラグをここに差し込みます。
モノラルイヤホーンを接続した場合は左音声だけが聞こえます。
- ヘッドホーンからの音の出かたなどを設定することができます。31☞



チューナー前面

電源ボタン 11
- 電源を「入」または「待機」にします。



形名表示

「電源」表示 11

「録画/ダビング」表示 61

「ハードディスク」表示
- 内蔵ハードディスクが動作しているときに青色に点灯します。
- ❗表示の点灯中に電源プラグを抜くと、故障やコンテンツ消失などの原因になります。

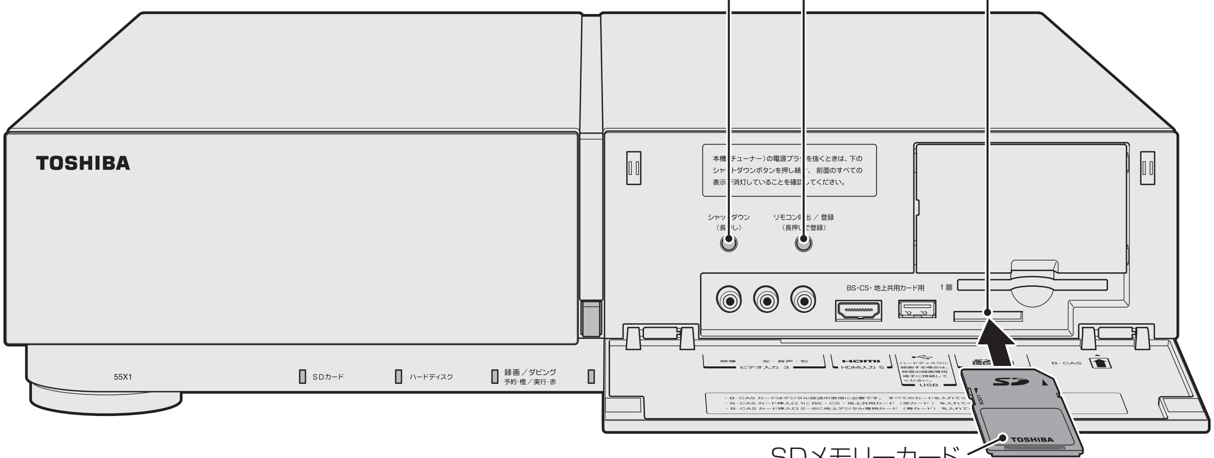
「SDカード」表示
- SDメモリーカードへのアクセス時に青色に点灯します。
- ❗点灯時はSDメモリーカードを抜かないでください。

チューナー前面とびら内

リモコン呼出/登録ボタン 10

シャットダウンボタン
- 本機（チューナー）の電源プラグを抜く場合は、その前にこのボタンを押し続けて、前面の4個の表示ランプがすべて消えるまで待ちます。
- ❗表示の点灯中に電源プラグを抜くと、故障やコンテンツ消失などの原因になります。

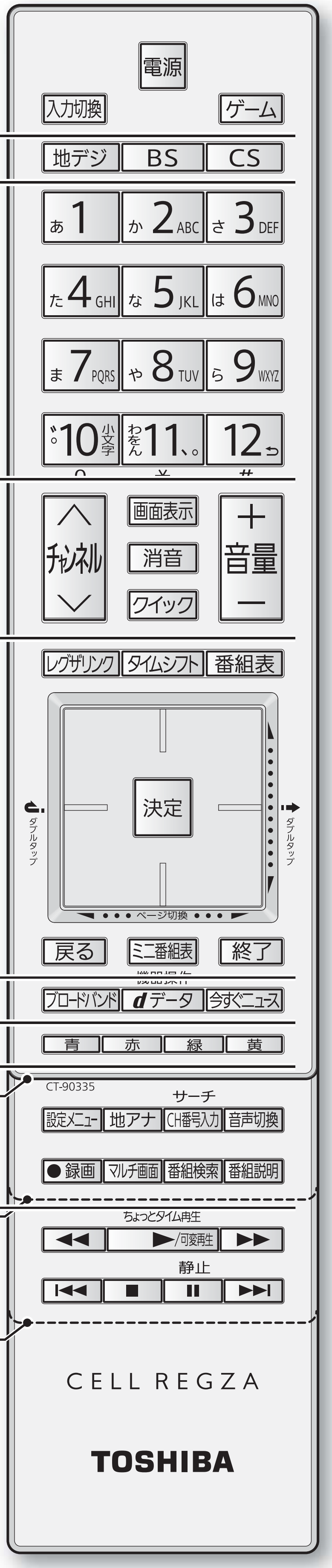
SDメモリーカード挿入口 77
- SDメモリーカードの写真を見ることができます。



SDメモリーカード

●**SDメモリーカード挿入口について**
- SDメモリーカード専用です。ほかの種類のメモリーカードなどは挿入しないでください。
- 図の向きにして差し込みます。
- 取り出すときは、いったん押し込みます。
- ❗SDメモリーカードを取り出すときは、電源を「待機」にしてください。

リモコン操作ボタン



- ●電源 入/待機 ………… 11☞
- ●ビデオやDVDなどを見る………… 26☞
- ●ゲームを楽しむ ………… 26☞

- ●デジタル放送の種類を切り換える………… 12☞

- ●チャンネルを選ぶ………… 12☞
- ●文字を入力する ………… 114☞

- ●チャンネルを順番に選ぶ ………… 12☞
- ●番組情報を見る ………… 15☞
- ●音を消す………… 11☞
- ●クイックメニューを使う………… 11☞
- ●音量を調節する ………… 11☞

- ●レグザリンクを使う ………… 62☞
- ●地デジの過去番組を視聴する(タイムシフトマシン) …… 32☞
- ●番組表で番組を選ぶ ………… 16☞
- ●ミニ番組表で番組を選ぶ ………… 17☞
- ●メニューから選ぶ、決定する
- ●メニュー操作で一つ前の画面に戻る
- ●操作を終了する
- ●ワンタッチリプレイ(少し戻す) ………… 65☞
- ●ワンタッチスキップ(少し進む) ………… 65☞

- ●ブロードバンドを楽しむ ………… 89☞
- ●データ放送を見る………… 14☞
- ●最新のニュース番組を見る ………… 25☞

- ●カラーボタン…………多様な用途があります

- ●設定メニューを表示させる
- ●地上アナログ放送を見る………… 12☞
- ●チャンネル番号入力で選局する………… 12☞
- ●音声を切り換える ………… 30☞
- ●録画をする………… 53☞
- ●マルチ画面で見る………… 13☞
- ●番組を検索する ………… 21☞
- ●番組説明を見る ………… 15☞

- ●再生、可変速再生をする………… 65☞
- ●ちょっとタイム再生をする ………… 54☞
- ●早送り、早戻しをする ………… 65☞
- ●チャプターをスキップする ………… 65☞
- ●録画や再生を停止させる ………… 54☞ 65☞
- ●再生を一時停止させる ………… 65☞
- ●映像を静止させる………… 31☞

・パネルが2段階にスライドします。

リモコンの取扱い

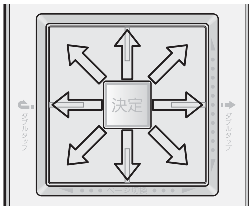
本機のリモコンについて

- 本機のリモコンは電波方式を採用しています。このため、電波が届く範囲であればどこからでも操作ができます。（テレビに向ける必要はありません）
- リモコンでテレビの操作ができるようにするには、リモコンをテレビに登録する必要があります。「リモコンを登録する」（準備編 34）をご覧ください。
- 本機のリモコンを操作したときに他の機器や装置などに電波障害を与える場合は、「リモコンについて」（準備編 110）をお読みのうえ、裏表紙記載の「東芝テレビご相談センター」にご相談ください。

タッチパッド／カーソルボタンの使いかた

※ 義手の場合や厚い手袋を着用するなど、皮膚が触れない状態では、なぞる操作やダブルタップ操作はできません。
※ なぞる操作やダブルタップ操作をしているときに操作ができなくなったときは、決定を3秒以上押し続ければ操作できるようになります。

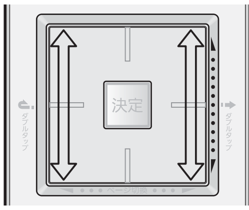
なぞる（選択）



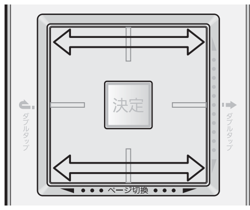
■なぞって使うとき（タッチパッド機能）

- タッチパッドに指先を触れた状態で の方向になぞると、選択する対象が矢印の方向へ移動します。
- 手書きで文字入力をすることができます。 115
- タッチパッドの上端または下端、左端または右端の部分をなぞると、ページ切換ができます。（番組表など、ページが複数あるときに使用できます）

なぞる（上下ページ切換）



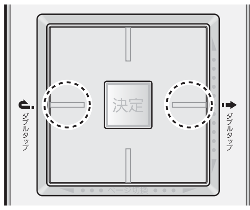
なぞる（左右ページ切換）



■ダブルタップ（タッチパッド機能）

- ：録画番組などの再生時のワンタッチリプレイ（少し戻す）、
  ：録画番組などの再生時のワンタッチスキップ（少し進む）は、
  ◌の部分をダブルタップします（押さずに、指先で2回続けて軽くたたく）。 65

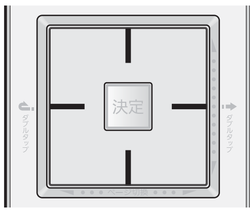
ダブルタップ



■押して使うとき（カーソルボタン機能）

- タッチパッドの の部分を押すと、押すたびに選択対象が一つずつ移動します。（上を押すと上へ移動します）

押す（選択）



■操作手順説明文中の表記について

- メニュー操作などでは、操作する部分を黒く表記します。以下の例の場合は、上や下を押すことを意味します。

  例 調整する項目を で選び、････

- ワンタッチリプレイ、ワンタッチスキップは、 、 のように表記します。

リモコンの取扱い つづき

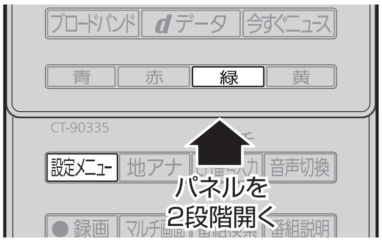
リモコンのタッチパッド機能の停止設定について

- 前ページのタッチパッド機能を使用しないように設定することができます。
- 設定や操作をするとき以外にも、タッチパッドに手を触れていると乾電池が消耗します。タッチパッドを使用しないように設定すれば、乾電池の寿命が通常よりも長くなります。

1 リモコンの 緑 を押しながら、リモコンから音が出るまで 設定メニュー を押し続ける

- 断続音「ピ・ピ」が鳴り、タッチパッド機能を使用しない設定になります。

※ タッチパッド機能を使用する場合は、同じ操作をしてください。連続音「ピー」が鳴ります。(同じ操作の繰り返しで、機能のオンとオフが切り換わります)



リモコン呼出機能について

- 本機にはリモコンの呼出機能があります。
- リモコンが見当たらないときに、チューナー前面とびら内のリモコン呼出/登録ボタンを押せば、リモコンのブザーが鳴って所在を知らせます。
  - この機能は、チューナーの電源が「入」のときに使用できます。
  - この機能を使用する場合は、以下の手順によるリモコン側の設定と、「呼出機能設定」(準備編 91)が必要です。

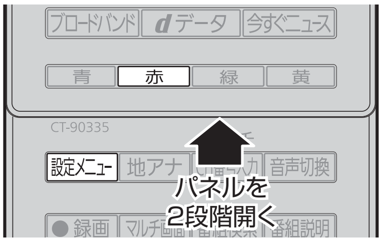
※ リモコンのブザー音を止めるには、 終了 などを押します。

リモコンの呼出機能を使用する場合のリモコン設定

- 以下の設定をすればリモコンの呼出機能が使用できるようになります。
- **リモコンを使用していないときにも、常にテレビ本体からの呼出電波の待受け状態になるので、乾電池の寿命が短くなります。**

1 リモコンの 赤 を押しながら 設定メニュー を押し続ける

- リモコンのブザーが鳴ります。
  連続音「ピー」3回(呼出機能オン)と断続音「ピ・ピ」(呼出機能オフ)が繰り返されます。



2 連続音が鳴ったら、 赤 と 設定メニュー から手を離す

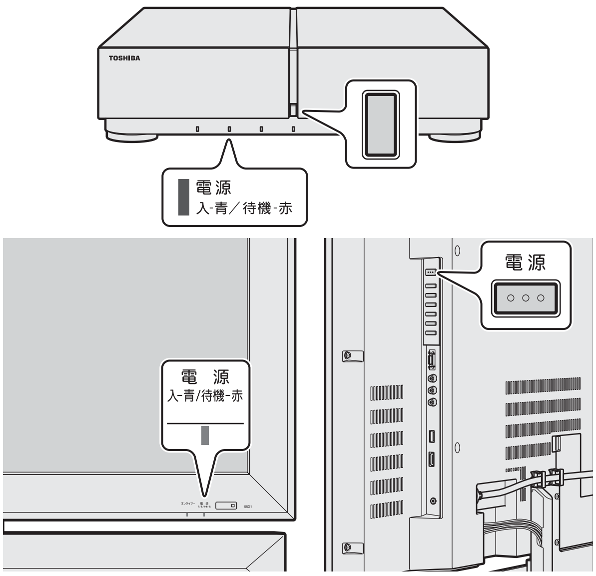
- 呼出機能が使用できる状態に設定されます。
- 呼出機能を使用しないように設定する場合は、断続音が鳴ったときにボタンから手を離します。

基本操作

電源を「入」にする

1 リモコンの 電源 を押す

- チューナーとモニターの電源が「入」になり、「電源」表示が青色に点灯します。
- チューナーやモニターの電源ボタンでも同じ操作ができます。



電源を「入」から「待機」にする

1 リモコンの 電源 を押す

- チューナーとモニターの電源が「待機」になり、「電源」表示が赤色に点灯します。
- チューナーの電源ボタンでも同じ操作ができます。

モニターの電源ボタンを押した場合

- モニターは電源が「切」になり、「電源」表示が消灯します。
- チューナーは電源が「待機」になります。
- リモコン操作を受け付けなくなります。
  電源を「入」にするには、チューナーまたはモニターの電源ボタンを押します。

音量を調節する

1 リモコンの ＋音量－ またはモニターの ＋音量－ を押す

- ＋を押すと音が大きくなります。（最大100）
- －を押すと音が小さくなります。（最小0）

一時的に音を消すには

- **リモコンの 消音 を押す**
  - 画面右下に 消 音 が表示されます。
  - もう一度 消音 を押すと、音が出ます。

クイックメニューを使う

- テレビ番組を視聴しているときに、クイック を押してさまざまな操作をすることができます。
- クイックメニューの内容は、クイック を押すときの場面によって変わります。以下の表は、ほかのメニュー操作などをせずにテレビ番組を視聴しているときのものです。
- クイックメニューで選択できる項目は、番組などによって変わります。選択できない項目は薄くなって表示されます。

1 クイック を押す

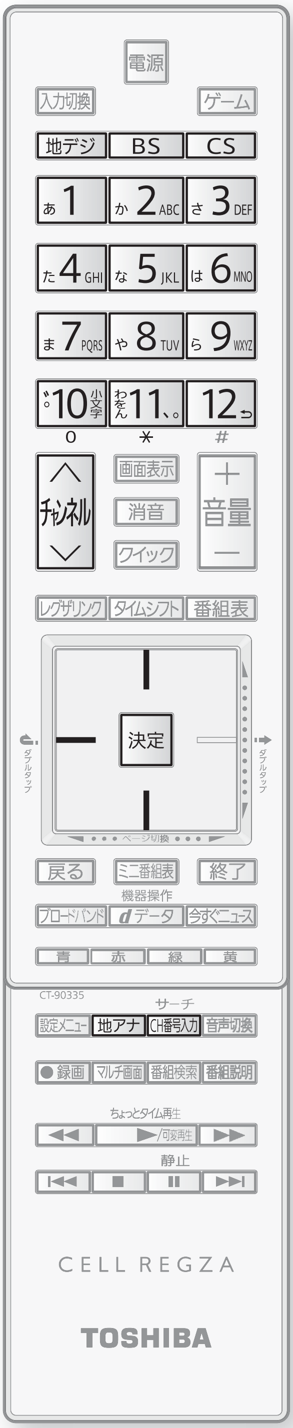
2 ▲▼ で項目を選び、決定 を押す

3 選んだ項目に従って操作する

- 詳しくは各項目の該当するページをご覧ください。

項　目			記載ページ
映像設定			38～46
音声設定			47～50
画面サイズ切換			28
連ドラ予約			57
タイマー機能	オンタイマー		110
	オフタイマー		110
お知らせ			111
タイムシフトマシン録画の一時停止／タイムシフトマシン録画の再開			34
その他の操作	信号切換	映像信号切換	30
		音声信号切換	30
		音多切換	30
		データ信号切換	30
		字幕切換	30
		降雨対応放送切換	111
	アンテナレベル表示		準備編 38
	データ放送終了		14
	親切ヘッドホーン音量		31
	テレビ/ラジオ/データ切換		14

テレビ放送を見る



1 地デジ、BS、CS、地アナで放送の種類を選ぶ

- 視聴中の放送と同じ種類の放送を見る場合は、この操作は不要です。
- モニター操作部の放送切換でも放送の種類が切り換えられます。放送切換を押すたびに、放送の種類が順に切り換わります。

2 チャンネルを選ぶ（選局する）

- 以下の3とおりの選局方法があります。

■ チャンネルボタンで選局する（ワンタッチ選局）

チャンネルボタン 1 ～ 12 を押して選局します。

■ チャンネル∧・∨ボタンで選局する（順次選局）

- ∧チャンネル∨またはモニター操作部のチャンネルでチャンネルが順に切り換わります。
- 地上デジタル放送の場合、チャンネル∧・∨ボタンを押し続けると高速チャンネル選局モードになり、チャンネルが速く切り換わります。
  - 高速チャンネル選局ができるのは、「はじめての設定」（準備編 34）で自動的に割り当てられたチャンネルです。
  - 高速チャンネル選局モードは、選局操作をやめると数秒後に終了します。
  - ※ 室内の明るさや視聴する人によっては、高速チャンネル切換時の画面が強い光の刺激となることがあります。体調に影響がある場合は、「高速チャンネル選局設定」（準備編 62）を「オフ」に設定するか、またはチャンネルをゆっくりと切り換えてください。

■ チャンネル番号を入力して選局する

- デジタル放送の場合にこの方法で選局できます。CATVを視聴中の場合には、この方法でCATVの選局もできます。

❶ CH番号入力を押す

- 画面の右側に、地デジ--- または BS--- または CS--- または CATV C-- が表示されます。（放送の種類はそのときの状況によって変わります）
- 放送の種類を切り換えるには、CH番号入力を繰り返し押します。

❷ 1 ～ 10(0)でチャンネル番号を選ぶ

例 103チャンネルを選ぶ場合➡ 1 10(0) 3 の順に押す。（「0」は 10 で入力）

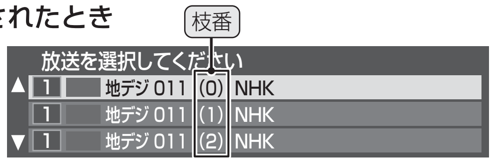
- ＊ボタン（11(＊)）を使って、次のように選ぶこともできます。

  例 300番台のチャンネルを見たいとき 3 11(＊)の順に押します。

  → 300番台以降で、放送されている最小番号のチャンネルが選ばれます。

■ 枝番のついた放送一覧が表示されたとき

- 十字キーで選んで 決定 を押すか、10(0)～ 9 で枝番（カッコ内の数字）を指定して選びます。



お知らせ

- 地上デジタル放送や地上アナログ放送で 1 ～ 12 で選局できるのは、「はじめての設定」（準備編 34）で各ボタンに登録されたチャンネルです。（地上デジタル放送で視聴できるチャンネルは、番組表 16 で確認することができます）
- BSデジタル放送では、放送局が各チャンネルボタンに以下のように設定されています。

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
NHK BS1	NHK BS2	NHK h	BS日テレ	BS朝日	BS-TBS	BSジャパン	BSフジ	WOWOW	スターチャンネル	BS11	TwellV

- 110度CSデジタル放送では、2 にCSプロモーションチャンネルが設定されています。登録の変更や追加をする場合は、「手動設定」（準備編 83）をしてください。
- 一つの放送局が複数のチャンネルで異なった番組を放送している場合、その放送局のチャンネルボタンを繰り返し押せばチャンネルが順番に選択されます。
- 順次選局の場合、一つの放送局が同じ番組を複数のチャンネルで放送しているときは、代表チャンネルだけの選局となります。
- 順次選局の順番は、放送の運用規定に従います（番号順にならない場合があります）。
- お買い上げ直後や、お買い上げ時の設定に戻した（準備編 95）直後は、チャンネル番号入力での選局ができないことがあります。
- 一部のチャンネルには受信契約が必要なものがあります。未契約のチャンネルを選ぶとメッセージが表示されます。
- 高速チャンネル選局をしているときは、光デジタル音声出力は設定（準備編 45）にかかわらずリニアPCM信号になります。
- 高速チャンネル選局用のチャンネルは、「地デジ機能チャンネル設定」（準備編 58）で変更することができます。

マルチ画面で見る

● ほかの番組を確認したいときに、複数のチャンネルの映像をマルチ画面で表示させることができます。

1 マルチ画面 を押す

● マルチ画面が表示されます。
● マルチ画面の表示モードには、8画面表示と2画面表示があり、 青 で切り換えることができます。
● 画面表示 を押してチャンネル番号や放送局名などの情報を表示させることができます。

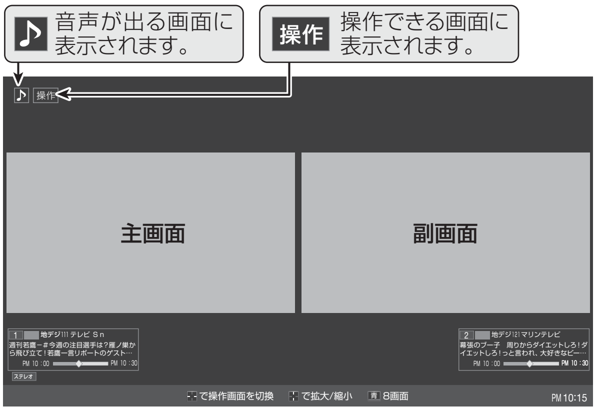
8画面のとき



● 主画面に表示されるのは、地上/BS/110度CSデジタル放送のテレビチャンネルです。
● 副画面には、「はじめての設定」（準備編 34 ）で自動的に割り当てられたチャンネルが表示されます。（「地デジ機能チャンネル設定」（準備編 58 ）で変更することができます）
● で画面を選択できます。（枠がつきます）
選択中の画面に対して以下の操作ができます。
- チャンネル切換（主画面のみ）
- 番組説明 を押して、番組説明を見る➡ 15

● 副画面で 決定 を押すと、主画面がそのチャンネルに切り換わります。

2画面のとき



● 主画面と副画面に表示できるチャンネルの条件は8画面表示の場合と同じです。
● 2画面表示のときは、音声の出る画面や操作できる画面のほうにアイコン（♪、操作）が表示されます。
- 操作画面を選択するには、 を押します。
♪や 操作 の移動を確認しながら を操作します。
- を操作すると、画面の大きさを変えることができます。
- 操作 がついたほうの画面で選局ができます。

※ 室内の明るさや視聴する人によっては、高速チャンネル切換時の副画面が強い光の刺激となることがあります。体調に影響がある場合は、チャンネルをゆっくりと切り換えてください。

2 マルチ画面を終了するには、 マルチ画面 、 戻る 、 終了 のどれかを押す

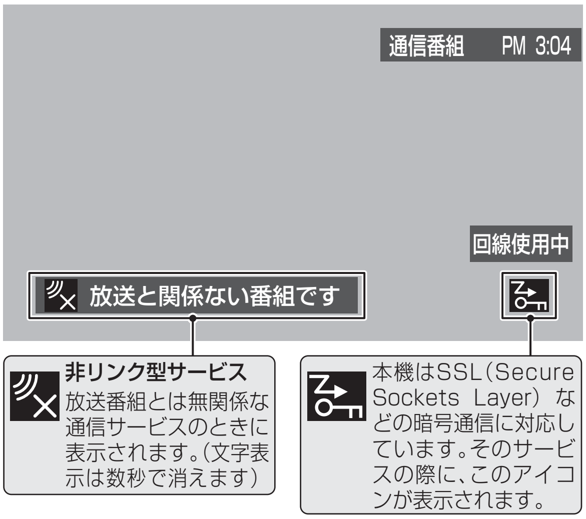
お知らせ

● 「高速チャンネル選局設定」（準備編 62 ）を「オフ」に設定している場合は、副画面の表示に多少の時間がかかることがあります。
● マルチ画面の表示中は、データ放送および地上アナログ放送の視聴、外部入力の選択などの操作はできません。
● 副画面を選択しているとき、光デジタル音声出力は設定（準備編 45 ）にかかわらずリニアPCM信号になります。
● ヘッドホーンの音声はスピーカーの音声と同じになります。
● 公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテルなどでマルチ画面表示をすると、著作権法で保護されている著作権を侵害するおそれがありますので、ご注意願います。

データ放送を見る

■ データ放送について
- デジタル放送では映像や音声によるテレビ放送以外に、データ放送があります。
- データ放送には、テレビ放送チャンネルとは別の独立したチャンネルで行われているデータ放送のほかに、テレビ放送チャンネルで提供されている番組連動データ放送や、番組案内、ニュース、天気予報などのデータ放送があります。

■ デジタル放送の双方向サービスについて
- 電話回線やインターネットを利用して、視聴者と放送局との間で双方向に通信できるサービスです。クイズ番組に参加して回答したり、ショッピング番組で商品を購入したりすることができます。
- 地上デジタル放送の双方向サービスには、放送番組に連動した通信サービスと、放送番組とは無関係な通信サービスがあります。



■ ラジオ放送について
- 2009年11月現在、ラジオ放送は運用されておりません。
- ラジオ放送が運用された場合、本機で放送を聴くことができます。

天気予報などのデータ放送を見る

- 番組情報(次ページ)のアイコンに テレビd 、ラジオd が表示される番組には番組連動データ放送があります。
- テレビ放送チャンネルで、天気予報やニュース、番組案内などのデータ放送を提供している場合があります。

1 デジタル放送の視聴中に [dデータ] を押す
- 番組によっては押す必要がない場合があります。
- 画面に表示されるメニューや操作ガイドに従って操作をしてください。

2 データ放送を終了するには、以下の操作をする
❶ [クイック] を押す
❷ [十字] で「その他の操作」を選び、[決定] を押す
❸ [十字] で「データ放送終了」を選び、[決定] を押す

独立データ放送を見る

- BSデジタル放送などで行われている独立データ放送チャンネルを選ぶときの操作です。

1 デジタル放送の視聴中に [クイック] を押す

2 [十字] で「その他の操作」を選び、[決定] を押す

3 [十字] で「テレビ/ラジオ/データ切換」を選び、[決定] を押す

4 [十字] で「データ」を選び、[決定] を押す
- ラジオ放送が運用された場合には、「ラジオ」を選択することもできます。
- [チャンネル ∧∨] で他のチャンネルに切り換えられます。
- チャンネル番号を入力して選ぶこともできます。
➡ 12
- データ放送の視聴を終了するには、「テレビ」を選びます。

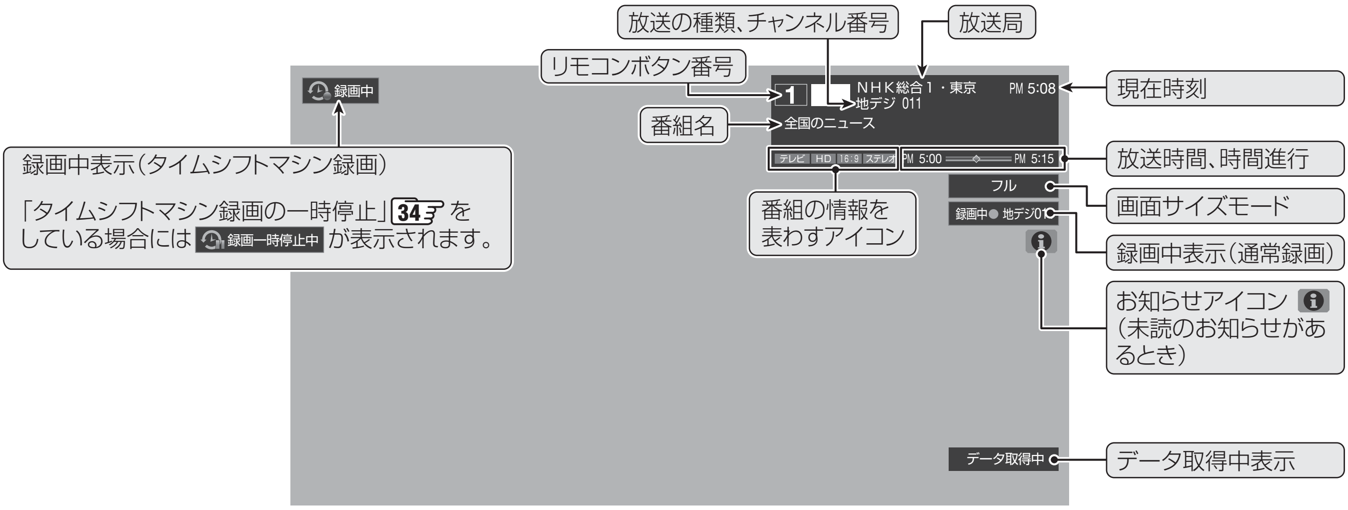
お知らせ
- 放送データの取得中は、一部の操作ができないことがあります。
- 放送画面の操作説明などで、[dデータ] は「データボタン」「データ放送ボタン」などと表示される場合があります。
- 本体(モニター)の放送切換ボタンとチャンネルボタンでは、データ放送の選択やチャンネル切換はできません。
- 双方向サービスを利用する場合は、あらかじめ電話回線やLAN端子の接続と設定(準備編 67 、71)をしてください。また、双方向サービスの利用には登録の申込みなどが必要な場合があります。
- インターネットを利用した双方向サービスでは、お客様の個人情報の入力を要求される場合がありますが、接続先のサイトによってはSSLなどによる通信時のセキュリティ対策が行われていないことがあります。
- 電話回線を利用した双方向サービスの通信中は、画面上に「回線使用中」アイコンが表示され、同一回線上の電話機やファクシミリなどは使えません。また、通話料がかかる場合があります。
- 通信に時間がかかり、次の操作がすぐにできないことがあります。
- 本機からの録画中は、データ放送には切り換えられません。
- テレビの動作中に電源プラグを抜かないでください。本機が記憶している双方向サービスでのお客様のポイント情報などが更新されないことがあります。
- 本機は、ブックマーク機能や登録発呼機能には対応していません。

番組の情報を見る

番組情報を見る

1 画面表示 を押す

● 現在視聴しているチャンネルや番組の情報が表示されます。(数秒後にチャンネル以外の表示は消えます)
● すべての表示を消すには、もう一度画面表示を押してください。
● 選局時には一部省略された状態で表示されます。



番組説明を見る

1 番組説明 を押す

2 さらに詳しい説明を見るときは を押す

● 「詳細情報を取得していません」が表示されたときは、黄を押します。
● 情報が取得できなかったり、情報がなかったりした場合には、「詳細情報を取得できませんでした」と表示されます。

3 説明画面を消すには、決定 を押す



お知らせ

● 画面に表示されるアイコンについての説明は、「アイコン一覧」124 をご覧ください。
● 番組情報の表示や詳細情報の取得には時間がかかる場合があります。
● 番組情報を取得するタイミングによっては、最新の情報を表示できないことがあります。
● 番組によっては、録画、録音が制限される場合があります。その場合は、番組説明の画面でアイコンが表示されます。

見たい番組を選ぶ

番組表で選ぶ

- デジタル放送の番組表は、放送電波で送られてくる情報で表示されます。
- 地上アナログ放送の番組表は表示されません。
- お買い上げ直後や電源を入れた直後、放送の種類を変えたときなどには、番組内容の表示に時間がかかることがあります。
- デジタル放送の番組表を最新にしておくために、本機の電源を毎日2時間以上「待機」にすることをおすすめします。

1 番組表 を押す

- 番組表が表示されます。
- 放送の種類を変えるときは、地デジ、BS、CS のどれかを押します。
  データ放送の番組表を見るときは、「独立データ放送を見る」14 の操作で選びます。

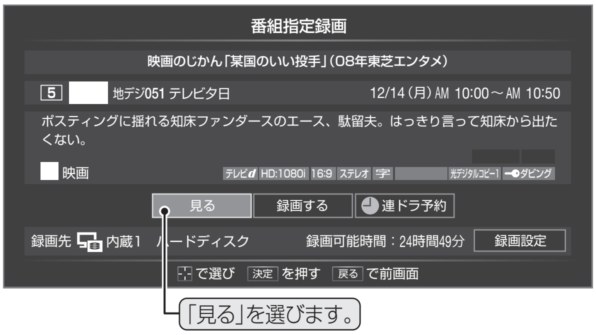
2 現在放送中の番組を ⊕ で選ぶ

3 決定 を押す

- テレビ放送番組を選んだ場合は、「番組指定録画」画面が表示されます。手順**4**の操作をします。
- データ放送番組を選んだ場合は、そのチャンネルに切り換わります。

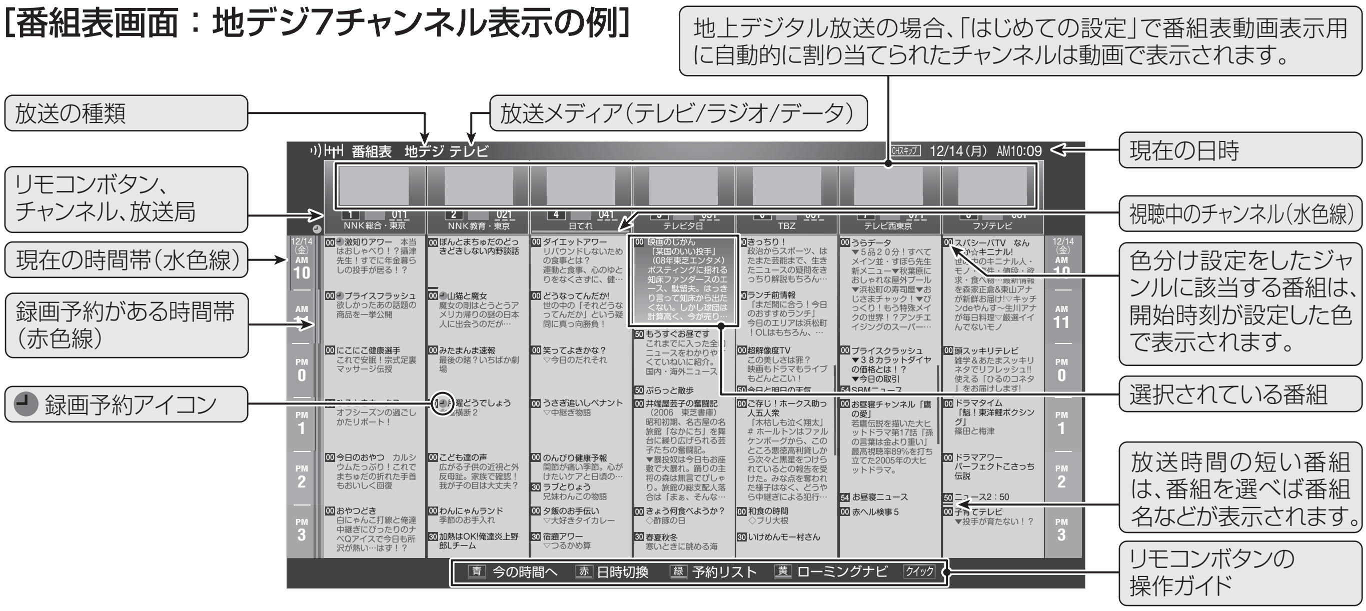
※ これから放送されるテレビ放送番組を選んだ場合は、「番組指定予約」画面になります。 ➡ 55 の手順**3**以降をご覧ください。

4 ⊕ で「見る」を選び、決定 を押す



- 選んだ番組の放送画面になります。

[番組表画面：地デジ7チャンネル表示の例]



- 地上デジタル放送の番組表の動画表示チャンネルは、「地デジ機能チャンネル設定」(準備編 58)で変更することができます。「高速チャンネル選局設定」(準備編 62)を「オフ」に設定している場合は、動画の表示に多少の時間がかかることがあります。

お知らせ

■ 番組表、ミニ番組表(次ページ)について

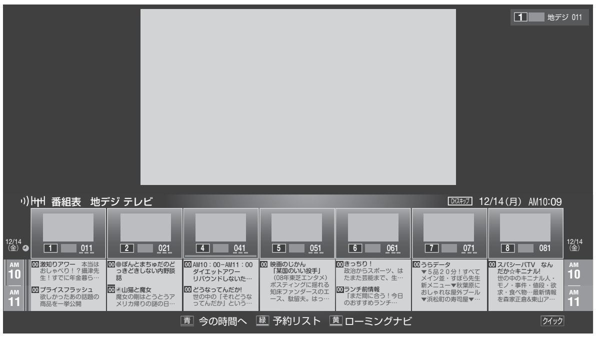
- テレビを視聴している条件などによっては番組表やミニ番組表が空欄になる場合があります。この場合は、空欄の部分を選んでから、「番組表を更新する」18 の操作をしてください。
- 番組表やミニ番組表に表示できる番組情報は最大8日分です。(チャンネル数や番組情報量によって異なる場合があります)
- 番組表やミニ番組表で予約済番組を選ぶと、予約内容の確認や予約の取消しなどができます。85
- レグザリンク対応の東芝レコーダーに録画する場合は、番組表やミニ番組表に予約アイコンは表示されません。
- データ放送の視聴中は番組表やミニ番組表に切り換わらないことがあります。その場合は、テレビ放送に切り換えてから操作してください。
- 番組の中止・変更・延長などによって、実際の放送内容が番組表と異なる場合があります。番組表やミニ番組表、番組情報などで表示される内容および利用した結果について、当社は一切の責任を負いません。
- 番組表やミニ番組表でさまざまな操作や設定ができます。「番組表を便利に使う」18 ～ 20 をご覧ください。

ミニ番組表で選ぶ

- 2時間分の番組表で番組を選べます。

1 ミニ番組表 を押す

- ミニ番組表が表示されます。
- 操作は前ページの番組表の場合と同じです。



番組表を便利に使う

● 番組表が表示されているときに、リモコンのカラーボタンや[クイック]を押してさまざまな操作をすることができます。

今の時間帯の番組表を表示させる

● 数日先の番組表を見ているときなどに、簡単に今の時間帯の番組表に戻ることができます。

1 番組表またはミニ番組表を表示しているときに、[青]を押す

指定した日時の番組表を見る

1 番組表を表示しているときに、[赤]を押す

● 現在から8日後までの日時指定画面が表示されます。

2 [十字キー]で日時を選び、[決定]を押す



● 放送の種類を変えるときは、[地デジ]、[BS]、[CS]のどれかを押します。
● 表示チャンネルを変えるときは、[十字キー]を操作します。
● [青]または[赤]で前日または翌日の同時間帯にジャンプすることができます。
● [決定]を押すと選んだ日時の番組表が表示されます。

ローミングナビを起動する

● ローミングナビを起動して、番組表で選択中の番組に関連する番組を検索することができます。24

1 番組表またはミニ番組表を表示しているときに、[黄]を押す

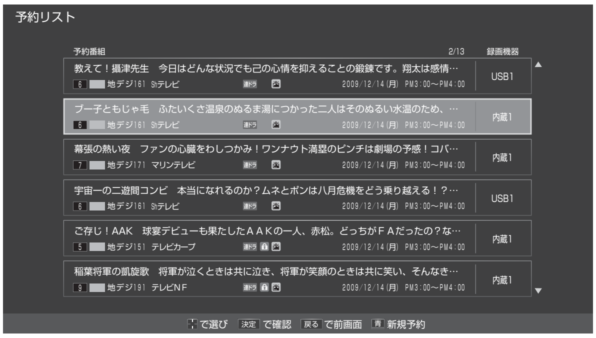
● ローミングナビ画面が表示されます。
● 検索対象は放送番組となります。

予約リストを表示させる

● 予約内容を一覧画面で確認することができます。

1 番組表またはミニ番組表を表示しているときに、[緑]を押す

● 予約リストが表示されます。



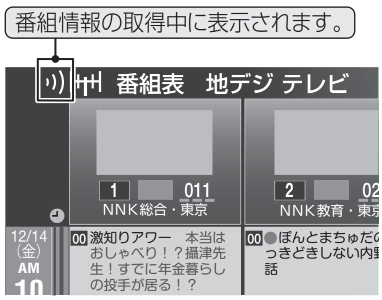
● 予約番組を[十字キー]で選んで[決定]を押し、予約内容を確認したり、予約を取り消したりできます。85をご覧ください。
● [青]を押すと、「日時指定予約画面」56を表示させることができます。

番組表を更新する

1 番組表またはミニ番組表を表示しているときに、[クイック]を押す

2 [十字キー]で「番組情報の取得」を選び、[決定]を押す

● 番組情報の取得が始まります。



※ 番組情報取得中は映像、音声が出ない場合があります。
※ 本機からの録画中は情報の取得ができません。
● BSデジタル放送の番組表の場合は番組表全体が更新されます。
● 110度CSデジタル放送の番組表の場合は、選択した番組が含まれるネットワークの番組表全体が更新されます。
● 地上デジタル放送の番組表の場合は、番組表で選択している放送局の情報だけが更新されます。
● 番組情報取得中にほかの操作をすると、情報の取得が中止されることがあります。
● 番組情報の取得を中止するときは、番組情報取得中に[クイック]を押し、[十字キー]で「番組情報の取得中止」を選んで、[決定]を押します。

表示切換をする（1CH表示/マルチ表示）

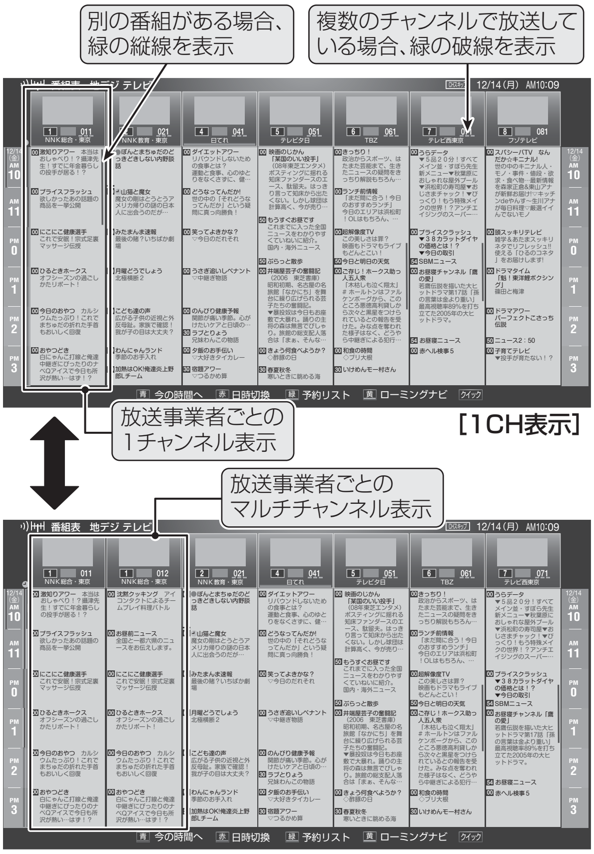
● BSデジタル放送や地上デジタル放送（どちらもテレビ放送のみ）では、放送事業者ごとの代表チャンネル表示（1CH表示）とマルチチャンネル表示（マルチ表示）の切換えができます。

1 番組表またはミニ番組表を表示しているときに、クイック を押す

2 で「1CH表示」（または「マルチ表示」）を選び、決定 を押す

● メニューには現在の番組表の表示とは逆のモード（「マルチ表示」、「1CH表示」のどちらか）が表示されています。

● 「1CH表示」、「マルチ表示」を選ぶと、以下のように切り換わります。



［マルチ表示］

番組表の文字の大きさを変更する

1 番組表またはミニ番組表を表示しているときに、クイック を押す

2 で「文字サイズ変更」を選び、決定 を押す

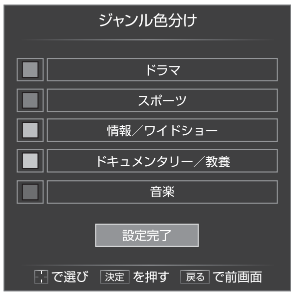
3 希望の文字サイズを で選び、決定 を押す

ジャンルの色分けを変更する

1 番組表またはミニ番組表を表示しているときに、クイック を押す

2 で「ジャンル色分け」を選び、決定 を押す

3 設定する色を で選び、決定 を押す



4 でジャンルを選び、決定 を押す

●「指定しない」を選ぶと、色分け表示がなくなります。

5 で「設定完了」を選び、決定 を押す

番組記号の説明を見る

1 番組表またはミニ番組表を表示しているときに、クイック を押す

2 で「番組記号一覧」を選び、決定 を押す

● 番組記号の説明が表示されます。

● 表示されるのは番組記号の一部です。

● 見終わったら、決定 を押します。

お知らせ

■ ジャンル色分けの変更について

● 複数の色に同じジャンルを登録することはできません。

● この設定は、放送の種類や放送メディア（テレビ、ラジオ、独立データ）に対して共通の設定になります。

番組表を便利に使う つづき

表示させるチャンネル数を設定する

● 番組表に何チャンネル分を表示させるか設定します。

1 番組表またはミニ番組表を表示しているときに、クイック を押す

2 で「番組表表示設定」を選び、決定 を押す

3 で「表示チャンネル数設定」を選び、決定 を押す

4 表示させるチャンネル数をで選び、決定 を押す

表示させる時間数を設定する

● 番組表に何時間分を表示させるか設定します。

1 番組表を表示しているときに、クイック を押す

2 で「番組表表示設定」を選び、決定 を押す

3 で「表示時間数設定」を選び、決定 を押す

4 表示させる時間をで選び、決定 を押す

スキップチャンネル表示/非表示を設定する

● 「チャンネルスキップ設定」(準備編 84)で「スキップ」に設定したチャンネルを番組表に表示させるかどうかを設定します。
● この設定は、放送の種類や放送メディア(テレビ、ラジオ、独立データ)に対して共通です。

1 番組表またはミニ番組表を表示しているときに、クイック を押す

2 で「番組表表示設定」を選び、決定 を押す

3 で「スキップチャンネル表示設定」を選び、決定 を押す

4 で「表示する」、「表示しない」のどちらかを選び、決定 を押す

番組概要の表示/非表示を設定する

● 番組の概要説明を表示させるかどうかを設定します。

1 番組表またはミニ番組表を表示しているときに、クイック を押す

2 で「番組表表示設定」を選び、決定 を押す

3 で「番組概要表示設定」を選び、決定 を押す

4 で「表示する」、「表示しない」のどちらかを選び、決定 を押す

地上デジタル放送局の表示位置を設定する

1 番組表またはミニ番組表を表示しているときに、クイック を押す

2 で「番組表表示設定」を選び、決定 を押す

3 で「地デジ表示設定」を選び、決定 を押す

4 で「視聴チャンネル中央表示」、「チャンネル順優先表示」から選び、決定 を押す

● 「視聴チャンネル中央表示」を選ぶと、視聴中のチャンネルが番組表の中央に表示されます。
「チャンネル順優先表示」を選ぶと、お住まいの地域のチャンネル順に表示されます。
● 最後に視聴していた番組の番組表を表示させるために、先頭チャンネル側の番組表が表示されないことがあります。

テレビ/ラジオ/データの表示切換をする

● 番組表に表示させる放送メディアを選びます。

1 番組表またはミニ番組表を表示しているときに、クイック を押す

2 で「その他の操作」を選び、決定 を押す

3 で「テレビ/ラジオ/データ切換」を選び、決定 を押す

4 で「テレビ」、「ラジオ」、「データ」から選び、決定 を押す

番組を検索する

● 見たい番組を探し出して視聴したり、録画予約をしたりすることができます。
※ タイムシフトマシン録画機能で録画した番組や、通常の録画・予約機能で録画した番組を検索することもできます。それぞれの章で相違点を説明します。

1 **[番組検索]を押す**
● 「番組検索」メニューが表示されます。
※ [番組検索]をもう一度押すか、[戻る]または[終了]を押すと番組検索メニューを終了します。

2 **検索に使うメニューを✚で選び、[決定]を押す**



- **ローミングナビ**…注目する番組に関連する番組の中から、気になる番組を探します。
- **検索ナビ**……………検索条件を設定して目標の番組を絞り込んで探します。

検索ナビで検索する

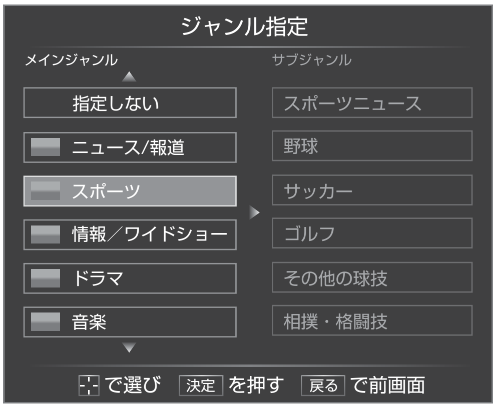
● 検索ナビが起動すると、検索ナビメイン画面が表示されます。
● 左側に検索条件指定タブが表示されます。
※ 検索ナビを終了するには[終了]を押します。



1 **✚で検索条件のメニューを選び、[決定]を押す**

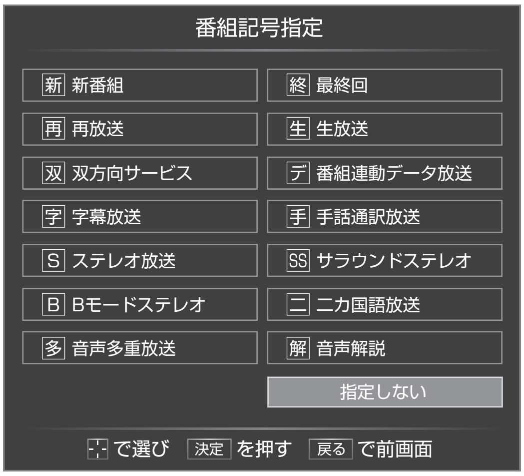
2 **以下の操作で検索条件を指定する**
● より多くの条件を指定するほど、検索結果が絞り込まれます。
● 番組情報に含まれるジャンル情報、番組記号、文字列などを基にして検索が行われます。

ジャンル(分野)を指定するとき



❶ ✚でジャンルを選び、[決定]を押す
● 左側のメインジャンルの欄を✚で移動すると、そのジャンルのサブジャンルが右側に表示されます。サブジャンルから選択するときは、✚でサブジャンルの欄に移動して✚を操作します。
● メインジャンルを選んで[決定]を押した場合は、メインジャンルに含まれるサブジャンルも検索対象となります。
● サブジャンルを選んで[決定]を押したほうが絞込範囲が狭くなります。

番組記号を指定するとき



❶ ✚で番組記号を選び、[決定]を押す

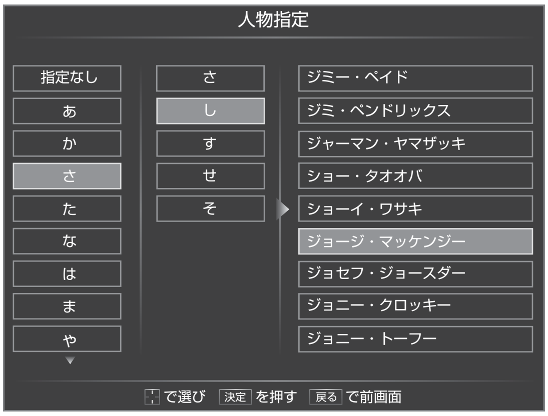
お知らせ
● 番組情報がない場合は、検索できません。
● チャンネル数や番組情報量によっては、検索できない場合があります。

番組を検索する つづき

■ 人物を指定するとき

● 番組情報から、本機が人物と判断した情報が指定候補として表示されます。

● 表示される人物は、実際の読みと異なる場合があります。



❶ **人物の読みの先頭文字が含まれる行を左側の欄から で選び、 を押す**

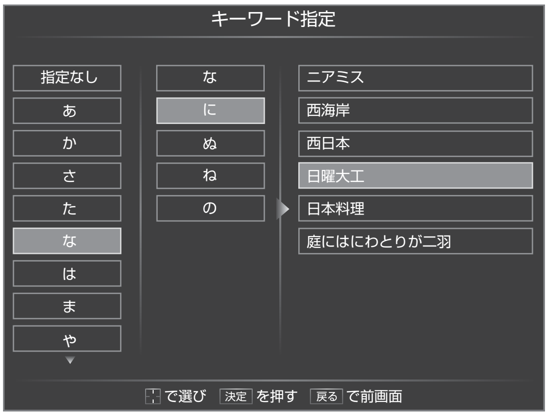
❷ **中央の欄から人物の読みの先頭文字を で選び、 を押す**

❸ **人物を で選び、決定 を押す**

■ キーワードを指定するとき

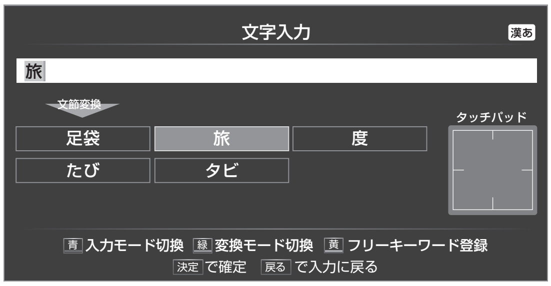
● 番組情報から、本機がキーワードと判断した情報が指定候補として表示されます。

● 操作手順は、上記の人物を指定する場合と同様です。



■ フリーワードを指定するとき

● 文字入力画面が表示されます。



❶ **フリーワードを入力する**

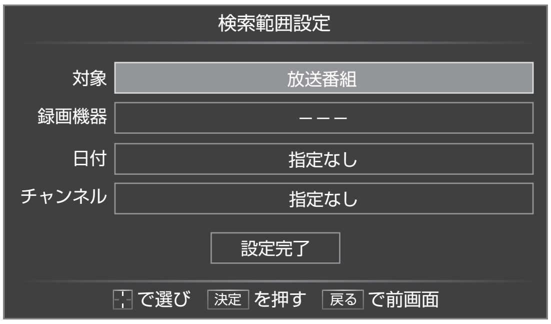
● 全角、半角ともに15文字まで入力できます。

● 文字入力のしかたは 112 をご覧ください。

❷ **入力が終わったら、決定 を押す**

■ 検索範囲を指定するとき

● 検索範囲設定画面が表示されます。



❶ **で「対象」を選び、決定 を押す**

❷ **対象にする番組を で選び、決定 を押す**

● 放送中の番組や、これから放送される番組の中から検索する場合は、「放送番組」を選びます。

❸ **日付の範囲を指定する場合は、 で「日時」を選び、決定 を押す**

● 設定画面に表示されている日付の範囲でよい場合は、次ページの手順❻に進みます。

❹ **で日付を選び、決定 を押す**

● 決定 を押すたびに☑と□が交互に切り換わります。指定する日付に ✓ がつくようにします。



お知らせ

● 検索ナビで表示される人物ならびにキーワードは、番組情報から当社独自の方法で抽出したものです。番組の制作者または提供者の指定に基づくものではありません。

❺対象の日付をすべて選んだら、で「設定完了」を選んで決定を押す

❻チャンネルの範囲を指定する場合は、で「チャンネル」を選び、決定を押す
- 設定画面に表示されているチャンネルの範囲でよい場合は、手順❽に進みます。



❼指定する項目をで選び、で内容を選ぶ

■ **放送：**
すべて／ BS ／ CS ／地デジ

■ **メディア：**
すべて／テレビ／データ

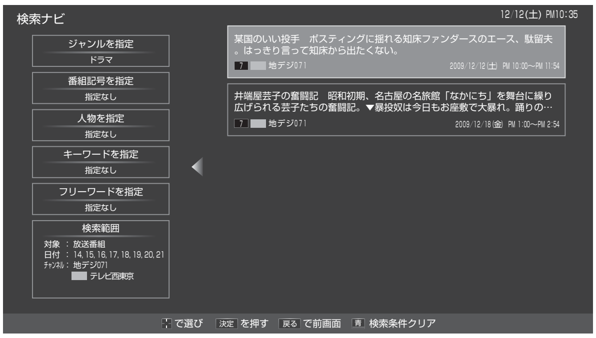
■ **チャンネル：**
表示されているチャンネルから一つ選択する

❽決定を押す

3 で「設定完了」を選んで決定を押す



4 検索結果から、見たい番組をで選んで決定を押す

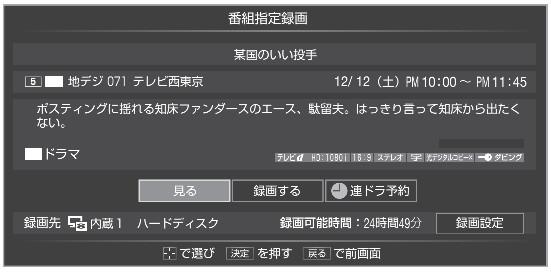


- データ放送番組を選択した場合は、そのチャンネルに切り換わります。
- テレビ放送番組を選択した場合は、手順**5**の操作をします。

5 選んだ番組を以下の操作で見る、または録画・予約する

■ 現在放送中の番組を選んだ場合

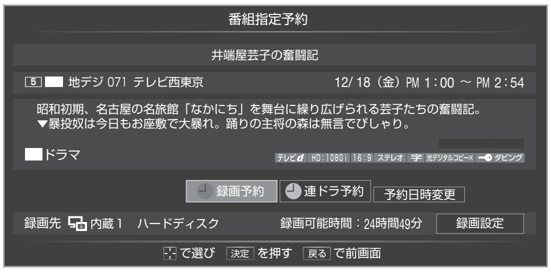
- 「番組指定録画」画面が表示されます。



- 視聴する場合は、で「見る」を選んで決定を押します。
- 録画する場合は、「番組を指定して録画・予約する」55の手順**3**以降をご覧ください。

■ これから放送される番組を選んだ場合

- 「番組指定予約」画面が表示されます。



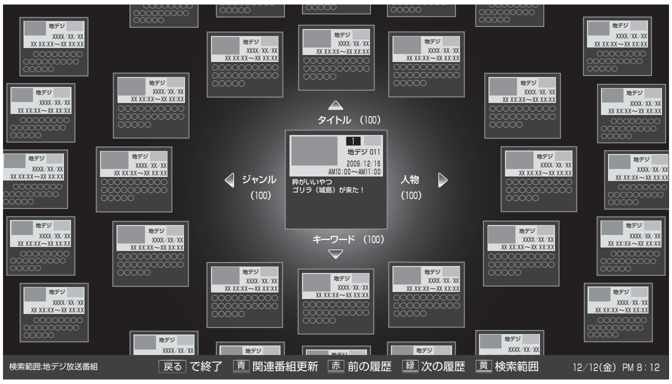
- 「番組を指定して録画・予約する」の手順**3**以降をご覧ください。

番組を検索する つづき

ローミングナビで検索する

● ローミングナビは、視聴中の番組、番組表で選択中の番組、検索ナビの検索結果から選択した番組などを注目番組として、それに関連する番組を検索する機能です。
● 画面の中央に注目番組が表示され、その周囲を取り巻くように関連番組が表示されます。
- 左側にジャンルに関連性のある番組が表示されます。
- 右側に人物に関連性のある番組が表示されます。
- 上側に番組名に関連性のある番組が表示されます。
- 下側に人物以外のキーワードに関連性のある番組が表示されます。姓だけの人名が表示されることがあります。

※ ローミングナビを終了するには 終了 を押します。



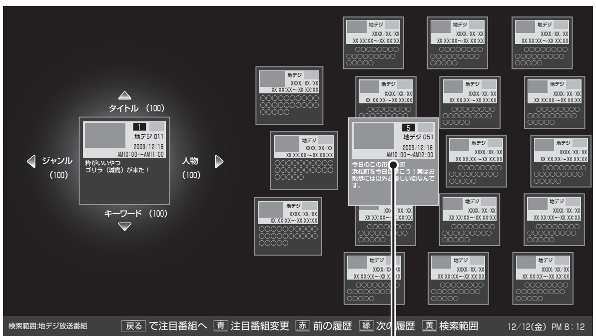
検索範囲を指定する

❶ 黄 を押す

❷ 検索ナビの場合と同様にして指定する
● 「日付」の指定はありません。
● 「チャンネル」の指定は、「地デジ」、「BS」、「CS」の設定だけになります。

番組を選択する

❶ ▲▼◀▶ を操作する
● 選択された番組が大きく表示されます。
● 内側から2周目に表示された番組を選択すると、その軸だけの表示になります。



選択された番組

番組説明を見る

❶ 番組説明 を押す
● 選択中の番組の番組説明画面が表示されます。
● 番組説明画面を消すには、もう一度 番組説明 を押します。

関連番組から注目番組を選ぶ

❶ 注目番組にする関連番組を選び、青 を押す
● 選択した関連番組が注目番組として中央に配置され、新たな注目番組に対する関連番組が周囲に配置されます。
● 注目番組を選択して 青 を押すと、関連番組が更新されます。
● 必要に応じてこの操作を繰り返し、気になる番組を探します。

前または次の履歴を見る

● 注目番組入替えの履歴がある場合に操作できます。

❶ 赤 (前)または 緑 (次)を押す
● 一つ前または一つ次の注目番組で再検索した結果が表示されます。

※ 記憶される注目番組の履歴の数は最大10で、この範囲で切り換えることができます。
※ 履歴は、ローミングナビ終了時に消去されます。

選んだ番組を見る、または録画・予約する

❶ 番組が決まったら、▲▼◀▶ で選んで 決定 を押す
● 以降の動作および操作は、前ページの手順**5**と同じです。

お知らせ
● ローミングナビ機能の関連番組は、各番組の番組情報などを当社独自の方法で解析した結果に基づき、当社独自の関連性評価技術を利用して表示されます。番組の制作者または提供者の指定に基づくものではありません。
● ローミングナビ機能で表示される人物ならびにキーワードは、番組情報を当社独自の方法で解析したもので、人物とキーワードを区別できない場合があります。

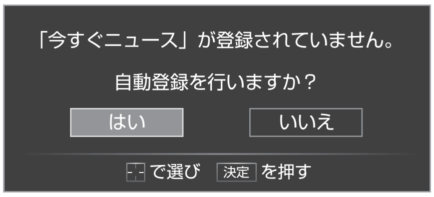
最新のニュース番組を見る ～今すぐニュース～

- 内蔵ハードディスクに自動録画された最新のニュース番組をいつでも見ることができます。
- 自動録画される番組は、「今すぐニュース番組登録」（準備編 63）で登録したニュース番組です。未登録の場合は、以下の操作中の手順で登録したり、番組表から登録したりすることができます。

1 [今すぐニュース] を押す

- 自動録画されたニュース番組が再生されます。
- 早送り、早戻しなどのリモコン操作ができます。65 を参考にしてください。（チャプターのスキップや録画リストに関する操作はありません）

[今すぐニュース] を押したときに以下のメッセージが表示された場合



- 自動登録をする場合は、[上下左右] で「はい」を選んで [決定] を押してください。
- 番組表からお好みのニュース番組を登録することもできます。その場合は、「いいえ」を選んで [決定] を押し、右記の「番組表からニュース番組を登録するには」の操作をしてください。

2 「今すぐニュース」の視聴を終了するときは、[■] または [終了] を押す

番組表からニュース番組を登録するには

❶ [番組表] を押す

❷ 登録するニュース番組を選び、[クイック] を押す

❸ [上下] で「今すぐニュース番組登録」を選び、[決定] を押す

❹ 登録された内容を確認し、[決定] を押す
- 登録された番組の取消しや、自動録画の曜日指定などをする場合は、「内蔵ハードディスク設定」（準備編 63）の「今すぐニュース番組登録」の表内に記載された手順を参照し、操作してください。

❺ [終了] を押す

「今すぐニュース」の自動録画を中止するには

- 「今すぐニュース録画中」の表示は、[画面表示] を押せば確認できます。

❶「今すぐニュース」の自動録画中に、[終了] または [■] を押す

❷ 録画中止の確認画面で、[左右] で「はい」を選んで [決定] を押す

- 以下の場合、「今すぐニュース」の自動録画は行われないか、または自動的に中止されます。
  - 番組情報の取得をしたとき 18
  - ほかの録画が始まったとき
  - 録画予約の開始時刻が近いとき
  - 通常録画番組のダビング 71、タイムシフト録画番組の保存 35 をしているとき
  - 動画再生 73、写真再生 77、音楽再生 82 をしたとき
  - ブロードバンドメニュー 89 から各ブラウザを起動したとき

※ 上記のほか、一部のメニュー操作などでも中止されることがあります。

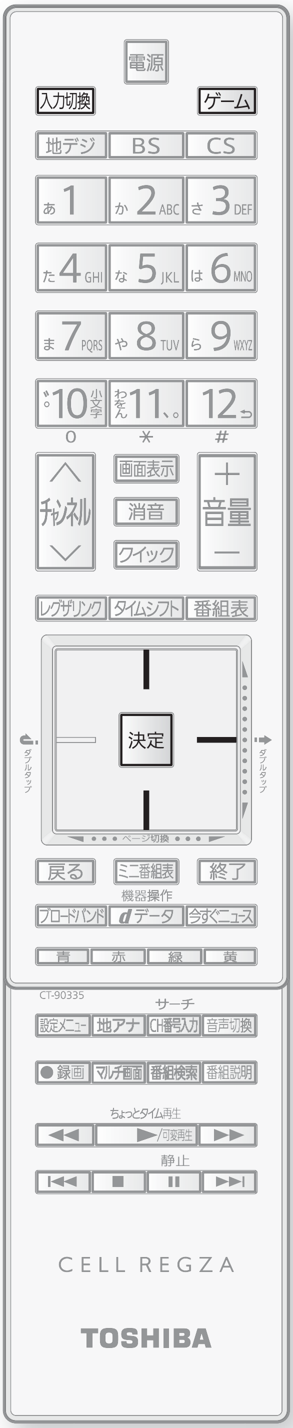
※ データ放送を選んだときにも自動録画が中止されることがあります。

お知らせ

- 「今すぐニュース」の自動録画は、本機の電源が「入」、「待機」のいずれの場合にも行われます。
- 最新のニュース番組の自動録画が終わると、古いニュース番組は自動的に削除されます。
- 最新のニュース番組が最後まで録画できなかった場合は古いニュース番組が残り、新しいニュース番組は保存されません。
- 「今すぐニュース設定」で登録したニュース番組の放送時間が変更された場合は、手動でニュース番組の登録・取消しをしてください。
- 登録した番組をすべて取り消した場合、「今すぐニュース」で録画された内容は削除されます。
- 「今すぐニュース」で自動録画された番組は、録画リスト 64 には表示されません。

ビデオ・DVDなどを見る／ゲームを楽しむ

- 本機の外部入力端子（HDMI入力1～5、ビデオ入力1～3、ゲーム入力1～2）に接続したビデオ、ブルーレイディスク・DVDプレーヤー /レコーダーなどの再生番組を見たり、ゲーム機を接続して楽しんだりする場合は、以下の操作をします。
- 機器の接続や設定については、準備編の「外部機器の接続と設定」の章をご覧ください。



1 使用する機器の電源を入れる

2 機器が接続されている入力を選ぶ

- [入力切換]や[ゲーム]またはモニターの[入力切換]を押すと、画面左上に入力一覧画面（下の図を参照）が表示されます。
- 入力選択には以下の3とおりの方法があります

■ [入力切換]や[ゲーム]またはモニターの[入力切換]を繰り返し押す

- [入力切換]を押すたびに以下のように切り換わります。（チューナー側の入力から選択）

放送 → HDMI 1 → HDMI 2 → HDMI 3 → HDMI 4 → HDMI 5 → ビデオ1 → ビデオ2 → ビデオ3 →（放送に戻る）

- [ゲーム]を押すたびに以下のように切り換わります。（モニター側の入力から選択）

ゲーム1 → ゲーム2 →（ゲーム1に戻る）

- モニター側の入力が選択されている場合は、モニターの[入力切換]を押すたびに以下のように切り換わります。

ゲーム1 → ゲーム2 → チューナー入力 →（ゲーム1に戻る）

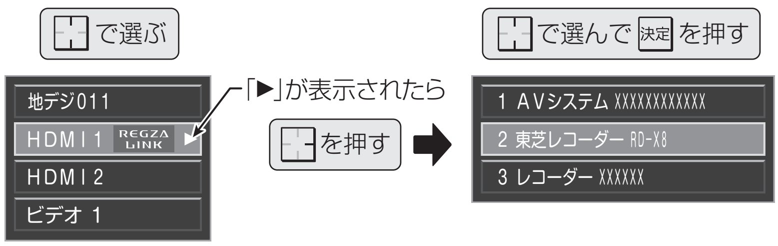
- チューナー側の入力が選択されている場合は、モニターの[入力切換]を押すたびに以下のように切り換わります。

放送 → HDMI 1 → HDMI 2 → HDMI 3 → HDMI 4 → HDMI 5 → ビデオ1 → ビデオ2 → ビデオ3 → モニター入力 →（放送に戻る）

■ 入力一覧画面から[▲▼]で選んで[決定]を押す

■ HDMI入力に [REGZA LINK] ▶ が表示されているとき

- HDMI入力端子を備えたHDMI連動対応のAVシステム機器を経由して、本機のHDMI入力端子に複数のHDMI連動機器を接続している場合は、その入力に[REGZA LINK] ▶が表示されます。
その場合は、[▶]を押し、表示される一覧から使いたい機器を[▲▼]で選んで[決定]を押します。



3 選んだ機器を操作する

- 機器のリモコンで再生などの操作をしてください。
- レグザリンク対応（HDMI連動機能対応）機器の場合は、本機のリモコンで一部の機能の操作ができます。「HDMI連動機器を操作する」86 をご覧ください。

お知らせ

- お買い上げ時は、機器が接続されていない入力端子をスキップする（飛ばす）ように設定されています。（「外部入力自動スキップ」（準備編50）の設定で変更することができます）
- 入力切換時に画面に表示される「DVD」などの機器名を変えることができます。（「外部入力表示設定」（準備編50））
- ゲーム入力の音声は、チューナー背面の光デジタル音声出力端子および音声出力（固定）端子から出力されません。

画面サイズを調整する

画面のスキャンモードを設定する

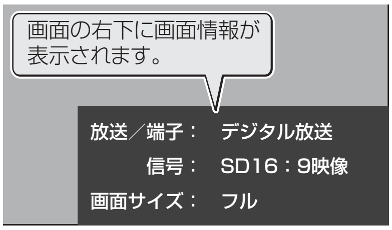
● 次ページの「画面サイズ切換」で「フル」、「ゲームフル」または「ノーマル」、「ゲームノーマル」を選んだときの画面サイズを、常に「オーバースキャン」または「ジャストスキャン」に設定することができます。

※ 映像の種類によっては、設定できないことがあります。

1 [クイック]を押す

2 で「映像設定」を選び、[決定]を押す

3 で「画面調整」を選び、[決定]を押す



4 で「スキャン切換」を選び、[決定]を押す

5 で以下の中から選び、[決定]を押す

- **ジャストスキャン**……16:9の映像を画面内にすべて表示します。
- **オーバースキャン**……16:9の映像を少し大きめに表示します。

6 設定が終わったら、[終了]を押す

画面の位置や幅を調整する

● 画面右下に表示されている「放送/端子、信号、画面サイズ」の組合せごとに、「画面調整」の調整状態が記憶されます。

※ 映像の種類と画面サイズによっては、調整できないことがあります。

※ パソコンを接続したときに、画面の右下に表示される画面情報とパソコン側とで設定した情報が一致しない場合があります。

1 [クイック]を押す

2 で「映像設定」を選び、[決定]を押す

3 で「画面調整」を選び、[決定]を押す

4 調整する項目をで選び、[決定]を押す

- **上下振幅調整**……映像の縦のサイズを調整します。
- **上下画面位置**……映像の表示位置を上下に調整します。
- **左右振幅調整**……映像の横のサイズを調整します。

5 でお好みの状態に調整し、[決定]を押す

● 上下振幅調整と左右振幅調整は－03 ～＋03、上下の表示位置は－10 ～＋10の範囲で調整できます。

● 調整画面ではを押さないと、数秒でメニュー画面に戻ります。

6 調整が終わったら、[終了]を押す

画面調整をお買い上げ時の設定に戻す

1 上記の手順***1***～***3***の操作をする

2 で「初期設定に戻す」を選び、[決定]を押す

3 確認画面で、で「はい」を選んで[決定]を押す

画面サイズを切り換える

画面サイズを切り換える

● 視聴している映像の種類に応じて、画面サイズを切り換えることができます。

1 クイック を押す

2 [十字キー] で「画面サイズ切換」を選び、決定 を押す

3 画面サイズのモードを [十字キー] で選び、決定 を押す

● 選べる画面サイズは下表のとおりです。
● 各画面サイズのモードの説明は、次ページをご覧ください。

放送やビデオ入力端子からの映像見ているとき

映像の種類	選べる画面サイズ
地上アナログ放送、 デジタル放送の4：3の映像、 ビデオ入力端子(480iと480pのみ)	スーパーライブ、ズーム、映画字幕、フル、ノーマル
デジタル放送の16：9の映像	フル、HDスーパーライブ、HDズーム • 画面サイズを変更した番組の放送中は、選んだ画面サイズが保持されます。番組終了後、選局操作をすると「フル」に戻ります。 • 電源入／切で「フル」に戻ります。
D5映像入力端子からのハイビジョン映像	フル、ノーマル、HDスーパーライブ、HDズーム • 機器の操作、電源入／切などで「フル」に戻ります。

HDMI端子からの映像を見ているとき

映像や信号フォーマットの種類	選べる画面サイズ
480i、480p	ノーマル、Dot By Dot、スーパーライブ、ズーム、映画字幕、フル
VGA、SVGA、XGA、SXGA※	ノーマル、Dot By Dot、スーパーライブ、ズーム、フル
720p、1080i、1080p、WXGA※	ノーマル、Dot By Dot、HDスーパーライブ、HDズーム、フル

※ 信号フォーマットについては 125 の説明をご覧ください

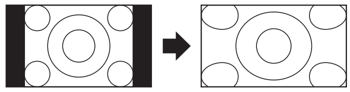
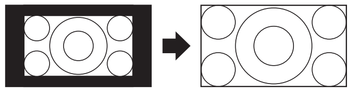
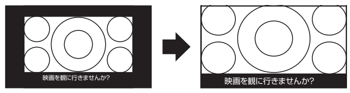
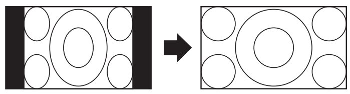
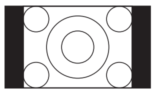
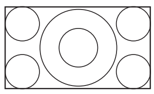
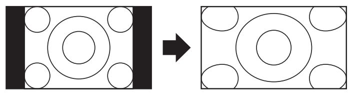
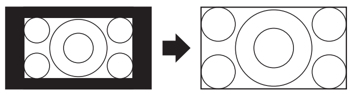
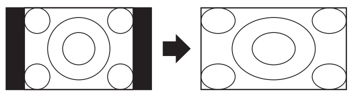
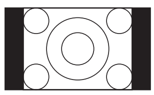
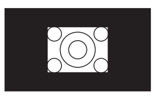
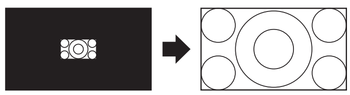
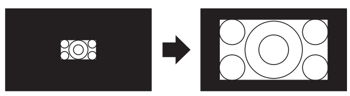
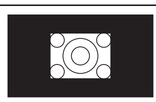
映像メニューを「ゲーム」にしているとき

入力端子	フォーマットの種類	選べる画面サイズ
HDMI	1080p、720p、480p	ゲームフル、ゲームノーマル、ゲームダイレクト
HDMI	1080i、480i	ゲームフル、ゲームノーマル、Dot By Dot
D端子	720p	ゲームフル、ゲームノーマル、ゲームダイレクト
D端子	480p	ゲームフル、ゲームノーマル、ポータブルズーム2、ポータブルズーム1
上記以外		ゲームフル、ゲームノーマル

写真再生時 77

写真の解像度	選べる画面サイズ
1920×1080ピクセルまで	ノーマル、Dot By Dot
1920×1080ピクセルを超えるとき	ノーマル

画面の見えかたについて

入力	画面サイズのモード	画面の見えかた	説　明
4:3	スーパーライブ	※1 	4:3の映像をワイド画面で楽しむモードです。画面左右の端にいくほど映像が引き伸ばされます。
	ズーム	※1 	上下が黒い帯になっている映画などのワイド映像（レターボックスといい、DVDソフトなどではケース背面などに「LB」と表示されています）を拡大して楽しむモードです。
	映画字幕	※1 	レターボックスのワイド映像の下に字幕がある場合に、字幕を隠れにくくするモードです。
	フル	※1 	DVDソフトなどのスクイーズ映像（縦に伸びて見える映像）を、ワイド映像で表示するモードです。
	ノーマル		4:3の映像がそのままの横と縦の比で表示されます。
16:9	フル		16:9の映像が画面内にすべて表示されるモードです。 ※「スキャン切換」27 で画面に表示する情報量が変えられます。
	HDスーパーライブ※2	※3 	左右に帯（黒や模様など）のある16:9の映像をワイド画面で楽しむモードです。画面左右の端にいくほど映像が引き伸ばされます。
	HDズーム※2	※3 	上下左右に帯（帯も映像として送られています）のある16:9の映像をワイド画面で楽しむモードです。
ゲーム	ゲームフル	※4 	ゲーム映像がテレビ画面いっぱいに拡大して表示されます。
	ゲームノーマル		ゲーム映像がそのままの横と縦の比で表示されます。 （図は4:3の例です）
	ゲームダイレクト		ゲーム映像が拡大・縮小されずにそのまま表示されます。 精細感のあるくっきりしたゲーム映像で楽しめます。 映像のない部分は黒く表示されます。
	ポータブルズーム2	※5 	ポータブルゲーム映像の横と縦がそれぞれ4倍に拡大して表示されます。※5
	ポータブルズーム1	※5 	ポータブルゲーム映像の横と縦がそれぞれ3倍に拡大して表示されます。※5
HDMI 写真	Dot By Dot		入力信号の解像度のまま画面に表示されます。映像のない部分は黒く表示されます。（図はSVGAの例です）

※1 左側の図は画面サイズのモードを「ノーマル」にした場合の見えかたです。
※2 デジタル放送のハイビジョン放送と通常画質放送の16:9の映像で切り換えることができます。
※3 左側の図は画面サイズのモードを「フル」にした場合の見えかたです。
※4 左側の図は画面サイズのモードを「ゲームノーマル」にした場合の見えかたです。
※5 拡大倍率は入力解像度を基準としたものです。（画面の見えかたはイメージで、実際に入力解像度で表示できるというわけではありません）

お知らせ

- このテレビは、各種の画面サイズのモード切換機能を備えています。テレビ番組等のソフトの映像比率と異なるモードを選択すると、本来の映像とは見えかたが異なります。
- ワイド映像ではない従来（通常）の4:3の映像を、「スーパーライブ」などを利用してワイドテレビの画面いっぱいに表示してご覧になると、周辺画像が一部見えなくなったり、変形して見えたりします。制作者の意図を尊重した本来の映像は、「Dot By Dot」、「ノーマル」（16：9映像の場合は「フル」）でご覧になれます。
- テレビを公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテル等に置いて、画面サイズのモード切換機能を利用して、画面の圧縮や引き伸ばしなどすると、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害するおそれがありますので、ご注意願います。

字幕を表示させる／音声や映像を切り換える

字幕を表示させる

- 「字幕オン」に設定すると、字幕放送のときに字幕が表示されます。お買い上げ時は「字幕オフ」に設定されています。
- 字幕放送番組は、番組説明画面［15］に［字］のアイコンが表示されます。（表示と実際の放送が一致しない場合があります）
- 地上アナログ放送の字幕放送には対応していません。

1 ［クイック］を押す

2 ［　］で「その他の操作」を選び、［決定］を押す

3 ［　］で「信号切換」を選び、［決定］を押す

4 ［　］で「字幕切換」を選び、［決定］を押す

5 ［　］で「字幕オン」または「字幕オフ」を選び、［決定］を押す

- **字幕オン**……字幕放送になったときに字幕が表示されます。
- **字幕オフ**……字幕は表示されません。

- 番組によっては、「字幕オン」の代わりに「日本語字幕」、「英語字幕」または「字幕1」、「字幕2」などと表示され、字幕の言語を選べることがあります
- 右記の「映像、音声、データを切り換える」の「字幕切換」でも字幕の切換えができます。

二重音声を切り換える

- 音声多重放送番組の場合、主音声、副音声、主：副を切り換えることができます。
- 番組情報画面［15］に［二重音声］のアイコンが表示されます。

1 ［音声切換］を押す

- ［音声切換］を押すたびに以下のように切り換わります。

主音声 ➡ 副音声 ➡ 主：副（➡ 主音声に戻る）

（例：主音声が日本語、副音声が英語の場合）



- 右記の「映像、音声、データを切り換える」の「音多切換」でも音声の切換えができます。

音声を切り換える

- 複数の音声信号が放送されている番組の場合、音声1、音声2などの音声信号を切り換えることができます。
- 番組情報画面［15］に［信号切換］のアイコンが表示されます。

1 ［音声切換］を押す

- ［音声切換］を押すたびに以下のように切り換わります。

音声1 ➡ 音声2 ➡ 音声3…（➡ 音声1に戻る）

- 以下の「映像、音声、データを切り換える」の「音声信号切換」でも音声の切換えができます。

映像、音声、データを切り換える

- デジタル放送では、一つの番組に複数の映像や音声、データがある場合があり、お好みで選択することができます。
- 映像、音声、データが切り換えられる番組は、番組説明画面に［信号切換］のアイコンが表示されます。

1 ［クイック］を押す

2 ［　］で「その他の操作」を選び、［決定］を押す

3 ［　］で「信号切換」を選び、［決定］を押す

4 切り換えたい項目（「映像信号切換」、「音声信号切換」、「音多切換」、「データ信号切換」）を［　］で選び、［決定］を押す

- 視聴中の番組で切換のできない信号は、項目名が薄くなって表示されます。



5 視聴する映像、音声、データを［　］で選び、［決定］を押す

- 「信号切換」のクイックメニューに表示される「音声信号切換」、音多切換」、「字幕切換」は、それぞれ左記および上記の手順で操作する機能と同じものです。

お知らせ

■ **字幕について**
- 字幕表示中に一部の操作をすると、字幕が消えます。通常画面に戻ると、再び字幕が表示されます。

■ **信号切換について**
- 選局操作をすると、信号切換で選択した状態は取り消されます。（基本の信号を選択した状態になります）
- 映像の切換と同時に音声も切り換わる場合もあります。

映像を静止させる／ヘッドホーンモードを設定する

映像を静止させる

● 映像の動きを止めることができます。たとえば、料理番組のレシピや、応募番組の宛先などをメモしたりするときに便利です。

1 静止 を押す
● 映像が静止します。
● 解除するときは、静止 をもう一度押します。
※ 映像の静止中でも音声は流れ続けます。

ヘッドホーンモードを設定する

● 本機にヘッドホーンを接続したときの音の出かたを設定します。
● お買い上げ時は「主画面モード」に設定されています。

1 クイック を押す

2 で「音声設定」を選び、決定 を押す

3 で「ヘッドホーンモード」を選び、決定 を押す

4 で希望のモードを選び、決定 を押す
・ **主画面モード**……ヘッドホーンだけで音声を聞くモードです。ヘッドホーンのプラグを差し込むと、スピーカーから音声が出なくなります。
・ **親切モード**………ヘッドホーンとスピーカーの両方で音声を聞くモードです。家族で視聴する場合など、スピーカーの音声が聞き取りにくい人がヘッドホーンまたはイヤホーンで聴くというような使いかたができます。
● ヘッドホーンの音量調節については、下の説明をご覧ください。

5 設定が終わったら、終了 を押す

■ ヘッドホーンの音量調節のしかた

● 「主画面モード」に設定している場合は、音量 で調節します。
● 「親切モード」に設定した場合で、ヘッドホーンを接続しているときは、以下の手順で調節します。

❶ クイック を押す
❷ で「その他の操作」を選び、決定 を押す
❸ で「親切ヘッドホーン音量」を選び、決定 を押す
※ ヘッドホーンを接続していないときは、選べません。
❹ で音量を調節する
● 音量 でも調節できます。

お知らせ
■ 映像の静止（静止画）について
● ラジオ、データ放送視聴中は静止画にすることはできません。
● 字幕放送の場合、映像の静止中は字幕は表示されません。
● 映像の静止中は、データ放送の操作はできません。
● 選局操作をすると、静止画が解除されます。
● テレビを公衆に視聴させることを目的として喫茶店、ホテルなどで「静止画」を使用すると、著作権法で保護されている著作権を侵害するおそれがあります。

地デジの過去番組を見る

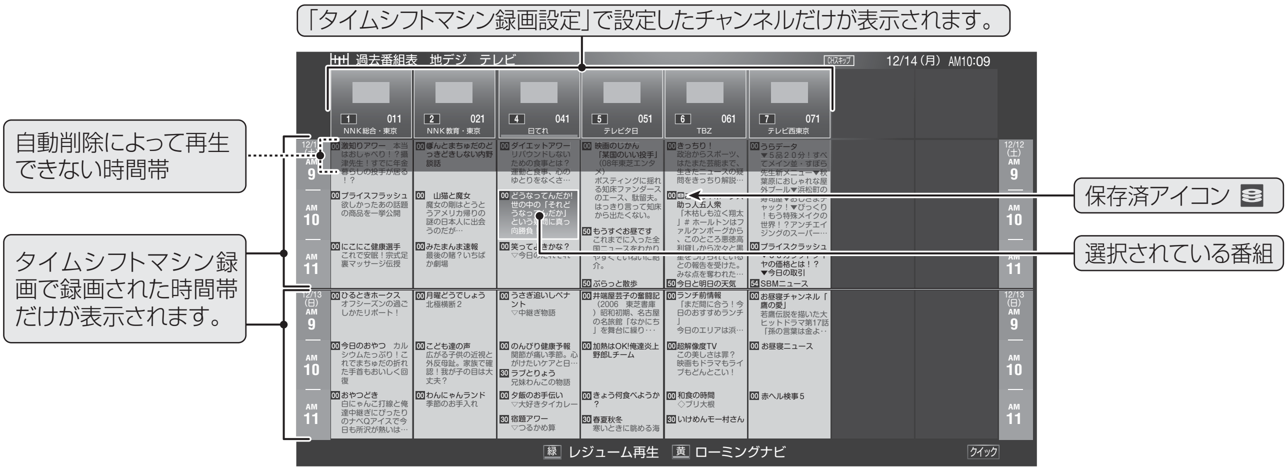
● リモコンの タイムシフト を押すと、タイムシフトマシン録画機能で録画された地上デジタル放送の番組を選んで視聴することができます。
● タイムシフトマシン録画番組を内蔵ハードディスクやUSBハードディスクに保存することができます。

タイムシフトマシンを使うための準備について

● この機能で視聴できるのは、「はじめての設定」（準備編 34）の「タイムシフトマシン録画設定」で設定されたチャンネル、時間、曜日に従って本機内に録画された地上デジタル放送の番組です。
● 上記の設定をしていない場合および録画チャンネルや曜日、録画時間を変更する場合は、「地デジ機能設定」（準備編 58）の「地デジ機能チャンネル設定」と「タイムシフトマシン録画設定」の手順で設定してください。

基本操作

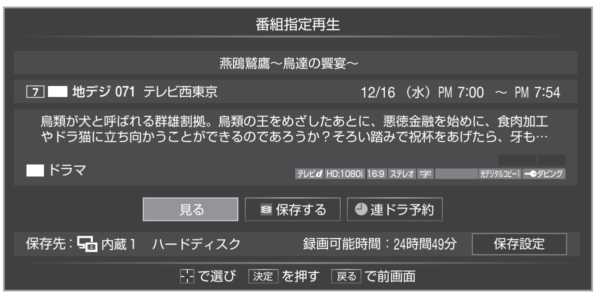
1 タイムシフト を押す
● 過去番組表が表示されます。



2 見たい番組を ✥ で選ぶ
● 緑 を押すとレジューム再生になり、前回途中まで視聴していた場合は続きが再生されます。
● 黄 を押すとローミングナビが起動します。検索対象は「録画番組」となります。36

3 決定 を押す
● 「番組指定再生」画面が表示されます。

4 ✥ で「見る」を選び、決定 を押す



● 選択した番組の再生が始まります。

タイムシフトマシンで録画中の放送番組を視聴しているときに ⏮ を押すと、視聴している番組の冒頭（録画された部分）から再生が始まります。

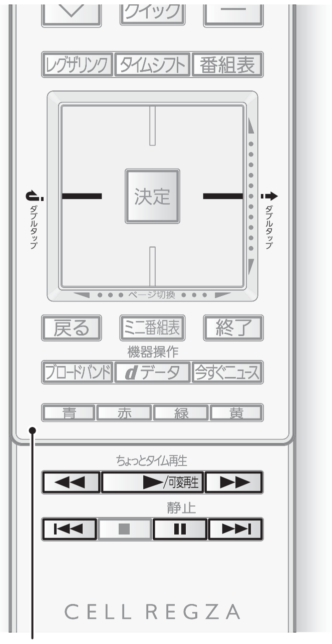
5 タイムシフトマシンを終了するには、終了 または ■ を押す

お知らせ
● タイムシフトマシンで視聴できる過去の番組は、タイムシフトマシン録画機能で録画した番組に限られます。ただし、録画した番組は各チャンネルに割り当てられたハードディスクの容量が足りなくなると古い番組から自動的に削除されます。
● 過去番組表や再生画面、タイムバーの番組情報および時刻情報などは、放送波で送信されてくる番組情報をもとに表示しています。

過去番組視聴中の操作

再生操作

● リモコンで以下の再生操作ができます。



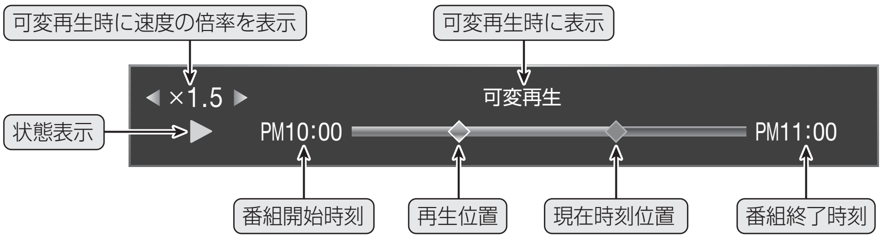
パネル1段スライド

ボタン	動　作
▶/可変再生	再生中に押すと可変再生モードになり、[上下]で0.9～1.5倍速の範囲で速さを変えることができます。([下]：遅く、[上]：早く)
❚❚	再生中に押すと一時停止になります。 • 一時停止中にもう一度押すと、再生が再開されます。 • 一時停止中に[左右]で再生位置を変えることができます。
▶▶	早送り再生をします。(押すたびに速さが変わります)
◀◀	早戻し再生をします。(押すたびに速さが変わります)
[右]ダブルタップ	再生中または可変再生中にダブルタップすると、30秒ほど先に進んで再生します。(ワンタッチスキップ) • 進む時間は、「ワンタッチスキップ設定」(準備編 64)で変更できます。
[左]ダブルタップ	再生中または可変再生中にダブルタップをすると、10秒ほど戻って再生します。(ワンタッチリプレイ) • 戻る時間は、「ワンタッチリプレイ設定」で変更できます。
▶▶❙	ワンタッチスキップの動作になります。
❙◀◀	ワンタッチリプレイの動作になります。

● タイムシフトマシン録画番組の再生を開始すると、再生を開始した番組から同じチャンネルの最新の録画番組まで順に連続再生が行われます。
● 録画が完了した最新番組の再生が終わるとタイムシフトマシンが終了します。
● タイムシフトマシンで録画中の番組を視聴する場合は、タイムバー(下図)に現在時刻位置(現在の録画ポイント)が表示されます。
● ❚❚ で一時停止をしている間に時間が経過して、自動削除機能によって視聴中の番組が削除されそうになった場合は、一時停止が自動的に解除されます。

タイムバー

● 画面表示 を押すとタイムバーが表示されます。
● 停電や次ページの「タイムシフト録画の一時停止」などで録画されなかった部分があっても、その様子はタイムバーに表示されません。その部分は再生時にスキップされます。



番組を選び直す

● タイムシフト を押して過去番組表を表示させ、視聴する番組を選びます。

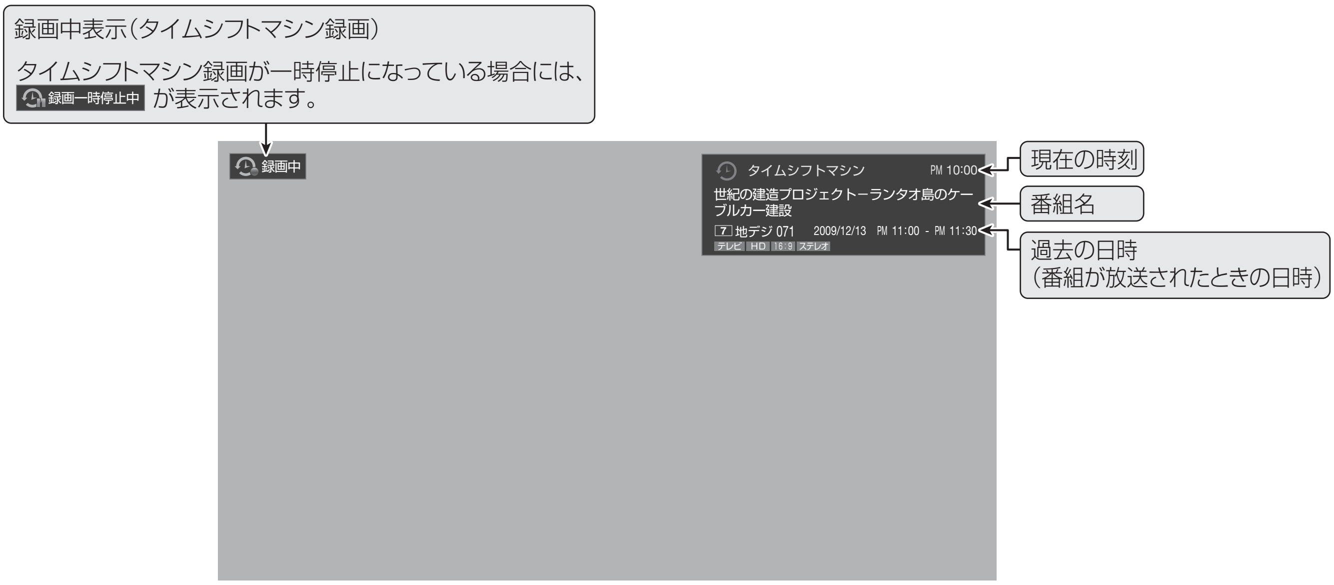
番組説明を見る

● 番組説明 を押します。

地デジの過去番組を見る つづき

番組情報を見る

● 視聴中に[画面表示]を押します。



タイムシフトマシン録画の一時停止と再開

● タイムシフトマシン録画を一時的に停止させたり、再開させたりすることができます。
● 放送番組や過去番組の視聴中などに以下の操作をします。

1 [クイック]を押す

2 [▲▼]で「タイムシフトマシン録画の一時停止」、「タイムシフトマシン録画の再開」を選び、[決定]を押す

● タイムシフトマシン録画をする状態になっているときは、クイックメニューに「タイムシフトマシン録画の一時停止」が表示されます。
タイムシフトマシン録画が一時停止状態になっているときは、「タイムシフトマシン録画の再開」が表示されます。

※ タイムシフトマシン録画が一時停止状態になっているかどうかは、上記の「番組情報を見る」の操作で確認できます。（画面の左上に 録画一時停止中 が表示されます）
※「タイムシフトマシン録画の一時停止」は、電源を「待機」にすると解除されます。

地デジの過去番組を保存する

● 残しておきたい番組を、自動削除される前に番組を内蔵ハードディスクやUSBハードディスクに保存すれば、レグザリンクメニューの「録画番組を見る」の操作で視聴できるようになります。

※ 保存できるのはダビング10番組のみです。保存した番組はコピー８回＋ムーブ１回可能となります

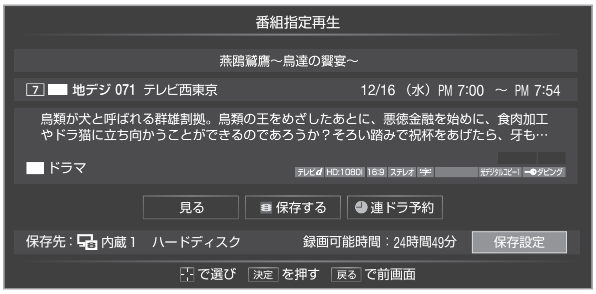
※ 録画中の番組、再生中の番組、自動削除中の番組、一度保存した番組は保存できません。（保存済の番組には、保存済アイコンがつきます）

1 過去番組表で、保存する番組を で選び、決定を押す

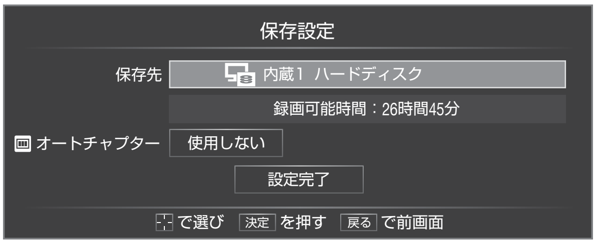
● 「番組指定再生」画面が表示されます。

● 保存設定を変更しない場合は、手順**4**に進みます。

2 で「保存設定」を選び、決定を押す



3 保存設定をする



保存先を変更するとき

❶ で「保存先」を選び、決定を押す

● 保存先機器の選択画面が表示されます。

❷ 保存先にする機器を で選び、決定を押す

オートチャプターの設定を変更するとき

● オートチャプターは、シーンの変わり目で自動的にチャプター（章）に分割する機能です。機能を使用するかどうかを設定します。

❶ で「オートチャプター」を選び、決定を押す

● オートチャプターの設定画面が表示されます。

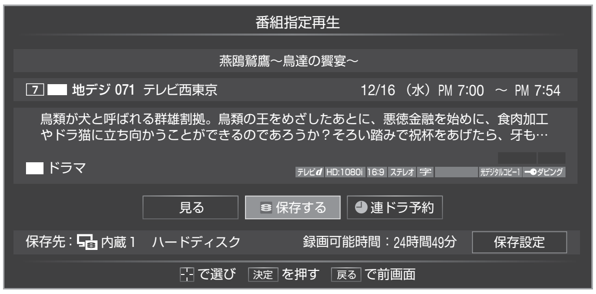
❷ で「使用する」または「使用しない」を選び、決定を押す

設定が終わったら

❶ で「設定完了」を選び、決定を押す

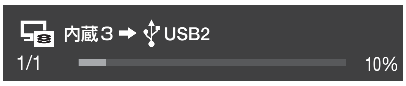
● 「番組指定再生」画面に戻ります。

4 で「保存する」を選び、決定を押す



※ 過去番組の保存中はチューナー前面の「録画/ダビング」表示が赤色に点灯します。

● 保存が始まってしばらくすると、画面の右下に進行状況が表示されます。



お知らせ

● 過去番組の保存中は「今すぐニュース」の自動録画は行われません。

● 過去番組の保存中にできない操作をすると、画面にメッセージが表示されます。ダビングが終了するまでお待ちください。

● 過去番組の保存中に録画予約の開始時刻になった場合は、画面にメッセージが表示されます。

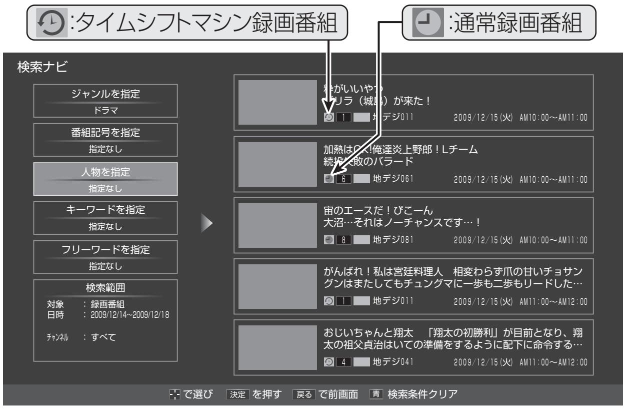
地デジの過去番組を検索する

- 「番組を検索する」 21 ～ 24 の操作で過去番組の検索ができます。
- 過去番組表の表示中に［黄］を押してローミングナビを起動することができます。その場合は「録画番組」が検索対象となります。
- 「検索ナビ」で検索する場合は、［番組検索］を押してメニューから選んでください。
- 「番組を検索する」の場合と以下の点が異なります。

検索ナビで検索する

検索ナビメイン画面

- 検索結果の画面には、すべての録画番組から検索した結果が表示されます。

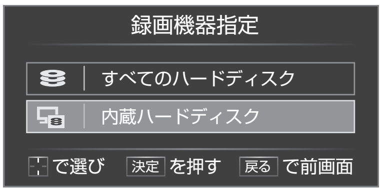


検索範囲を指定するとき

- 「対象」は「録画番組」を指定します。



- 「録画機器」は「内蔵ハードディスク」を選択します。
  ［上下］で機器を選んで［決定］を押します。



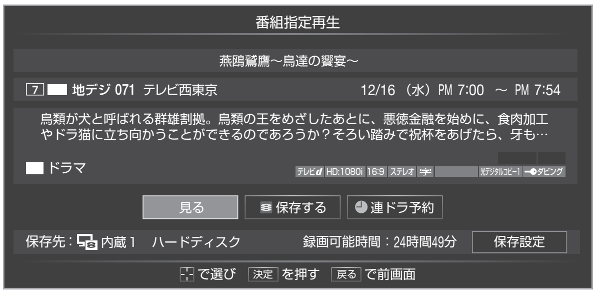
- 「日付」は範囲を指定します。
  ［左右］で欄を選び、［上下］で検索開始日、検索終了日を選びます。左端の欄は、「指定する」を選びます。
  選び終わったら、［決定］を押します。



検索結果からタイムシフトマシン録画番組を選んだとき

※ ［タイムシフトマシン］がついた番組を選んでください。

- 「番組指定再生」画面が表示されます。



番組を見るとき

❶ ［上下］で「見る」を選び、［決定］を押す

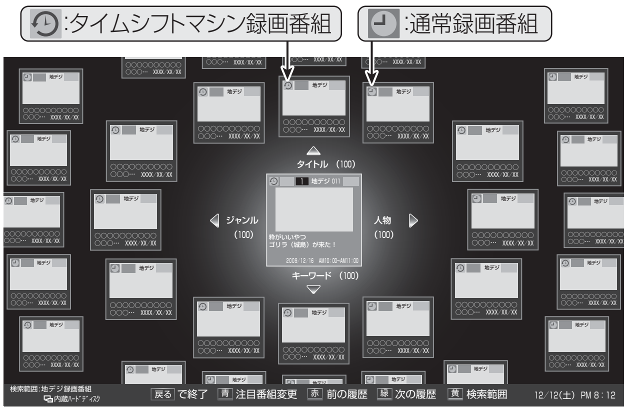
- 番組の冒頭（録画開始点）から再生が始まります。

内蔵、USBハードディスクなどに保存するとき

- 前ページ「地デジの過去番組を保存する」の手順**2**以降の操作をします。

ローミングナビで検索する

ローミングナビ画面



検索範囲の指定

- 検索範囲は、左記の「検索範囲を指定するとき」と同様に設定します。ただし、「チャンネル」の指定はありません。

注目番組、関連番組

- 注目番組、関連番組ともにすべての録画番組が対象となります。

検索結果から番組を選んだとき

- 上記の「検索結果から番組を選んだとき」と同じです。
- 検索結果に表示されている番組でも、自動削除された番組は再生できません。

お好みの映像を選ぶ

● 見る映像の種類に応じて、お好みの映像メニューを選ぶことができます。
● 「映像メニュー」は、入力端子ごとに記憶させることができます。

1 クイック を押す

2 で「映像設定」を選び、決定 を押す

3 で「映像メニュー」を選び、決定 を押す

4 お好みの映像メニューを で選び、決定 を押す

● 「映画プロ」を選んだ場合は、で「映画プロ1」、「映画プロ2」のどちらかを選び、決定 を押してください。
● 「写真を見る」77 では、「映画」、「テレビプロ」「映画プロ」、「ゲーム」、「PCファイン」は選択できません。



映像メニュー	内　容
おまかせ	映像の内容と周囲の明るさに合わせて、常に見やすい画質で表示されます。
あざやか	明るく、迫力ある映像で楽しむ場合に適した設定です。
標準	室内で落ち着いた雰囲気で楽しむ場合に適した設定です。 （日常、ご家庭で使用するときの推奨設定です）
映画	暗くした部屋で映画館のような雰囲気で楽しむ場合に適した設定です。 （暖かみのある色あいを再現します）
テレビプロ	テレビ番組を見る場合に適した設定です。 （お好みに合わせて、さらに細かい調整を記憶させることができます）
映画プロ1、2	映画を見る場合に適した設定です。 （お好みに合わせて、さらに細かい調整を記憶させることができます）
写真	写真（JPEG画像）を表示する場合に適した設定です。 （写真を見るときに選択できます）
ゲーム	操作の応答性を重視したゲームをする場合に適した設定です。
PCファイン	パソコンの画面を表示する場合に適した設定です。 （「HDMI1」～「HDMI5」、「ゲーム1」入力選択時に選べます）
メモリー	お好みに調整した映像設定で楽しむ場合に選びます。

5 終わったら、終了 を押す

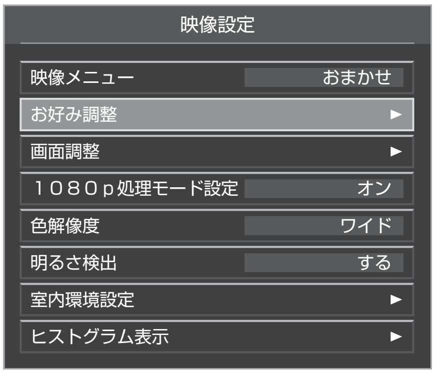
お好みの映像に調整する

- 映像メニューが「おまかせ」、「テレビプロ」、「映画プロ」、「ゲーム」、「PCファイン」のときに調整した場合、調整した結果がそれぞれの映像メニューに記憶されます。それ以外を選んだ場合は、調整した結果が「映像メニュー」の「メモリー」に記憶され、「映像メニュー」が「メモリー」に切り換わります。
- お好み調整で設定した調整値は、入力端子ごとに記憶されます。

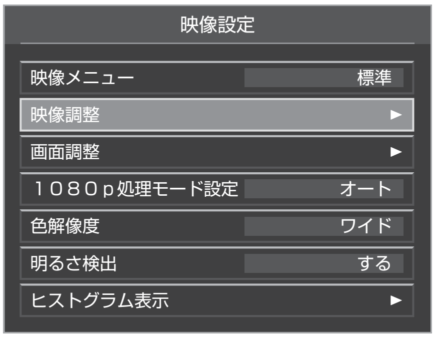
1 クイック を押す

2 で「映像設定」を選び、決定 を押す

3 で「お好み調整」を選び、決定 を押す



- 「映像メニュー」が「おまかせ」以外のときは、「映像調整」を選びます。



4 調整する項目を で選び、決定 を押す





5 でお好みの映像に調整し、決定 を押す

- いくつもの項目を調整する場合は、手順**4**、**5**を繰り返します。
- 決定 を押す前に を押せば、調整項目を切り換えることができます。

6 終わったら、終了 を押す

調整項目	内　容	調整範囲
ユニカラー	コントラスト、明るさ、色の濃さをバランスよく同時に調整します。	00　～　100 淡くなる⇔濃くなる
黒レベル	黒の階調を調整します。(黒髪などを見やすくします)	−50　～　+50 暗くなる⇔明るくなる
色の濃さ	色の濃さを調整します。	−50　～　+50 淡くなる⇔濃くなる
色あい	肌の色に注目して、色あいを調整します。	−50　～　+50 紫が強くなる⇔緑が強くなる
シャープネス	映像の鮮明さを調整します。	−50　～　+50 やわらかい映像になる⇔くっきりした映像になる
明るさ調整	「色温度センサー」で明るさを自動調整するときの画面の明るさを調整します。「明るさ検出」が「する」に設定されているときに、この項目が表示されます。	44 をご覧ください。
バックライト	お好みの見やすい画面の明るさに調整できます。「明るさ検出」が「しない」に設定されているときに、この項目が表示されます。	00　～　100 暗くなる⇔明るくなる
詳細調整	映像をさらに細かく調整します。	次ページをご覧ください。
初期設定に戻す	調整した項目をお買い上げ時の設定に戻します。	――――

映像を詳細に調整する

1 クイック または 設定メニュー を押す

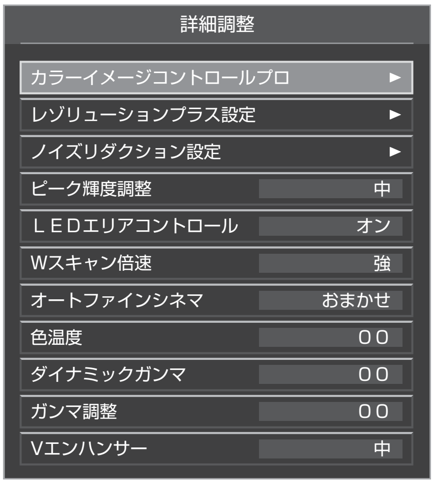
2 で「映像設定」を選び、決定 を押す

3 で「お好み調整」を選び、決定 を押す

● 「映像メニュー」が「おまかせ」以外に設定されている場合は、「映像調整」を選びます。

4 で「詳細調整」を選び、決定 を押す

5 以降の手順で必要な項目を選んで調整する（43 まで）



6 調整が終わったら、終了 押す

カラーイメージコントロールプロ

● 映像の色調を調整することができます。
● 「カラーパレットプロ調整」には、「ベースカラー調整」と「ユーザーカラー調整」があります。
● 調整した内容は、「映像メニュー」の「メモリー」に記憶されます。

カラーイメージプロ設定

● 「カラーパレットプロ調整」の機能を使う場合は、「カラーイメージプロ設定」を「オン」にします。（お買い上げ時は「オン」に設定されています）

1 「詳細調整」画面で、「カラーイメージコントロールプロ」を で選び、決定 を押す

2 で「カラーイメージプロ設定」を選び、決定 を押す

3 で「オン」または「オフ」を選び、決定 を押す

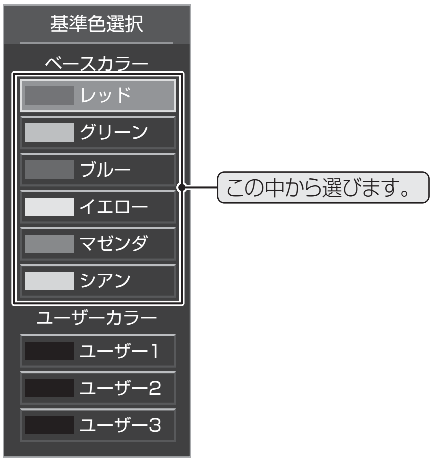
ベースカラー調整

● レッド、グリーン、ブルーなどの色ごとに色あいや色の濃さを調整します。
● 「カラーイメージプロ設定」が「オン」のときに設定できます。

1 「詳細調整」画面で、 で「カラーイメージコントロールプロ」を選んで 決定 を押す

2 で「カラーパレットプロ調整」を選び、決定 を押す

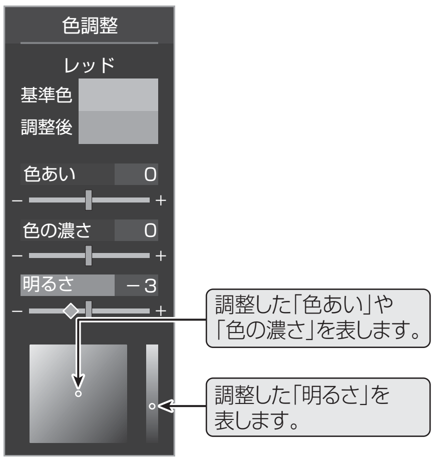
3 調整する色を で選び、決定 を押す



4 以下の操作でお好みの色に調整する

❶ 青 を押して静止画にする
（もう一度 青 を押すと静止画が解除されます）
● 動画のままでも調整できますが、動きがあるとやりにくくなります。

❷ で「色あい」、「色の濃さ」、「明るさ」のどれかを選び、 で調整する
● 調整範囲は－30 ～＋30です。
※ 元の色（初期状態）に戻すには、赤 を押します。



❸ 選んだ色の調整が終わったら、戻る を押す

● いくつもの色を調整する場合は、手順*3*、*4*を繰り返します。
● 調整を終わるときは、「詳細調整」画面まで戻ります。

映像を詳細に調整する つづき

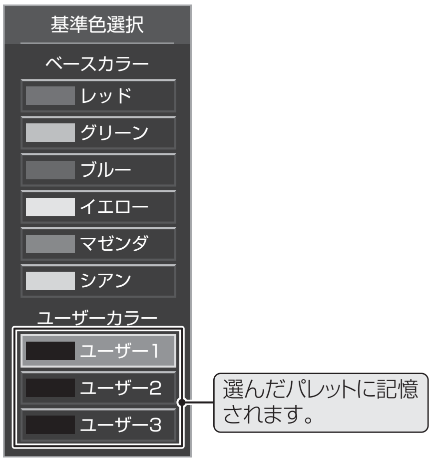
ユーザーカラー調整

● 画面に表示されている色を指定して、お好みの色あいや色の濃さ、明るさに調整します。調整した結果は、指定した色と同じ色すべてに反映されます。肌色をお好みの色に調整する場合などに便利な機能です。

1 「詳細調整」画面で、「カラーイメージコントロールプロ」を で選び、決定 を押す

2 で「カラーパレットプロ調整」を選び、決定 を押す

3 で「ユーザー 1」、「ユーザー 2」、「ユーザー 3」のどれかを選び、決定 を押す

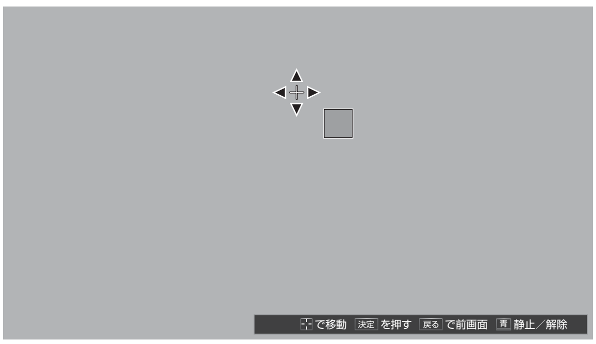


4 調整する色をユーザーカラーに登録する

❶ 青 を押して静止画にする
- 動画のままでも調整できますが、動きがあるとやりにくくなります。

❷ で「基準色変更」を選び、決定 を押す
- カーソルが表示されます。

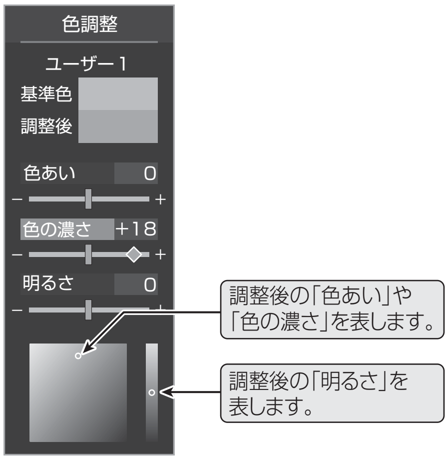
❸ 調整する色の部分まで でカーソルを移動し、決定 を押す
- パレットに色が登録されます。



5 以下の操作でお好みの色に調整する

❶ 青 を押して静止画にする

❷ で「色あい」、「色の濃さ」、「明るさ」のどれかを選び、 で調整する
- 調整範囲は－30 ～＋30です。
- ※ 元の色（初期状態）に戻すには、赤 を押します。



❸ 選んだ色の調整が終わったら、戻る を押す

- ほかのユーザーカラーを調整する場合は、手順**3** ～**4** を繰り返します。
- 調整を終わるときは、「詳細調整」画面まで戻ります。

お買い上げ時の設定に戻すとき

● すべての色をお買い上げ時の設定に戻します。

1 「詳細調整」画面で、 で「カラーイメージコントロールプロ」を選んで 決定 を押す

2 で「初期設定に戻す」を選び、決定 を押す

3 で「はい」を選び、決定 を押す

お知らせ
● テレビを公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテルなどで、ベースカラー調整を利用して、本来の映像と異なる色の画面を表示すると、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害するおそれがあります。

レゾリューションプラス設定

● 緻密で精細感のある映像を表示します。
※ 映像によっては、効果がわかりにくい場合があります。
※ 映像の種類によって、調整できない場合があります。

レゾリューションプラスの設定

● レゾリューションプラスの機能を使うかどうかを設定します。「オフ」に設定した場合は、以下の「アニメモード」、「レベル調整」は機能しません。

1 「詳細調整」画面で、「レゾリューションプラス設定」を ◆ で選んで 決定 を押す

2 ◆ で「レゾリューションプラス」を選び、決定 を押す

3 ◆ で「オン」または「オフ」を選び、決定 を押す

- **オン**…… レゾリューションプラスの機能が働きます。
- **オフ**…… レゾリューションプラスは働きません。

アニメモード

● アニメ番組を視聴するときに、アニメ番組に適した画質で表示されるようになります。

1 上記「レゾリューションプラスの設定」の手順*1*の操作をする

2 ◆ で「アニメモード」を選び、決定 を押す

3 ◆ で「おまかせ」、「オン」または「オフ」を選び、決定 を押す

- **おまかせ**……本機が自動的に切り換えます。
- **オン**…… アニメモードが働きます。
- **オフ**…… アニメモードは働きません。

レベル調整

1 左記「レゾリューションプラスの設定」の手順*1*の操作をする

2 ◆ で「レベル調整」を選んで 決定 を押す

3 ◆ で数値を選び、決定 を押す

映像メニュー	調整範囲	
「おまかせ」	−02 ～ +02	数値が大きくなるほど、映像の精細感が強調されます。
「おまかせ」以外	01 ～ 05	

ノイズリダクション設定

● 画面のノイズやざらつきを減らします。

- MPEG NR……デジタル放送やDVDなどの動きの速い映像のブロックノイズ（モザイク状のノイズ）と、モスキートノイズ（輪郭のまわりにつく、ちらつきノイズ）を減らす機能です。
- ダイナミックNR…映像のざらつきやちらつきを減らす機能です。

※「映像メニュー」が「ゲーム」、「PCファイン」、「写真」に設定されている場合は、設定できません。
※ HDMI入力でPC信号フォーマットを表示しているときは、設定できません。
※ 映像によっては、効果がわかりにくい場合があります。

1 「詳細調整」画面で、「ノイズリダクション設定」を ◆ で選んで 決定 を押す

2 ◆ で「MPEG（エムペグ） NR」または「ダイナミックNR」を選び、決定 を押す

3 ◆ でお好みの設定を選び、決定 を押す

設定項目	設定レベル
MPEG NR	「オート」「強」「中」「弱」「オフ」 ※ 強くかけると精細感をそこなう場合があります。 ※「オート」は「映像メニュー」が「おまかせ」のときにだけ選べます。
ダイナミックNR	「オート」「強」「中」「弱」「オフ」 ※ 通常は「オート」に設定してください。強くかけると残像が強くなる場合があります。

お知らせ

■ レゾリューションプラス設定について

● レゾリューションプラスと同様の高画質処理機能を備えた機器を接続した場合、画面のノイズが目立つことがあります。その場合には、本機のレゾリューションプラス、または、接続した機器の高画質処理機能をオフにしてください。

映像を詳細に調整する つづき

ピーク輝度調整

● 映像の白ピーク部分の明るさを調整します。
● 「LEDエリアコントロール」を「オン」に設定している場合に、この調整ができます。

1 「詳細調整」画面で、で「ピーク輝度調整」を選んで 決定 を押す

2 で「オート」、「強」、「中」、「弱」、「オフ」から選び、決定 を押す

● 「オート」は、「映像メニュー」が「おまかせ」に設定されているときに選択できます。

LEDエリアコントロール

● 映像の明るさに応じてエリアごとにバックライトの明るさを自動調整し、メリハリのある映像にします。

1 「詳細調整」画面で、で「LEDエリアコントロール」を選んで 決定 を押す

2 で「オン」または「オフ」を選び、決定 を押す

- **オン**….. LEDエリアコントロールの機能が働きます。
- **オフ**….. LEDエリアコントロールは働きません。

Wスキャン倍速

● 動きの速い映像で生じるブレや、ぼやけを減らすことができます。
※ 「映像メニュー」が「ゲーム」に設定されている場合は、設定できません。
※ 映像によっては効果がわかりにくい場合があります。

1 「詳細調整」画面で、で「Wスキャン倍速」を選んで 決定 を押す

2 で以下から選び、決定 を押す

- **強**…………ぼやけを減らす度合いが強くなります。
- **弱**…………ぼやけを減らす度合いが弱くなります。

オートファインシネマ

● 映画ソフトのもつスムーズな映像の動きと画質を再現します。
※ 映像によっては、効果がわかりにくい場合があります。

1 「詳細調整」画面で、で「オートファインシネマ」を選んで 決定 を押す

2 で「おまかせ」※、「スムーズモード」、「オフ」のどれかを選び、決定 を押す

※ 「映像メニュー」が「おまかせ」以外の場合は、「5-5フィルムモード」と表示されます。

選択項目	内　容
おまかせ（5-5フィルムモード）	映画などのフィルム映像を、元の映像に近い画質で再現されます。
スムーズモード	映画などのフィルム映像が、元の映像よりもなめらかな画質で再現されます。
オフ	特別な処理がされずに、元の映像がそのままの画質で表示されます。

色温度

● 画面全体の色味を調整します。

1 「詳細調整」画面で、で「色温度」を選んで 決定 を押す

2 で数値を選び、決定 を押す

● 調整レベル範囲

映像メニュー	調整レベル	
「おまかせ」	－5～+5	調整レベルの数値が小さくなるほど暖色系、大きくなるほど寒色系になります。
「おまかせ」以外	0～10	

3 で「Gドライブ」（緑）または「Bドライブ」（青）を選び、で調整する

● 明るい部分の色温度を微調整します。
● 「おまかせ」に設定されているときは調整できません。
● 調整レベル範囲（G、Bドライブとも）

映像メニュー	調整レベル	
「おまかせ」	調整できません	調整レベルの数値が大きくなるほど、選んでいる色の色味が強くなります。
「おまかせ」以外	－15～+15	

お願い
■ オートファインシネマについて
● 「5−5フィルムモード」、「スムーズモード」を選んだときに映像に違和感がある場合は、「オフ」に設定してください。

ダイナミックガンマ

● 映像の内容に応じて、暗い部分から明るい部分にかけての階調が自動的に調整されます。

1 「詳細調整」画面で、で「ダイナミックガンマ」を選んで 決定 を押す

2 で数値を選び、決定 を押す

● 調整レベル範囲

映像メニュー	調整レベル	
「おまかせ」	－５～+５	数値が大きくなるほどメリハリが強調されます。
「おまかせ」以外	０～１０	

ガンマ調整

● 映像の暗い部分と明るい部分の階調のバランスを調整することができます。

1 「詳細調整」画面で、で「ガンマ調整」を選んで 決定 を押す

2 で数値を選び、決定 を押す

● 調整レベル範囲

映像メニュー	調整レベル	
「おまかせ」	－４～+４	数値が大きくなるほど画面全体が明るくなります。
「おまかせ」以外		

Vエンハンサー

● 映像の横線の輪郭を、強調したり弱めたりすることができます。

※「映像メニュー」が「PCファイン」に設定されているときは、調整できません。

1 「詳細調整」画面で、で「Vエンハンサー」を選んで 決定 を押す

2 で数値または設定を選び、決定 を押す

● 調整レベル範囲

映像メニュー	調整レベル	
「おまかせ」	－５～+５	数値が大きくなるほど、輪郭が強調されます。
「おまかせ」以外	強/中/弱/オフ	

その他の映像調整・設定をする

明るさ検出の設定

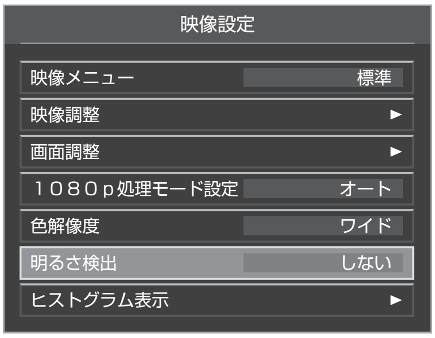
- 色温度センサー 6☞ が検出した周囲の明るさに応じて、画面の明るさが自動で調整されます。

※「映像メニュー」が「おまかせ」に設定されている場合は、「オフ」に設定することはできません。

1 クイック または 設定メニュー を押す

2 で「映像設定」を選び、決定 を押す

3 で「明るさ検出」を選び、決定 を押す



4 で「する」または「しない」を選び、決定 を押す

- する……明るさ検出機能が働きます。
- しない…明るさ検出機能は働きません。

5 終わったら、終了 を押す

明るさの調整

- 周囲の明るさに対する画面の明るさを調整することができます。
- 「映像メニュー」が「おまかせ」に設定されている場合、または左記の「明るさ検出」が「する」に設定されている場合に調整できます。

1 クイック または 設定メニュー を押す

2 で「映像設定」を選び、決定 を押す

3 で「お好み調整」を選び、決定 を押す

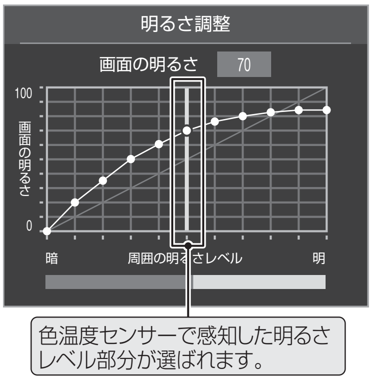
- 「映像メニュー」37☞ が「おまかせ」以外に設定されている場合は、「映像調整」を選びます。

4 で「明るさ調整」を選び、決定 を押す

5 決定 を押し、明るさを変えたいレベルを で選ぶ

6 で画面の明るさを調整し、決定 を押す

- 青 を押すと、調整前のレベルに戻ります。
- 赤 を押すと、お買い上げ時の設定に戻ります。



7 終わったら、終了 を押す

お知らせ

■ 色温度センサー、明るさ調整について

- 色温度センサーは、本機周囲の外光や照明光などの明るさと色温度（色味）を検出します。
- 調整中に照明をつけるなど、周囲の明るさを変えたときには、調整後に画面の明るさが変わらないことがあります。
- 色温度センサーの近くに物を置いたり、ふさいだりしないでください。色温度センサーが正しく動作しなくなることがあります。色温度センサーの位置は 6☞ をご覧ください。
- 「明るさ検出」が「しない」に設定されている場合、「明るさ調整」は「バックライト」になります。38☞

映像のヒストグラム表示

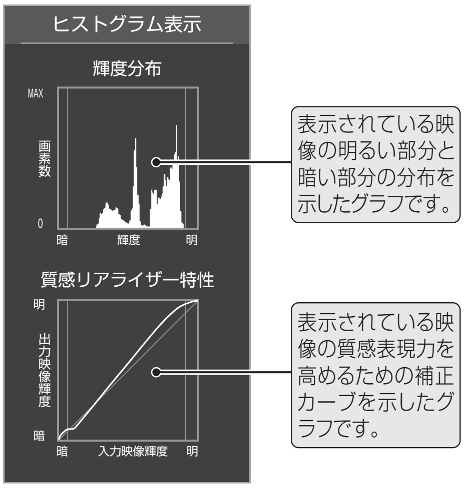
● 映像のヒストグラム（明るさの分布）を見ることができます。

1 クイック または 設定メニュー を押す

2 で「映像設定」を選び、決定 を押す

3 で「ヒストグラム表示」を選び、決定 を押す

● 映像のヒストグラムが表示されます。



4 表示を消すには、終了 を押す

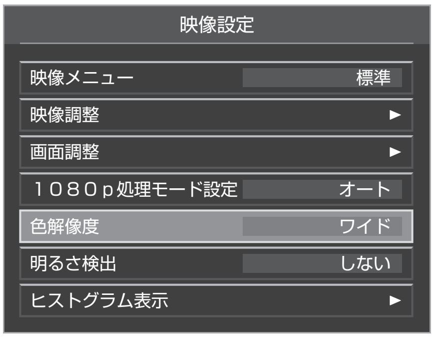
色解像度の設定

● 色の周波数帯域を広げ、色をきめ細かく再現することができます。
● 外部入力を選択した場合に設定できます。

1 クイック または 設定メニュー を押す

2 で「映像設定」を選び、決定 を押す

3 で「色解像度」を選び、決定 を押す



4 で「ワイド」または「スタンダード」を選び、決定 を押す

- ワイド……………… 色の周波数帯域を広げて、きめ細かな色を再現します。
- スタンダード …… 色の周波数帯域を抑えて、垂直方向の色抜けを目立たなくします。DVD再生時に色抜けが目立つ場合に、スタンダードに設定してください。

5 終わったら、終了 を押す

その他の映像調整・設定をする つづき

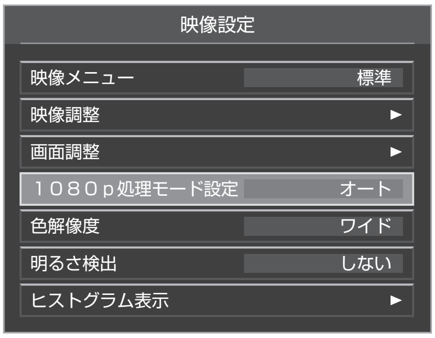
1080p処理モードの設定

- 映像をより高画質で再現するために、接続した機器から入力された映像に補正を加えます。
- HDMI1～5入力で1080p信号が入力された場合に設定できます。

1 クイック または 設定メニュー を押す

2 で「映像設定」を選び、決定 を押す

3 で「1080p処理モード設定」を選び、決定 を押す



4 で「オート」、「DVDファイン」、「ピュアダイレクト」から選び、決定 を押す

- **オート**……………… 映像の内容（周波数帯域）に応じて、高画質になるように自動的に補正されます。
- **DVDファイン**…… SD画質の映像を機器側で1080pに解像度変換した映像が、より高画質になるように補正されます。
- **ピュアダイレクト**… 特別な処理がされずに、そのままの映像が映ります。ブルーレイディスクの再生などに適しています。

5 終わったら、終了 を押す

お好みの音声を選ぶ

● お好みの音声は、入力端子ごとに記憶させることができます。

1 [クイック] または [設定メニュー] を押す

2 で「音声設定」を選び、[決定] を押す

3 で「音声メニュー」を選び、[決定] を押す



4 でお好みの音声メニューを選び、[決定] を押す

5 終わったら、[終了] を押す

音声メニュー	内　容
おまかせ	放送番組のジャンルに合わせて本機が音質を自動調整します。また、CMやシーン（音楽）を本機が検出して、音量、音質、サラウンドを自動調整します。
ダイナミック	音楽やドラマなどを楽しむ場合に適した設定です。（イコライザー、サラウンド、低音強調が調整されます）
標準	ニュースや情報番組などを楽しむ場合に適した設定です。（イコライザー、サラウンド、低音強調が調整されます）
映画	映画を鑑賞する場合に適した設定です。（イコライザー、サラウンド、低音強調が調整されます）
メモリー	お好みに調整した音声設定で楽しむ場合に選びます。

● 「おまかせ」、「メモリー」を選んでいるときにお好みの調整をすると、それぞれのメニューに調整の結果を記憶させることができます。
● 「おまかせ」は、地上デジタル放送、BS/110度CSデジタル放送を視聴しているとき、および内蔵ハードディスク、USBハードディスクに録画した番組を視聴しているときに選べます。地上アナログ放送や、HDMI入力端子およびビデオ入力端子に接続した機器の映像を見ているときは、選べません。

お知らせ
● おまかせ音声機能のCMおよびシーン（音楽）検出ならびに検出結果に基づく音質の調整は、当社が独自に開発した技術を利用しています。番組の制作者または提供者の指定に基づくものではありません。

お好みの音声に調整する

1 [クイック]または[設定メニュー]を押す

2 [▲▼]で「音声設定」を選び、[決定]を押す

3 [▲▼]で「音声調整」を選び、[決定]を押す

音声設定	
音声メニュー	標準
音声調整	▶
バランス	中央
視聴距離	2．5m
ドルビーボリューム	オフ
ドルビーＤＲＣ	－－
光デジタル音声出力	ＰＣＭ
ヘッドホーンモード	主画面モード
センタースピーカーモード	オフ

● 「音声メニュー」が「おまかせ」に設定されている場合は、「お好み調整」を選びます。

音声設定	
音声メニュー	おまかせ
お好み調整	▶
バランス	中央
視聴距離	2．5m
ドルビーボリューム	オフ
ドルビーＤＲＣ	－－
光デジタル音声出力	ＰＣＭ
ヘッドホーンモード	主画面モード
センタースピーカーモード	オフ

4 必要な項目を選んで、以降の手順で調整する

音声調整	
イコライザー	▶
サラウンド	ライブサラウンド
低音強調	▶
初期設定に戻す	▶

お好み調整	
イコライザー	▶
サラウンド	おまかせ
低音強調	おまかせ
ＣＭ検出補正	オン
初期設定に戻す	▶

5 終わったら、[終了]を押す

イコライザー

● イコライザーを使うと、より詳細に音質の調整をすることができます。

1 「音声調整（お好み調整）」画面で、[▲▼]で「イコライザー」を選んで[決定]を押す

2 調整する音域を[◀▶]で選び、[▲▼]でレベルを変える

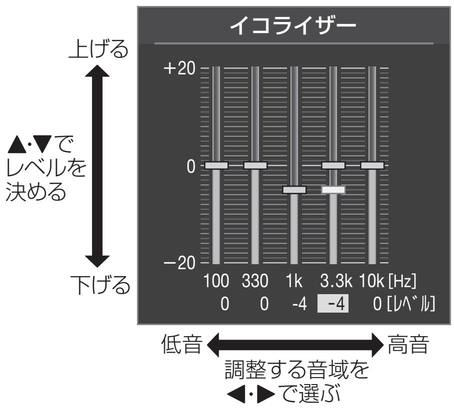
● いくつもの音域を調整する場合は、この操作を繰り返します。

● 調整前の音に戻すには、[赤]を押します。

調整例①…… 人の声がこもって聞き取りにくい場合は、330Hzのレベルを上げます。

調整例②…… バラエティ番組などのにぎやかな感じを抑えたい場合は、3.3kHzと1kHzのレベルを下げます。

音声メニューが「おまかせ」以外の場合（調整例②）



※ D5映像入力端子とHDMI入力端子からの信号の高音と低音は、他の入力信号や放送とは別に調整できます。

サラウンド

● 本機のスピーカーだけでステレオ音声の音に広がりを持たせます。
※ 音声多重放送を視聴しているときに、「主：副」を選んでいる場合は、効果が得られません。

1 「音声調整(お好み調整)」画面で、[上下]で「サラウンド」を選んで[決定]を押す

2 [上下]でお好みの設定を選び、[決定]を押す

● 「音声メニュー」によって設定できる項目が異なります。

音声メニュー	設　定
「おまかせ」	「おまかせ」、「オフ」
「おまかせ」以外	「ライブサラウンド」、「シネマサラウンド」、「オフ」

- **おまかせ**……………………サラウンドのモードが自動的に切り換わります。
- **ライブサラウンド**……ステレオ放送の視聴に適しています。音に広がりが出ます。
- **シネマサラウンド**……ステレオ放送や、接続機器からのドルビーサラウンド音声に適したモードです。左右への広がりに合わせて、奥行きも加わります。
- **オフ**…………………………サラウンド機能は働きません。

低音強調

● 低音域の強さを細かく調整します。

1 「音声調整(お好み調整)」画面で、[上下]で「低音強調」を選んで[決定]を押す

2 [上下]で調整項目(「低音強調周波数」または「低音強調レベル」)を選び、[決定]を押す

● 「お好み調整」の場合は、この選択はありません。
● 「低音強調周波数」を設定する場合は、先に「低音強調レベル」を「オフ」以外に設定してください。

3 [上下]でお好みの設定を選び、[決定]を押す

音声メニュー	調整項目	調整レベル
「おまかせ」	—	「おまかせ」「オフ」
「おまかせ」以外	低音強調周波数	「150Hz」「120Hz」「90Hz」
	低音強調レベル	「強」「中」「弱」「オフ」

CM検出補正

● 番組中のCMが検出できた場合に、「おまかせ」の効果を抑えて聴きやすくします。
※ 「音声メニュー」が「おまかせ」に設定されている場合に設定できます。

1 「お好み調整」画面で、[上下]で「CM検出補正」を選んで[決定]を押す

2 [上下]で「オン」または「オフ」を選び、[決定]を押す

- **オン**……CM検出補正機能が働きます。
- **オフ**……CM検出補正機能は働きません。

お買い上げ時の設定に戻すとき

● 「音声調整(お好み調整)」をお買い上げ時の設定に戻します。

1 「音声調整(お好み調整)」画面で、[上下]で「初期設定に戻す」を選んで[決定]を押す

2 [左右]で「はい」を選び、[決定]を押す

その他の音声調整・設定をする

音量バランス

● 左右のスピーカーの音量バランスを調整します。

1 クイック または 設定メニュー を押す

2 ▲▼ で「音声設定」を選び、決定 を押す

3 ▲▼ で「バランス」を選び、決定 を押す

4 ◀▶ でお好みのバランスに調整し、決定 を押す

5 終わったら、終了 を押す

視聴距離

● サラウンド効果をより高めるために、およその視聴距離（スピーカーの位置から視聴する位置までの距離）を設定します。

1 クイック または 設定メニュー を押す

2 ▲▼ で「音声設定」を選び、決定 を押す

3 ▲▼ で「視聴距離」を選び、決定 を押す

4 視聴時の距離に近い値を ◀▶ で選び、決定 を押す

● 「1.5m」、「2m」、「2.5m」、「3.5m」、「5m」の中から選択できます。

5 終わったら、終了 を押す

ドルビー DRC

● コンテンツなどの違いで生じる音量差を減らして聞きやすくなるように、音声レベルが自動的に補正されます。

● ドルビーデジタルで記録されたコンテンツなどを視聴する場合に使用できます。（HDMI入力端子やLAN端子に接続した機器からのコンテンツ）

※ 放送番組を視聴しているときは、効果は得られません。

※「ドルビーボリューム」を「オフ」以外に設定すると、「ドルビー DRC」は、自動的に「オフ」に切り換わります。

※ HDMI入力端子に接続した機器からのコンテンツを視聴するときは、ドルビーデジタルの音声信号が出力されるよう接続機器側で設定してください。

1 クイック または 設定メニュー を押す

2 ▲▼ で「音声設定」を選び、決定 を押す

3 ▲▼ で「ドルビー DRC」を選び、決定 を押す

4 ▲▼ で「オン」または「オフ」を選び、決定 を押す

- **オン**……ドルビー DRCの機能が働きます。
- **オフ**……ドルビー DRCの機能は働きません。

5 終わったら、終了 を押す

ドルビーボリューム

● 番組からCMに切り換わったときの音量差や、映像ソフト再生時の音量差が自動で調整されます。小さな音量での視聴時でも聴きやすい音声で楽しむことができます。

※「ドルビー DRC」を「オン」にすると、「ドルビーボリューム」は、自動的に「オフ」に切り換わります。

1 クイック または 設定メニュー を押す

2 ▲▼ で「音声設定」を選び、決定 を押す

3 ▲▼ で「ドルビーボリューム」を選び、決定 を押す

4 ▲▼ で「強」、「弱」、「オフ」のどれかを選び、決定 を押す

5 終わったら、終了 を押す

デジタル放送の録画・予約について

● この章での「録画」や「録画予約」は、タイムシフトマシン録画機能での設定や録画以外のものをさします。

使用できる録画機器と録画できる放送など

録画機器	説　明
内蔵ハードディスク	● 本機に内蔵されているハードディスクに、本機のアンテナ入力端子から受信したデジタル放送を録画することができます。 ※ デジタル放送の場合でも、ラジオ放送や独立データ放送は録画できません。（「今すぐニュース」で録画した場合も同様です） ※ 短い時間（1分程度）の録画をした場合は、保存されないことがあります。 ※ 地上アナログ放送、 CATV放送、ブロードバンドサービス、外部入力端子などに接続した機器の映像・音声などは、本機の録画・予約機能で録画することはできません。 ● 通常録画用のハードディスク「内蔵1」、「内蔵2」に録画することができます。 「地デジ機能設定」の「ハードディスク設定」（準備編 61）で、タイムシフトマシン録画用ハードディスクの用途を「通常録画」に設定している場合は、「内蔵3」、「内蔵4」にも録画することができます。
USBハードディスク	● USB端子（録画専用）に接続したUSBハードディスクに、本機のアンテナ入力端子から受信したデジタル放送を録画することができます。 ※ 録画できない内容は内蔵ハードディスクの場合と同じです。
レグザリンク対応の 東芝レコーダー	● レグザリンク対応（HDMI連動機能対応）の東芝レコーダーで受信したデジタル放送（テレビ放送のみ）を録画することができます。 ● HDMI連動機能を利用して本機から録画・予約の操作をします。 ※ 録画途中の停止や、予約の確認・取消しは本機からはできません。機器側で確認や操作をする必要があります。 ※ 「HDMI連動設定」（準備編 52）の「HDMI連動機能」を「使用する」に設定しておく必要があります。（お買い上げ時の設定です） ※ レグザリンク対応の東芝レコーダー以外では、HDMI連動機能を利用した録画･予約はできません。

接続・設定と録画前の準備

録画機器	接続・設定	録画前の準備
内蔵ハードディスク	準備編 63	● 残量が少なくなっている場合は、事前に不要な番組を削除しておけば、今すぐ録画をしたいときに便利です。 ハードディスクの残量（録画可能時間）は、録画・予約の際に操作画面で確認できますが、事前に確認することもできます。（「録画番組を見る」 64 の手順 ***1***〜***3*** の操作で録画リストを表示させ、クイックメニューから「ハードディスク残量表示」を選択します） ● USBハードディスクの場合は、電源を入れておきます。
USBハードディスク	準備編 53	
レグザリンク対応の 東芝レコーダー	準備編 41	● ハードディスクの残量と番組の記録数を確認し、残量などが不足している場合は不要な番組を削除しておきます。 ● 録画先はハードディスクのみです。DVDに直接録画はできません。

※ **USBハードディスクは本機に登録してからでないと録画できません。**
録画や録画予約の操作をしたときに、接続した機器が選択できないときは、準備編で上記のページを参照し、「ハードディスク設定」の操作で登録してください。
※ ハードディスクによっては、本機で使用できない場合があります。本機で動作確認済のハードディスクについては、準備編の 135 をご覧ください。

録画・予約の種類

● 視聴中の番組を録画する 53
● 番組表で番組を指定して録画・予約する 55
● 日時を指定して録画・予約する 56
● 連続ドラマが毎回録画されるように予約する（連ドラ予約） 57
● Eメールを利用して、外出先から録画予約をする 59

デジタル放送の録画・予約について つづき

内蔵、USBハードディスクの自動削除機能について

● お買い上げ時には、「内蔵ハードディスクの設定」（準備編 63 ）、「USBハードディスク設定」（準備編 54 ）の「自動削除設定」が「する」に設定されています。「する」に設定されている場合は、ハードディスクの残量が足りないときに、保護されていない古い録画番組が自動的に削除されます。

※ 保護をした録画番組が多くなると、自動削除機能が働かなくなる場合があり、録画できる時間が短くなります。

2番組同時録画中の放送番組視聴について

● 2番組同時録画中に視聴できる放送は下表のようになります。

録画中の放送＼視聴できる放送	地デジ	BS/110度CS	地アナ/外部入力
地デジ＋地デジ	○	○	○
地デジ＋BS/110度CS	○	○	○
BS/110度CS＋BS/110度CS	○	△	○

○ 受信できる任意のチャンネルを視聴できます。　△ 録画中のチャンネルだけ視聴できます。

レグザリンク対応の東芝レコーダーでの録画・予約について

● 録画機器の状態によっては録画設定ができなかったり、録画設定に時間がかかったりすることがあります。
● 接続機器側の録画設定が終わるまで、次の録画や録画予約をすることはできません。
● 録画設定中のメッセージが表示されているときに 終了 を押すと、メッセージ画面を消すことができます。その場合、録画設定結果のメッセージは表示されません。

録画番組の視聴方法について

録画機器	視聴のしかた
内蔵ハードディスク	「録画番組を見る」 64 の操作をします。
USBハードディスク	「録画番組を見る」 64 の操作をします。
レグザリンク対応の東芝レコーダー	「ビデオ・DVDなどを見る」 26 の操作をします。

録画番組の削除方法について

録画機器	削除のしかた
内蔵ハードディスク	「録画番組を見る」 64 の手順 ***1***～***3***の操作で録画リストを表示させ、「録画番組を削除する」 67 ～ 68 の操作をします。
USBハードディスク	「録画番組を見る」 64 の手順 ***1***～***3***の操作で録画リストを表示させ、「録画番組を削除する」 67 ～ 68 の操作をします。
レグザリンク対応の東芝レコーダー	録画機器で削除の操作をします。

お願い

● デジタル放送の録画予約をしてから録画が始まるまでの間は、電源プラグを抜いたりしないでください。正しく録画されないことがあります。（電源を「待機」にすることはできます）

お知らせ

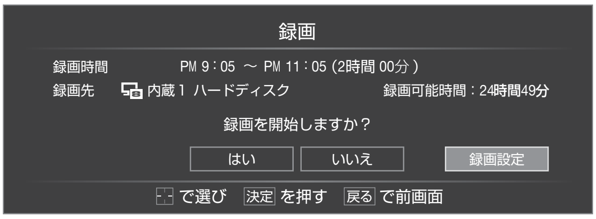
● 予約できる番組数は128番組までです。
● 予約録画実行中に停電が発生したり、電源プラグを抜いたりすると、録画は中止されます。（ハードディスクに録画していた場合は、途中まで録画した番組は残りません）
● 予約録画実行時に自動削除機能によって削除される番組が多い場合は、番組の冒頭部分が録画されないことがあります。
● 予約録画開始前に、再生が自動的に停止することがあります。

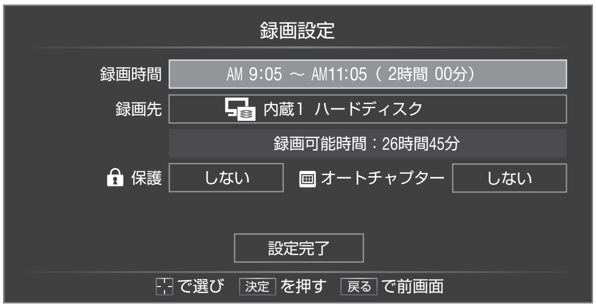
見ている番組を録画する

● 今見ているデジタル放送番組を簡単に録画することができます。
※ 録画予約などですでに2番組を同時に録画しているときには、この操作はできません。

1 デジタル放送を見ているときに［●録画］を押す

2 録画設定を変更する場合は、で「録画設定」を選んで［決定］を押す





録画時間を変更する場合

● 設定できる時間は、最大23時間59分です。
● 「ダイレクト録画時間」(準備編 64)で、あらかじめ録画開始からの録画終了時間を設定することができます。
お買い上げ時は、録画終了時刻が2時間後に設定されています。

❶ で「録画時間」を選び、［決定］を押す
❷ で「時」、「分」を選び、で終了時刻を設定する
❸ で「設定完了」を選び、［決定］を押す

録画先の機器を変更する場合

❶ で「録画先」を選び、［決定］を押す
❷ で録画先にする機器を選び、［決定］を押す
❸ で「設定完了」を選び、［決定］を押す

録画先の機器	表示される名称
内蔵ハードディスク	「内蔵１　ハードディスク」
USBハードディスク	「USB1：接続した機器の登録名」など
レグザリンク対応の東芝レコーダー	「HDMI1：接続した機器の形名」など

その他の録画設定を変更する場合

● 「録画設定を変更するとき」 58 をご覧ください。

3 で「はい」を選び、［決定］を押す

● レグザリンク対応の東芝レコーダーの場合は、録画設定の結果メッセージが表示されるまでしばらくお待ちください。

見ている番組を録画する つづき

録画を中止するとき

● 録画を途中でやめるときは、以下の操作をします。録画予約での録画中の場合も同様です。
● ハードディスクの残量がなくなった場合は録画が自動的に停止します。

1 **録画中に［終了］または［■］を押す**

● 2番組同時録画をしている場合は、中止する録画番組を選択する画面が表示されます。録画を中止する番組を［↑↓］で選んで、［決定］を押してください。

2 **「録画中止」の画面で、［←→］で「はい」を選んで［決定］を押す**

● レグザリンク対応の東芝レコーダーに録画している場合は、本機の操作だけでは録画が止まりません。機器側でも録画中止の操作をしてください。

ちょっとタイム再生

● テレビを見ているときに不意の来客があったり、電話がかかってきたりしてテレビの前から一時的に離れなければならないときなどに便利です。
※ すでに2番組を同時に録画しているときには、この操作はできません。

1 **テレビの前から離れるときに［●録画］を押す**

2 **［←→］で「はい」を選び、［決定］を押す**

● 録画が始まります。
● 時間に余裕があるときは、必要に応じて録画先の機器や録画時間などの確認・設定をしてください。

3 **テレビの前に戻ったら、［ちょっとタイム再生 ▶/可変再生］を押す**

● 録画を始めたところから番組再生が始まります。
● 再生中に早送りや、可変再生などができます。65

4 **録画を停止させるときは、［終了］または［■］を押す**

● 早送り再生の操作をするなどで放送中の場面に追いついた場合は、録画を停止させて放送画面のほうを見ることもできます。
● 録画を停止させなかった場合は、「ダイレクト録画時間」（準備編64）で設定した時間だけ録画が続きます。（手順**2**で録画時間を設定した場合は、その時間だけ録画が続きます）
● 録画した番組をあとで見るには、「録画した番組を見る」64の操作をします。

番組を指定して録画・予約する

1 番組表 を押す

2 録画する番組を ✛ で選び、決定 を押す

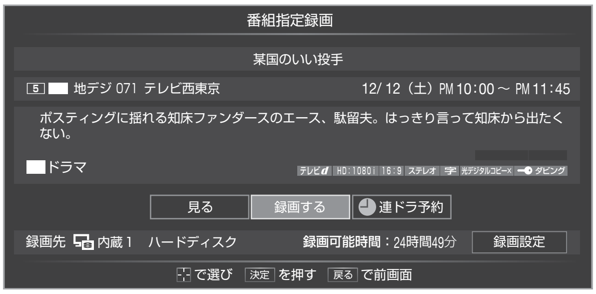
3 録画設定を変更する場合は、✛ で「録画設定」を選び、決定 を押す

● 変更のしかたは、「録画設定を変更するとき」58をご覧ください。

4 以下の操作で録画・予約をする

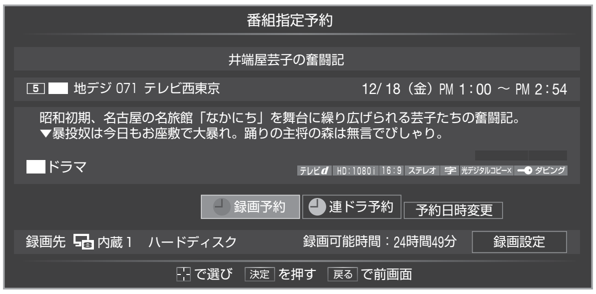
■ 現在放送中の番組を選んだ場合

❶ ✛ で「録画する」を選び、決定 を押す



■ これから放送される番組を選んだ場合

❶ ✛ で「録画予約」、「連ドラ予約」のどちらかを選び、決定 を押す



- **録画予約**
  指定した番組の録画を予約します。
- **連ドラ予約**➡57をご覧ください。
  1回の予約で、同じ番組を毎回録画します。
  ※ 録画機器が内蔵、USBハードディスクの場合に表示されます。
- **毎予約**
  1回の予約で、同じ番組を毎回録画します。
  ※ 録画機器がレグザリンク対応の東芝レコーダーの場合に表示されます。

■ 予約する日時を変更する場合

❶ ✛ で「予約日時変更」を選び、決定 を押す
● メッセージが表示されます。

❷ ✛ で「はい」を選び、決定 を押す

❸ 次ページの「日時を指定して録画・予約をする」の手順*4*以降の操作をする

■ 「以下の予約と重なっています。」が表示された場合

● 時間帯が重複して録画できない予約をした場合、「重複予約確認/取り消し」画面が表示されます。

❶ 取り消す番組を ✛ で選び、決定 を押す
● 決定 を押すたびに☑と□が交互に切り換わります。
● ✓をつけた番組の予約が取り消されます。

❷ 赤 を押して、取消しを実行する

■ 「予約数がいっぱいです。」が表示された場合

❶ ✛ で「はい」を選び、決定 を押す
● 予約をやめる場合は、「いいえ」を選びます。

❷ 予約を取り消す番組を ✛ で選び、決定 を押す

❸ ✛ で「はい」を選び、決定 を押す

お知らせ

● 地上デジタル放送で放送局の変更があった場合、予約どおりに動作しないことがあります。
● 複数の番組が連続して予約されている場合、番組の最後の部分が録画されません。
● 予約をした時間帯は番組表に赤色の帯で表示されます。16（東芝レコーダーの予約は表示されません）
● 予約の確認や取消しについては、85をご覧ください。

日時を指定して録画・予約する

1 [レグザリンク]を押す

● レグザリンクのメニューが表示されます。

2 で「予約を確認する」を選び、[決定]を押す

● 予約リストが表示されます。

3 [青]を押す

● 日時指定予約画面が表示されます。

4 録画予約の日時を設定する



❶ 設定する項目をで選び、で日時を設定する

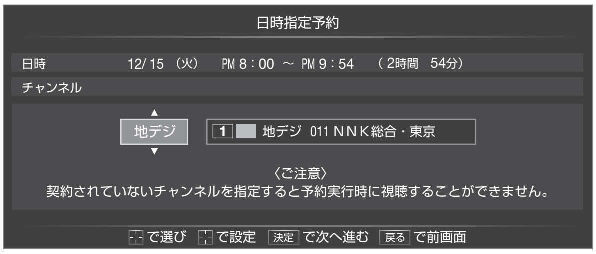
● 6週間先まで指定できます。

● 特定の日のほかに、「毎日」、「毎週(月)」～「毎週(日)」、「月～木」、「月～金」、「月～土」などの繰返し録画も選べます。

● 設定できる時間は最大23時間59分です。

❷ 設定が終わったら、[決定]を押す

5 録画するチャンネルを設定する



❶ 設定する項目をで選び、で内容を選ぶ

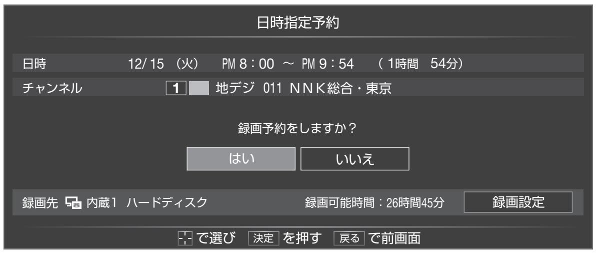
- 放送の種類………地デジ／BS／CS
- チャンネル………指定された放送の該当するチャンネル

❷ 設定が終わったら、[決定]を押す

6 録画設定を変更する場合は、で「録画設定」を選び、[決定]を押す

● 変更のしかたは、「録画設定を変更するとき」[58]をご覧ください。

7 で「はい」を選び、[決定]を押す



■ メッセージが表示された場合

● 「以下の予約と重なっています。」、「予約数がいっぱいです。」のメッセージが表示された場合の操作については、前ページをご覧ください。

お知らせ
● 予約の確認や取消しについては、[85]をご覧ください。

連ドラ予約をする

● 連続ドラマなどの番組を、最終回まで毎回自動的に録画されるように予約することができます。
※ 録画機器が内蔵、USBハードディスクの場合に連ドラ予約ができます。

番組表で連ドラ予約をする場合

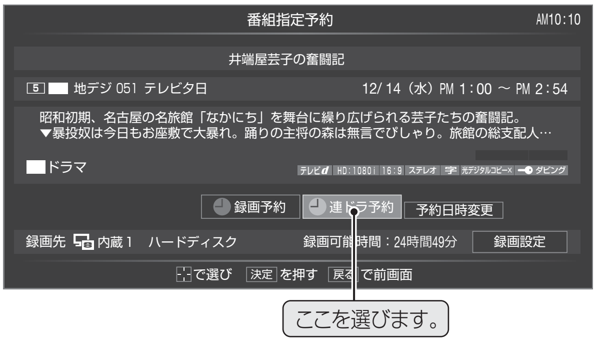
1 [番組表] を押す

2 連ドラ予約をする番組を で選び、[決定] を押す

3 番組の録画先の機器を内蔵、USBハードディスクのどちらかに設定する

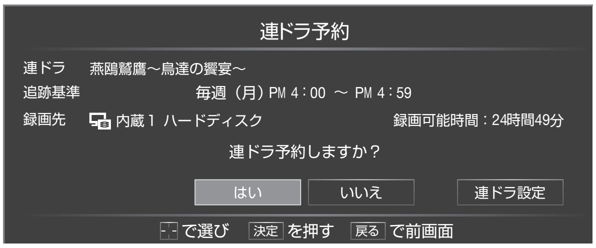
● 設定のしかたは、「録画設定を変更するとき」 58 をご覧ください。

4 で「連ドラ予約」を選び、[決定] を押す



5 「連ドラ予約」画面で内容を確認し、 で「はい」を選んで [決定] を押す

● 録画予約する曜日などが正しく表示されているか確認してください。



■「連ドラ設定」を変更する場合

❶ で「連ドラ設定」を選び、[決定] を押す

❷ で設定を変更する項目を選び、[決定] を押す

● 「録画設定を変更するとき」の表を参照してください。

❸ で「設定完了」を選び、[決定] を押す

視聴中の番組を連ドラ予約する場合

1 [クイック] を押す

2 で「連ドラ予約」を選び、[決定] を押す

3 左記の手順 ***5*** の操作をする

お知らせ

● 放送中の番組を選択した場合は、次回の放送からの予約となります。
● 電源を「入」にしてからしばらくの間は連ドラ予約ができません。
● 連ドラ予約後に番組情報が取得できなくなった場合は、追跡基準の日時で録画されます。
● 追跡キーワードに該当する番組が検出できなかった場合は録画されません。その場合、追跡基準の日時に録画をすることもできます。
● ナイターなどでの直前の放送時間延長にも対応されます。
● [映]などの囲い文字は、[映]などと表示されます。また、漢字の旧字など特殊な文字は表示されない場合があります。
● 予約の確認や取消しについては、85 をご覧ください。

■ **連ドラ予約の動作について**

● 連ドラ予約は、追跡基準（指定した番組の放送曜日と開始時刻）と、追跡キーワード（番組名など）をもとに、次回の番組を検索して自動的に録画予約をする機能です。
※ 追跡基準（開始時刻）の前後約２時間が検索されます。
● 追跡キーワードには、連ドラ予約をした番組の番組名、追跡基準には、番組の放送日時が自動で設定されます。
● 番組情報を取得できない場合は、正しく設定できないことがあります。
● 連ドラ予約で正しく録画予約をするために、手順 ***5*** で「追跡基準」の内容が正しく表示されているかを確認後、「連ドラ設定」で「追跡キーワード」の確認・編集をすることをおすすめします。

録画設定を変更するとき

1 録画・予約画面で、[上下]で「録画設定」を選んで[決定]を押す

2 設定する項目を[上下]で選び、[決定]を押す

3 [上下]で内容を選び、[決定]を押す

※ そのときの状況によって、設定や変更ができない項目があります。

4 [上下]で「設定完了」を選び、[決定]を押す

■ 内蔵ハードディスクまたはUSBハードディスクに録画する場合

項　目	設定する内容	内　容
録画機器	内蔵＊ハードディスク USB ＊ ハードディスク名 など	「内蔵＊ハードディスク」、「USB＊」のどれかを選びます。 ＊は番号です。
連ドラグループ名	——	予約リスト 18 と録画リスト 64 の「連ドラグループ別」タブに表示する連ドラグループ名を変更することができます。
追跡キーワード	——	「連ドラ予約」 57 をする番組の「キーワード」(番組名など)を設定します。番組名と関係のない「第○○話」、出演者名などは削除します。
追跡基準	——	「連ドラ予約」をする番組の放送日時を設定します。
上書き	する/しない	上書き録画(前回の録画を削除して録画する)の設定をします。 「連ドラ予約」を選んだときや、日時指定予約で、「毎日」、「毎週(月)」～「毎週(日)」、「月～木」、「月～金」、「月～土」などの繰返し録画にしたときに設定できます。
保護	する/しない	録画した番組の保護を設定します。
オートチャプター	使用する/使用しない	シーンの変わり目で自動的にチャプター(章)に分割する機能です。「使用する」、「使用しない」を設定します。
放送時間	連動する/連動しない	※1

■ レグザリンク対応の東芝レコーダーで録画する場合

項　目	設定する内容	内　容
録画機器	HDMI＊ 機器名など	録画先の機器を選びます。　＊は番号です。
画質モード	録画機器の現在設定内容/ 録画機器の設定1～5/ TS/SP/LP/MN1.4～MN9.2	音質モードがL-PCMのときは、SP/LP/MN8.2以上は選択できません。 「画質モード」の「現在設定内容」と「設定1～5」は、録画機器側で設定されている内容です。
音質モード	M1/M2/L-PCM	画質モードがSP/LP/MN8.2以上のときは、L-PCMは選択できません。 (画質モードが「録画機器の現在設定内容」、「録画機器の設定1～5」、「TS」のときは音質モードの設定はできません)
DVD 互換	切/入(主音声)/ 入(副音声)	DVD-Videoの作成を前提とする場合は、必ず「入(主音声)」または「入(副音声)」に設定します。「切」に設定した場合は、音声多重番組のままVRモードで録画されます。画質モードが「録画機器の現在設定内容」、「録画機器の設定1～5」、「TS」のときは選択できません。
放送時間	連動する/連動しない	※1

※1
- 放送局から番組遅延の情報が送信されると、最大3時間までの遅れに連動して録画をする機能です。(放送時間の繰上げには対応していません)
- 日時指定予約、連ドラ予約では設定できません。
- ほかの予約と時間帯の一部が重なった場合の優先順については 61 をご覧ください。

お知らせ
- 「オートチャプター」のシーン検出は、当社が独自に開発した技術を利用しています。番組の制作者または提供者の指定に基づくものではありません。

Eメールで録画予約をする

● 外出先などからEメールを使って、本機に録画予約をすることができます。
● 「Eメール録画予約設定」(準備編 65)、「ブロードバンドを利用する場合の接続･設定」(準備編 71)をしてください。

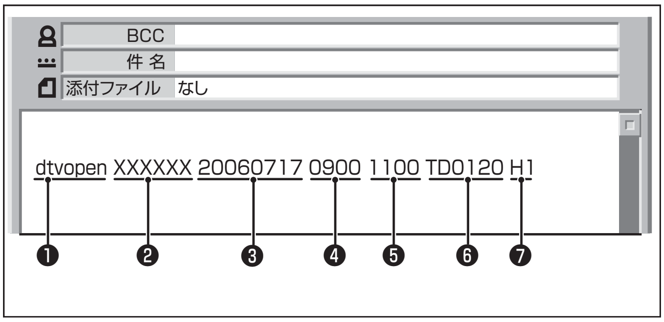
パソコンや携帯電話で予約する

● パソコン、携帯電話のどちらからでも録画予約できます。
※ 本機が対応しているのはテキスト形式のメールのみです。ほかの形式のメールには対応していません。
● 録画機器を指定することができます。

1 パソコンや携帯電話でメールを作成する

● メールの宛先は「Eメール録画予約設定」(準備編 65)で登録したメールアドレスです。
● 本機で使用できるのは、POP3を使用しているメールだけです。
● 件名は自由に入力できます。

例)メール作成



※ 以下の❶～❼はすべて半角文字で入力してください。
また、各項目の間には半角スペースを入れてください。

❶識別コード
● 「dtvopen」と入力します。(小文字)

❷パスワード
● 「Eメール録画予約設定」で登録した「メール予約パスワード」を入力します。

❸録画日
● 西暦(4ケタ)月日(4ケタ)を入力します。
(1ケタの月日の場合は10の位に0を入れます)

❹録画開始時刻
● 00～23(時)に続けて00～59(分)を入力します。

❺録画終了時刻
● 00～23(時)に続けて00～59(分)を入力します。

❻録画チャンネル
● 放送の種類を表す略号とチャンネル番号を次のように入力します。
① 放送の種類を表す略号を入力する

放送の種類	略号
地上デジタル放送	TD
BSデジタル放送	BS
110度CSデジタル放送	CS

② 略号に続けてチャンネル番号を入力する
■ 地上デジタル放送の場合
● 3ケタのチャンネル番号を入力します。
例：チャンネル番号：011の場合…TD011
※ 枝番を指定する場合は、3ケタのチャンネル番号と枝番を入力します。
(上の例で、枝番が3の場合…TD0113)
■ BSデジタル／ 110度CSデジタル放送の場合
● 3ケタのチャンネル番号を入力します。
例：BS103、CS001

❼録画先
● 録画先の機器の略号と番号を入力します。指定しない場合は、「Eメール録画予約設定」で登録した「録画機器」に録画されます。

録画先	略号と番号	説明
内蔵ハードディスク	H1、H2	タイムシフトマシン録画用のハードディスクを通常録画用に設定している場合は、H3、H4も指定できます。
USBハードディスク	U1～U8	USBハードディスク登録画面に表示される範囲で、接続中のもの。

お知らせ
● 「Eメール録画予約設定」(準備編 65)の「予約アドレス登録」で、メール録画予約に使用するパソコンや携帯電話のメールアドレスをすべて登録してください。
● 録画予約するために本機に送ったEメールを見ることはできません。

Eメールで録画予約をする つづき

「予約設定結果通知」を使用している場合

● 予約メールの送信後しばらくすると、メールが返信されます。「予約設定結果通知」の設定については、準備編の 66 をご覧ください。

■「予約を登録しました。」の返信メールの場合

● 以上で予約が完了です。

■ その他の返信メールの場合

● 以下の表をご覧ください。

返信メールの内容	対処のしかた・他
予約を登録できませんでした。メールの書式が正しくありません。メールの書式を確認してください。	前ページの「パソコンや携帯電話でメールを作成する」を確認してください。
予約を登録できませんでした。本体で登録できる日時を越えています。	予約を登録できるのは6週間先までです。
予約を登録できませんでした。指定されたチャンネルと録画設定では録画できません。	前ページの「パソコンや携帯電話でメールを作成する」を確認してください。
予約を登録できませんでした。指定された機器は録画機器ではありません。	録画機器を指定してください。
予約を登録できませんでした。本体側でエラーが発生しました。	停電や何らかの原因で本機の電源が切れた場合などが考えられます。

Eメール録画予約についてのお知らせ

● パソコン側で、自動的にメールサーバーからメールを受信し、サーバー側のメールを削除するように設定している場合、本機で予約メールを受信する前に消えることがあります。サーバーにコピーを残すなどの設定が必要です。
● メールソフトによっては、自動的に改行されてしまうことがあります。その場合は、予約内容が正しく認識されません。
● メールサーバー内に極端に多くのメールがあると、予約メールを受信できないことがあります。
● 録画予約ができるのは、予約メール1通につき1件です。
● 予約メールと同じ形式で始まるメールがあったとき、予約メールと判断して、パソコン側ではなく本機側で受信してしまうことがあります。
● 予約時に録画機器の状態(接続、テープの挿入、ハードディスク残量)の確認は行われません。
● 録画予約で指定した機器の電源が切れている場合や、機器を認識できない場合は、録画はできません。
● メールのウイルス対策はされていません。
● 一度に受信可能な予約メールは15件です。残った予約メールは次回の予約メール受信時に処理されます。
● 予約メールは、「POP3アクセス時刻」(準備編 65)で指定した時刻に受信されます。
● メールの作成方法などが正しいか確認するために、事前に正しく予約・録画できることをお試しください。

テレビサーフモバイルサービスで予約する

※ 携帯電話だけでできます。
● テレビサーフモバイルサービスを利用することで、簡単な操作で携帯電話からメールでの録画予約ができます。
● 録画先は「Eメール録画予約設定」で設定した機器になります。

準備

❶ **携帯電話で「t@tvsurf.jp」宛にタイトルと本文なしのメールを送る**(メールを送信できない場合は、本文に文字を入れてください)

※ iモード、EZweb、Yahoo!ケータイに対応しています。携帯電話の機種や契約内容によっては使えない場合があります。
※ QRコード(下図)からもメールの宛先を入手することができます。

※ QRコードは、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

❷ **会員登録ページのURLが記載されたメールが携帯電話に送られてきたら、メールの説明に従って登録をする**

❸ **録画予約用のURLが記載されたメールが携帯電話に送られてきたら、そのURLをブックマークに登録する**(携帯電話の「お気に入り」に登録する)

メール録画予約のしかた

❶ **録画予約用のURL(上記の❸を参照)にアクセスする**

はじめにトップページの「☆利用規約」、「☆退会」、「#.ヘルプ」、「ご注意」、「対象機種」のリンクをクリックして、それぞれの内容をお読みください。

❷ **「☆メール予約」をクリックし、画面の手順に従って録画予約をする**

● 録画予約できるのはBSデジタル、110度CSデジタル、地上デジタル放送だけです。
● 予約設定画面の「録画用メールアドレス」と「パスワード」は、「Eメール録画予約設定」で設定したものを入力します。

お知らせ

● インターネットサービスプロバイダーおよびインターネット回線業者との契約が別途必要です。
● ご利用には別途通信料が発生します。
● テレビサーフモバイルサービスについてのお問合せ先は、上記「準備」❷で送られるメールに記載されています。

予約に関するお知らせ

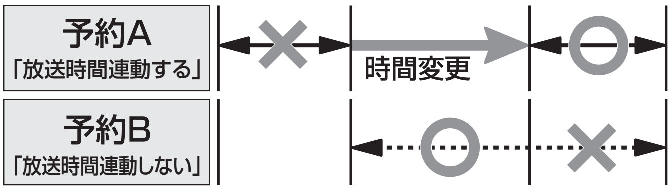
予約番組の優先順位について

● 予約した番組の放送時間が変更されて、他の予約番組と重なったときは、以下の優先順位で録画されます。

■「放送時間」を「連動する」に設定した予約番組と「連動しない」に設定した番組が重なった場合

● 「放送時間」を「連動する」に設定した番組が優先されます。

例 「放送時間」を「連動する」に設定していた予約Aが時間変更に対応したため、予約Aと重なった部分の予約Bは録画されません。

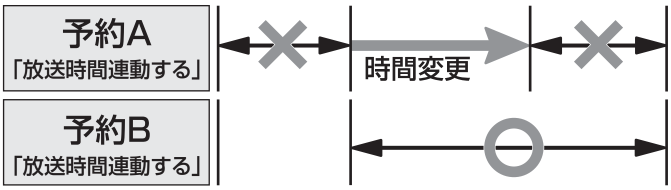


■「放送時間」を「連動する」に設定した複数の予約番組が重なった場合

❶ 開始時刻が変更された場合

● 開始時刻の早い予約が優先されます。

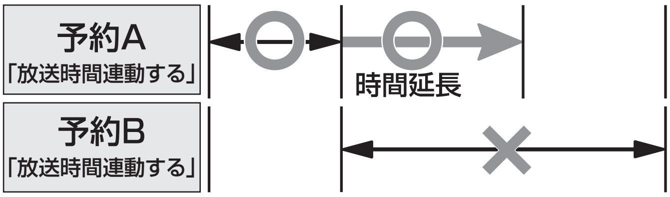
例 「放送時間」を「連動する」に設定していた予約Aの開始時刻が変更になったため、録画開始時刻の早い予約Bが優先されます。予約Aは取り消されます。



❷ 終了時刻が延長された場合

● 先に予約を実行した番組の終了時刻が優先されます。

例 「放送時間」を「連動する」に設定していた予約Aの終了時刻延長に対応したため、先に予約を実行した予約Aが優先されます。予約Bは取り消されます。



❸ 複数の予約番組の開始時刻が同じになった場合

■ レグザリンク対応の東芝レコーダーのとき

● 最初に予約設定した番組が優先されます。

● 2番目以降に設定した番組の予約は取り消されます。

■ 内蔵・USBハードディスクのとき

● 2番組同時録画ができます。

予約の動作について

● テレビを視聴中の予約の動作について説明します。

※ レグザリンク対応の東芝レコーダーに予約した場合は、予約終了の時点で本機の関与は終了し、以下の動作はしません。

予約設定後

● 録画予約があると、チューナー前面の「録画/ダビング」表示がオレンジ色に点灯します。

▼

予約した番組放送が始まるとき

● 予約した番組の放送開始時刻近くになると、画面にメッセージが表示されます。予約を中止する場合は、[終了]または[■]を押します。

※ ゲーム入力を選択中は、メッセージの表示はありません。また、予約中止の操作もできません。

● 2番組同時録画の予約をしていた場合は、チャンネルが切り換わることがあります。

● チューナー前面の「録画/ダビング」表示が赤色に点灯します。

● 内蔵ハードディスクに録画中はチューナー前面の「ハードディスク表示」が青色に点灯します。

▼

予約した番組の放送中

● 録画予約した番組の録画中に操作できないボタンを押すと、「＊＊＊を録画中です。終了を押すと録画を中止します。」または、「録画実行中は切り換えられません。」と表示されます。（ゲーム入力を選択中は、メッセージの表示はありません）

● 「今すぐニュース」の録画中に別の録画が始まると、「今すぐニュース」録画は中止されます。

● [●録画]を押して録画しているときに予約した録画が始まると、[●録画]で開始した録画は中止されることがあります。両方の録画の録画先が内蔵、USBハードディスクの場合で合わせて2番組のときは、2番組同時録画になります。

▼

予約した番組の放送終了時

● 本機を通常どおり使用できます。

● 録画予約した番組の録画が終了した場合は、チューナー前面の「録画／ダビング」表示が消えます。ほかにも録画予約がある場合は、「録画／ダビング予約」表示がオレンジ色に点灯します。

はじめに

レグザリンクとは

- 内蔵ハードディスクの録画番組や、本機に接続したUSBハードディスク、SDメモリーカードなどの録画番組や写真(画像)などを本機のリモコン操作で再生したり、録画番組をダビングしたりすることができます。
- 本機に接続したHDMI連動機能対応(レグザリンク対応)の録画機器や再生機器、パソコン、AVシステム機器などを本機のリモコンで操作できます。

ご注意
- **機器の再生時やダビング時などに、機器を取りはずしたり、接続を変えたり、電源を切ったりしないでください。機器の故障や、保存内容の消失・破損などの原因になることがあります。**

HDMI連動機能について

- 本機のHDMI連動機能では、HDMIで規格化されているHDMI CEC (Consumer Electronics Control)を利用し、機器間で連動した操作をすることができます。
- 本機と東芝製のレコーダー、パソコンなどHDMI連動機能対応(レグザリンク対応)機器をHDMIケーブルで接続することで利用できます。また、東芝推奨のAVシステム機器などでも利用することができ、それらの接続機器を本機のリモコンで操作することができます。
  ※ あらかじめ「HDMI連動設定」(準備編 52)が必要です。
  ※ 接続機器側の設定が必要です。詳しくは、接続機器の取扱説明書をご覧ください。
- 推奨機器以外の機器をHDMI接続した場合にレグザリンク対応機器と認識し、一部の連動操作ができることがありますが、その動作については保証の対象ではありません。
- 推奨機器であっても、機器によっては一部の連動操作ができない場合があります。
- HDMI連動機能対応(レグザリンク対応)機器の接続、設定を変更した場合は以下の操作をしてください。
  - 接続機器の電源をすべて「入」の状態にして、本機の電源を入れ直してください。
  - すべての接続機器の動作を確認してください。
  ※ 機器に割り振られる番号は接続形態によって変化する場合があります。

ワンタッチプレイについて

- レグザリンク対応機器(HDMI連動機能対応機器)を操作すると、機器に連動して本機の電源が「入」になり、操作した機器に合わせて入力が切り換わります。
  ※ あらかじめ「HDMI連動設定」が必要です。

システムスタンバイについて

- 本機のリモコンや、オフタイマー、省エネ設定の機能などで本機が「待機」になったときに、本機からのシステムスタンバイが働き、接続したHDMI連動機能対応(レグザリンク対応)機器も同時に電源が「待機」になります。接続機器側がシステムスタンバイに対応している場合、接続機器の電源が待機状態になると、本機の電源も待機状態になります。
  ※ あらかじめ「HDMI連動設定」が必要です。

HDMI連動機能対応(レグザリンク対応)機器について

■ AVシステム機器(AVアンプなど)について

- AVシステム機器の入力状態によっては、本機から音声が出ない場合があります。
- AVシステム連動操作中にAVシステム機器側の入力を切り換えると、実際の映像と画面右上の接続機器表示が一致しない場合があります。

■ オンキヨー製AVシステム機器をHDMI連動機能を利用して連動動作させる場合のお願い

対象機種：オンキヨー製　TX-SA605(N)、TX-SA605(S)、TX-SA705(N)、TX-SA805(N)、TX-NA905(N)、DTX-5.8、DTX-7.8、DTX-8.8、DTC-9.8

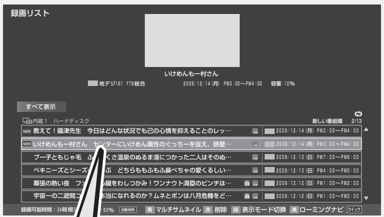
- AVシステム機器の電源プラグをコンセントに差す前に、本機の電源を「入」にしてください。この順番が逆になると、HDMI連動機能を使用したときにAVシステムが正しく動作しないことがあります。その場合は本機の電源を入れた状態で、AVシステム機器の電源切／入をしてください。
  ※ 停電のあとやブレーカーの操作などで本機とAVシステム機器の電源が同時にはいった場合にも、上記の操作が必要になることがあります。

レグザリンクのメニュー

● レグザリンク を押すとレグザリンクのメニューが表示されます。
以下は操作の概要です。ここに記載されていない内容などを含めて、詳細については各ページをご覧ください。

録画番組再生/ダビング

内蔵、USBハードディスクの録画番組を再生したり、ダビングしたりできます。

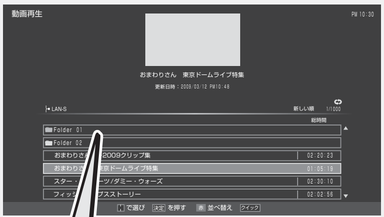


録画番組を選びます

▶録画番組を見る 64
▶録画番組をダビングする 71

動画再生

DLNA認定サーバー、DTCP-IP対応サーバーの動画コンテンツを視聴できます。

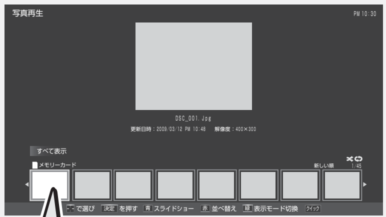


動画コンテンツを選びます

▶動画を見る 73

写真再生

DLNA認定サーバー、SDメモリーカードなどの写真（JPEG）が見られます。

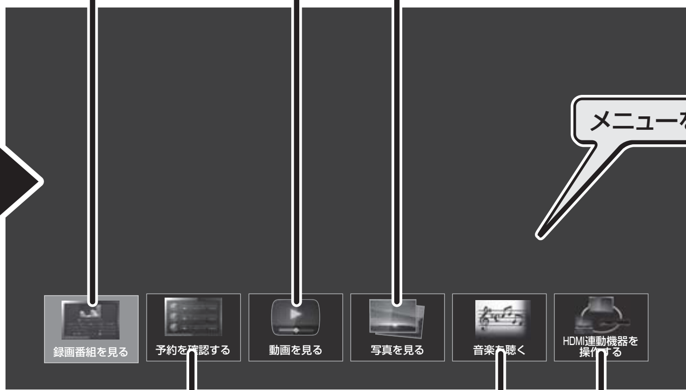


写真を選びます

▶写真を見る 77

スタート

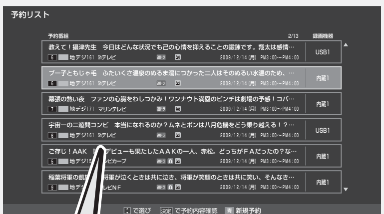




メニューを選びます

予約確認

予約の確認や削除ができます。
新規予約（日時指定予約）のメニューが呼び出せます。



予約番組を選びます

▶予約を確認する 85
▶日時を指定して録画･予約する 56

音楽再生

DLNA認定サーバーの音楽コンテンツを聴くことができます。

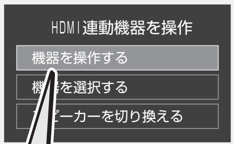


音楽コンテンツを選びます

▶音楽を聴く 82

HDMI連動機器操作

レグザリンク対応のレコーダーやパソコン、AVシステム機器などを本機のリモコンで操作できます。



メニューを選びます

▶HDMI連動機器を操作する 86

録画番組を見る

● 内蔵ハードディスクやUSBハードディスクに録画されている番組を見るには、以下の操作をします。

1 レグザリンク を押す

2 ←→ で「録画番組を見る」を選び、決定 を押す



3 再生機器を ←→ で選び、決定 を押す



● 録画リストが表示されます。

4 見たい番組を ↑↓ で選び、決定 を押す

● 選んだ番組の再生が始まります。
- 再生されるまでに時間がかかる場合があります。
- 以前、再生を途中で停止した番組を選んだ場合は、続きから再生されます（レジューム再生機能）。機器によっては番組の冒頭から再生される場合があります。

● 録画中の番組（●）を選んで再生することもできます（追っかけ再生機能）。予約番組の録画中であっても、録画が終了するまで待たずに再生することができます。

※ 2番組同時録画をしている場合には、録画中の再生ができないことがあります。

● 録画番組再生中のリモコン操作については、次ページをご覧ください。

● 最後まで再生し終わると、そのまま静止状態になります。

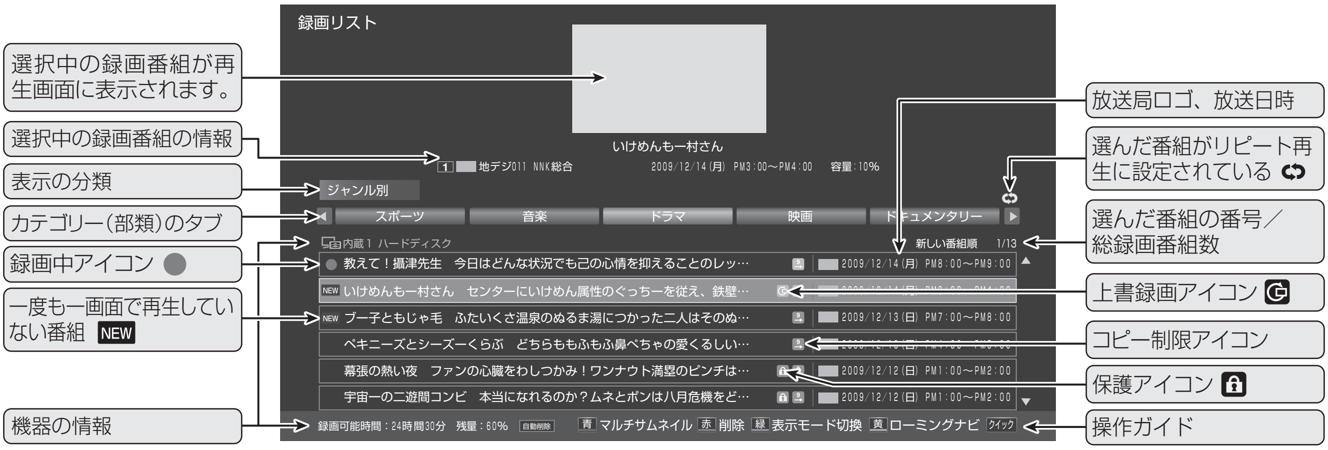
● 録画リストに戻る場合は、■ を押します。

● 再生機器を選択し直す場合は、録画リスト画面の表示中に クイック を押し、「機器選択」の操作をします。69

5 「録画番組を見る」を終了するときは、終了 を押す

● 放送画面などに戻ります。

内蔵、USBハードディスクの録画リスト（ジャンル別表示の例）



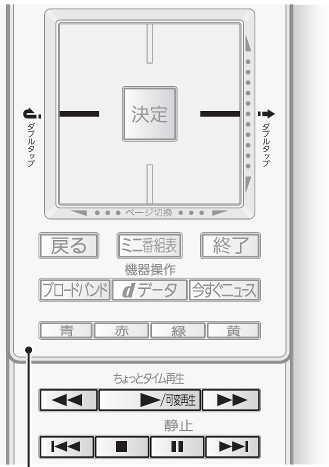
お知らせ

● 録画開始した直後の番組は、録画リストには表示されません。録画開始から数分後に録画リストに表示されます。
● 録画リストに表示できる最大数は、内蔵、USBハードディスクともに1000番組までです。これを超えた機器では正しく動作しないことがあります。USBハードディスクの場合、最大数は機器によって制限されることがありますので、各機器の取扱説明書でご確認ください。
● 地上デジタル放送のチャンネル番号などは、本機のチャンネル設定が変更された場合には、録画リストに正しく表示されないことがあります。
● 番組の表示時刻は実際の録画情報から算出しているため、ハードディスクの録画動作時間とは一致しない場合があります。
● 送信側の情報によっては、番組放送時間などが録画リストに正しく表示されない場合があります。
● 降雨対応放送中の番組を録画した場合、早送り再生や早戻し再生の映像は正しく表示できません。
● 録画中の番組を再生しているときに早送りなどで現在録画中の場面まで進むと、録画機器によっては再生を停止することがあります。
● 録画中の番組再生での早送り／早戻し再生などの特殊再生機能は、正しく動作しないことがあります。
● 録画番組再生でできるさまざまな操作について、65～69をご覧ください。

録画番組再生中の操作

再生操作

● リモコンで以下の再生操作ができます。



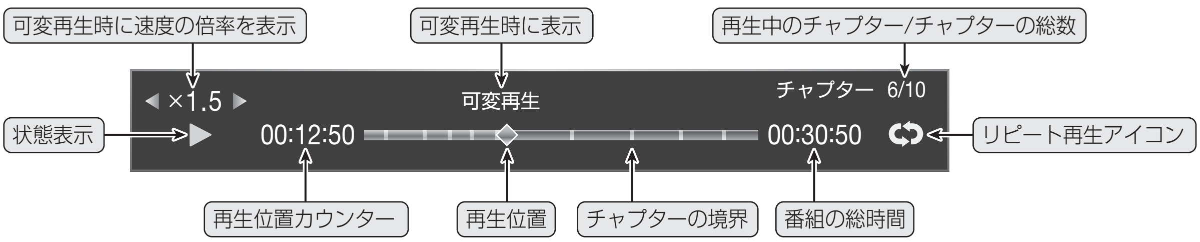
パネル1段スライド

ボタン	動　作
▶/可変再生	• 再生中に押すと音声付の可変再生モードになります。 　で再生の速さを変えることができます。（ ：遅く、 ：早く） • 通常の再生に戻すには、もう一度 ▶/可変再生 を押します。 • 放送番組視聴時に押すと、最後に見ていた録画番組が再生されます。※
II	再生中に押すと一時停止になります。一時停止中にもう一度押すと、再生が再開されます。 一時停止中に の操作で再生位置が変えられます。
■	再生を停止し、録画リスト画面に戻ります。
▶▶	早送り再生をします。（押すたびに速さが変わります）
◀◀	早戻し再生をします。（押すたびに速さが変わります）
ダブルタップ（右）	再生中または可変再生中にダブルタップ 9 をすると、30秒ほど先に進んで再生します。（ワンタッチスキップ） • 進む時間は、「ワンタッチスキップ設定」（準備編 64 ）で変更できます。
ダブルタップ（左）	再生中または可変再生中にダブルタップをすると、10秒ほど戻って再生します。（ワンタッチリプレイ） • 戻る時間は、「ワンタッチリプレイ設定」で変更できます。
▶▶I	次のチャプターにスキップします。 • チャプターのない番組では、ワンタッチスキップの動作になります。
I◀◀	再生中のチャプターの先頭に戻って再生します。 • チャプターの先頭から5秒以内に押した場合は、一つ前のチャプターの先頭にスキップします。 • チャプターのない番組では、ワンタッチリプレイの動作になります。

※ 放送番組視聴時に、▶/可変再生 で内蔵、USBハードディスクの録画済番組が再生されない場合は、再生する番組を録画リストで選び直してください。

タイムバー

● 画面表示 を押すとタイムバーが表示されます。



お知らせ
● 録画中の番組の再生時（追っかけ再生時）は、I◀◀、▶▶I でのチャプタースキップはできません。タイムバーにチャプターの境界は表示されません。

レグザリンクを使う
録画番組を見る

録画番組を見る つづき

録画リストの表示モードを切り換える

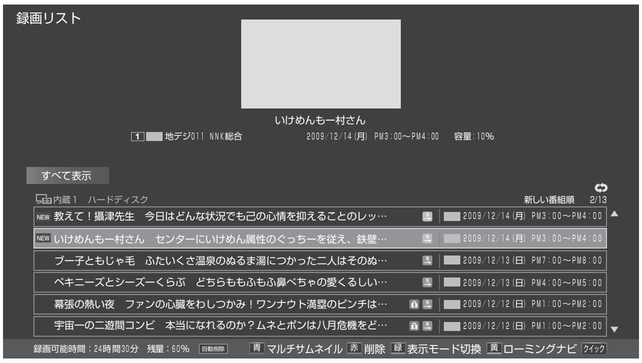
● 表示モードを、「すべて」から「曜日別」や「ジャンル別」、「連ドラグループ別」に切り換えることができます。

❶録画リスト画面で[緑]を押す

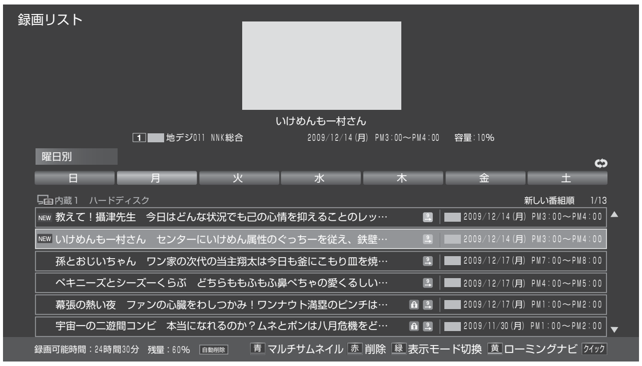
❷[上下]で分類を選び、[決定]を押す

- **すべて**……………………すべての録画番組が表示されます。
- **曜日別**……………………録画した曜日ごとに表示されます。
- **ジャンル別**……………ドラマや映画などのジャンルごとに表示されます（64ページの図参照）。番組情報がない場合は、「その他」に分類されます。
- **連ドラグループ別**…「連ドラ予約」57ページの予約ごとに表示されます。「連ドラ予約」で録画した番組がない場合は選べません。

【すべて表示】



【曜日別表示】



ローミングナビを起動する

● ローミングナビを起動して、録画番組を検索できます。

● 操作については、70ページをご覧ください。

❶録画リスト画面で[黄]を押す

マルチサムネイル表示で見たいシーンから再生する

● リスト表示からマルチサムネイル表示に切り換えて、再生場所を選ぶことができます。

※ 録画中の番組ではマルチサムネイル表示の機能は使用できません。

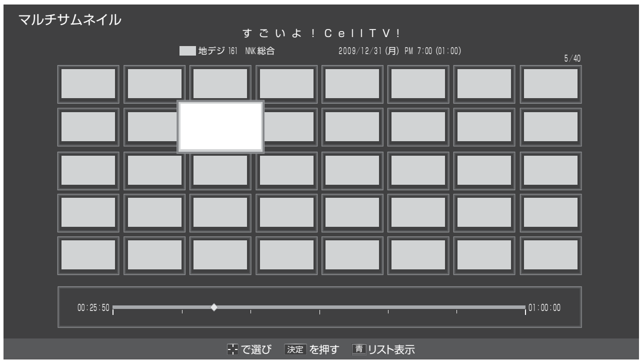
❶見たい番組を[上下]で選び、[青]を押す

● [青]を押すたびにリスト表示とマルチサムネイル表示に交互に切り換わります。

● マルチサムネイル表示では、選んだ番組を40分割した位置のそれぞれの先頭シーンの1コマが画面に並びます。

※ サムネイルの最小表示間隔は1分です。40分未満の番組や、録画を途中で中止した番組では分割数が40未満になります。

【マルチサムネイル表示】



❷見たいシーンを[上下左右]で選び、[決定]を押す

● 選んだシーンの先頭から再生が始まります。

※ マルチサムネイル表示はチャプター（章）に分割する機能ではありませんので、[⏮]や[⏭]でシーンごとにスキップすることはできません。

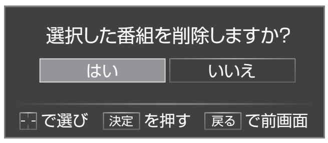
録画番組を削除する

■ 一つの番組を削除するとき

❶削除する番組を[上下]で選び、[赤]を押す

❷[上下]で「1件削除」を選び、[決定]を押す

❸確認画面で、[左右]で「はい」を選んで[決定]を押す



※ 削除中は操作しないでください。

❹「削除を完了しました。」と表示されたら、[決定]を押す

複数の番組を削除するとき

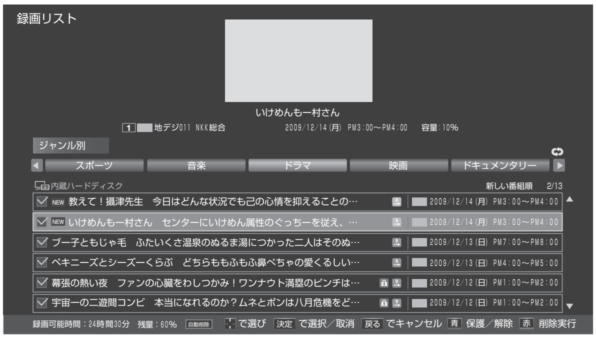
❶録画リスト画面で、[赤]を押す

❷▲▼で「複数削除」を選び、[決定]を押す

● 複数選択画面が表示されます。

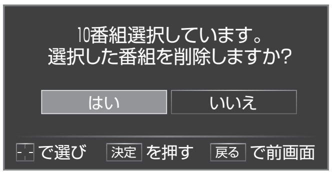
❸削除する番組を▲▼で選び、[決定]を押す

● [決定]を押すたびに、☑と☐が交互に切り換わります。削除する番組に ✔ をつけます。
● 保護を解除する場合は、保護されている番組を選び、[青]を押します。



❹すべて選んだら、[赤]を押す

❺確認画面で、◀▶で「はい」を選んで[決定]を押す



❻「削除を完了しました。」と表示されたら、[決定]を押す

グループ内の番組をすべて削除するとき

❶削除するグループが表示されるモードを、前ページの「表示モードを切り換える」の操作で選ぶ

● たとえば、ある連ドラグループの番組をまとめて削除する場合は、「連ドラグループ別」の表示にします。

❷削除するグループのタブを◀▶で選び、[赤]を押す



❸▲▼で「タブ内全削除」を選び、[決定]を押す

❹確認画面で、◀▶で「はい」を選んで[決定]を押す

※ 削除中は操作しないでください。

❺「削除を完了しました。」と表示されたら、[決定]を押す

番組の冒頭から再生する(頭出し)

❶再生する番組を▲▼で選び、[クイック]を押す

❷▲▼で「頭出し再生」を選び、[決定]を押す

番組を並べ替える

❶[クイック]を押す

❷▲▼で「並べ替え」を選び、[決定]を押す

❸▲▼で「新しい番組順」または「古い番組順」を選び、[決定]を押す

● 指定した順に番組が並べ替えられます。

録画番組を保護する

● 録画した番組の削除やダビングができないように設定します。
※ 録画中にこの操作はできません。

❶保護する番組を▲▼で選び、[クイック]を押す

❷▲▼で「編集・管理」を選び、[決定]を押す

❸▲▼で「保護/保護解除」を選び、[決定]を押す

● [決定]を繰り返し押すたびに「保護」と「保護解除」が交互に切り換わります。
● 保護された番組にはアイコン「🔒」がつき、削除やダビングはできなくなります。

リピート再生の設定をする

● リピート再生の設定ができます。

❶リピート再生する番組を▲▼で選び、[クイック]を押す

❷▲▼で「リピート」を選び、[決定]を押す

❸▲▼で設定項目を選び、[決定]を押す

- 1番組 ……… 一つの番組を繰り返して再生します。
- オフ ……… 通常の再生をします。

※「1番組」に設定した番組(リピート再生をする番組)は、再生時のタイムバーにリピート再生アイコン⟲が表示されます。65

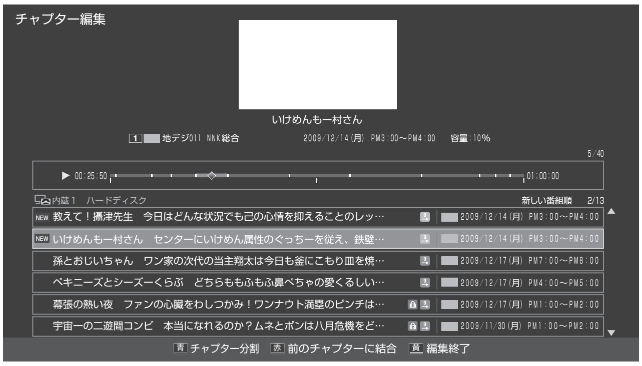
※ 録画中の番組はリピート再生できません。

録画番組を見る つづき

チャプター(章)編集をする

● 一つの録画番組をいくつかのチャプターに分けたり、分けたチャプターをつないだりすることができます。
● チャプター編集をした番組は、再生時に⏮・⏭の操作でチャプターの頭出し再生ができるようになります。
※ 録画中の番組でチャプター編集をすることはできません。

❶ クイックを押す
❷ で「編集・管理」を選び、決定を押す
❸ で「チャプター編集」を選び、決定を押す
❹ チャプター分割をする番組をで選び、クイックを押す
● 選択した番組の冒頭から再生が始まります。
❺ チャプターを分割するシーン(場面)で青を押す
● シーンを探すときには可変再生、早送り再生、早戻し再生ができますが、青を押すときには通常再生または一時停止にしてください。
● 赤を押すと、再生中または一時停止中のチャプターとその前のチャプターが結合されます。
● でチャプターを選ぶことができます。選んだチャプターの冒頭から再生が始まります。
● 編集画面で⏮・⏭を操作してチャプターをスキップすると、チャプターの先頭で一時停止になります。
● チャプターの最大分割数は1000です。また、一つのチャプターの最小時間は5秒です。



❻ 終わったら黄を押す

連ドラグループ名を変更する

● 録画リストの表示モードを「連ドラグループ別」にした場合に、連ドラグループ名を変更することができます。
● 名前を変更すると、予約リストの予約番組名も同じ名前に変更されます。
● 番組の録画中に名前を変更することはできません。

❶「表示モードを切り換える」66の操作で「連ドラグループ別」の表示にする
❷ 名称を変更するグループのタブをで選び、クイックを押す

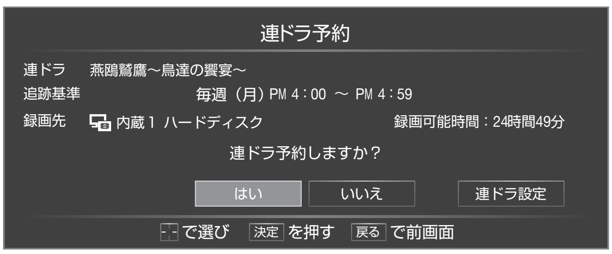


❸ で「編集・管理」を選び、決定を押す
❹ で「連ドラグループ名の変更」を選び、決定を押す
● 文字入力画面が表示されます。
❺ 文字入力画面で名称を変更する
● 文字入力のしかたは、112をご覧ください。
● 全角文字で10文字までの範囲で入力できます。
● 文字入力画面で決定を押すと、録画リストに戻ります。

連ドラ予約をする

● 録画リストに表示されている番組が今後も放送される連続ドラマであれば、その番組を選んで連ドラ予約に設定することができます。

❶ 連ドラ予約にする番組をで選び、クイックを押す
❷ で「連ドラ予約」を選び、決定を押す
❸「連ドラ予約」画面で内容を確認し、で「はい」を選んで決定を押す
● 録画予約する曜日などが正しく表示されているか確認してください。



● 「連ドラ設定」を変更する場合は、「連ドラ設定を変更する場合」57をご覧ください。

機器を選び直す

● 使いたい機器を変更するには、録画リストの表示中に以下の操作をします。

❶ クイック を押す

❷ ┼ で「機器選択」を選び、決定 を押す
● 機器選択画面が表示されます。

❸ 使いたい機器を ┼ で選び、決定 を押す

ハードディスクの残量を確認する

● ハードディスクの使用状態と残量を画面で確認できます。
※ 残量表示や録画可能時間表示は、あくまでも目安であり、保証するものではありません。

❶ 録画リスト画面で、クイック を押す

❷ ┼ で「ハードディスク残量表示」を選び、決定 を押す

❸ 残量表示画面を消すには、決定 を押す

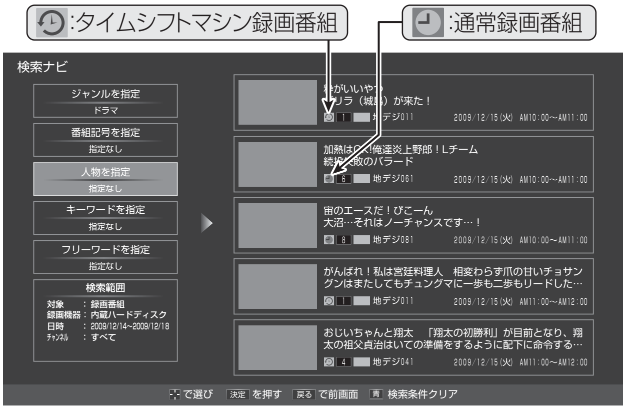
録画番組を検索する

- 内蔵ハードディスクやUSBハードディスクの録画番組を検索することができます。
- 録画リストの表示中に［黄］を押してローミングナビを起動することができます。その場合は「録画番組」が検索対象となります。
- 「検索ナビ」で検索する場合は、［番組検索］を押してメニューから選んでください。
- 「番組を検索する」21 ～ 24 の操作での番組検索と以下の点が異なります。

検索ナビで検索する

検索ナビメイン画面

- 検索結果の画面には、すべての録画番組から検索した結果が表示されます。

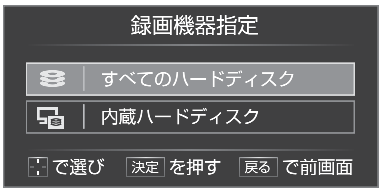


検索範囲を指定するとき

- 「対象」は「録画番組」を指定します。



- 検索対象の「録画機器」を選択します。
  ［↑↓］で機器を選んで［決定］を押します。



- 「日付」は範囲を指定します。
  ［←→］で欄を選び、［↑↓］で検索開始日、検索終了日を選びます。左端の欄は、「指定する」を選びます。
  選び終わったら、［決定］を押します。

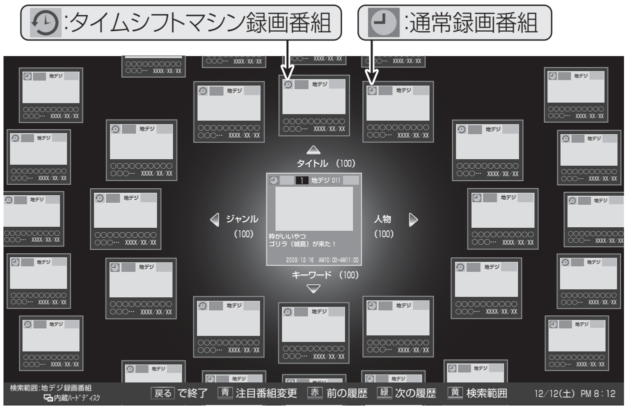


検索結果から通常録画番組を選んだとき

※ ［通常録画番組マーク］がついた番組を選んでください。
- 選択した録画番組の再生が始まります。

ローミングナビで検索する

ローミングナビ画面



検索範囲の指定

- 左記「検索ナビ」での「検索範囲を指定するとき」と同様に設定します。

注目番組、関連番組

- 注目番組、関連番組ともに、すべての録画番組が対象となります。

検索結果から番組を選んだとき

- 左記の「検索結果から番組を選んだとき」と同じです。

録画番組をダビングする

● 本機で内蔵ハードディスクやUSBハードディスクに録画した番組を他の機器にダビングすることができます。
- 内蔵ハードディスクとUSBハードディスク間のダビングは、ムーブ(移動)のみできます。
- DTCP-IP対応サーバーに、番組のコピー制御情報(コピーワンスやダビング10など)に従ってダビングすることができます。

※ 録画中はダビングできません。また、ダビング中に機器の取りはずしや接続変更をしないでください。

1 レグザリンク を押す

2 で「録画番組を見る」を選び、決定 を押す



● 対象の機器が2台以上ある場合は、機器選択画面が表示されます。その場合は、ダビング元の機器を選択してください。

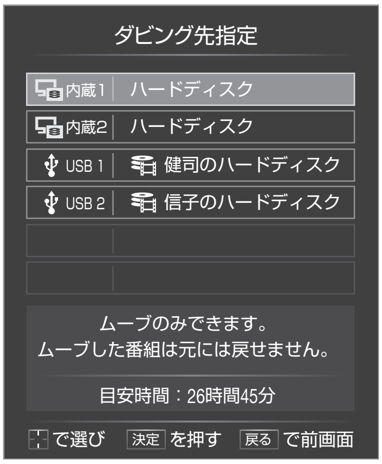
3 録画リスト画面で、ダビングする番組を で選び、クイック を押す

4 で「ダビング」を選び、決定 を押す

5 で「1件ダビング」または「複数ダビング」を選び、決定 を押す

6 ダビング先を で選び、決定 を押す

● ダビング先に指定できる機器が1台の場合、この手順はありません。



7 「複数ダビング」の場合は以下の操作をする

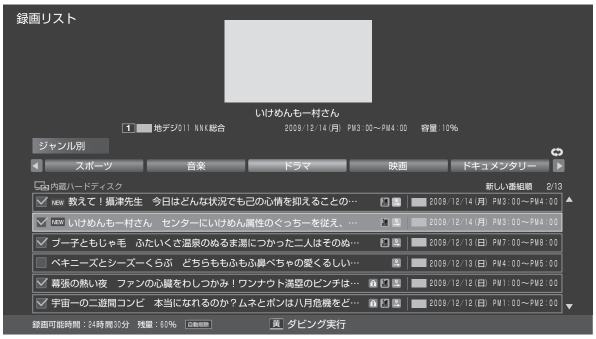
❶ 複数選択画面で、ダビングする番組を で選んで 決定 を押す

● 決定 を押すたびに、☑と☐が交互に切り換わり、✔を付けた番組がダビングされます。

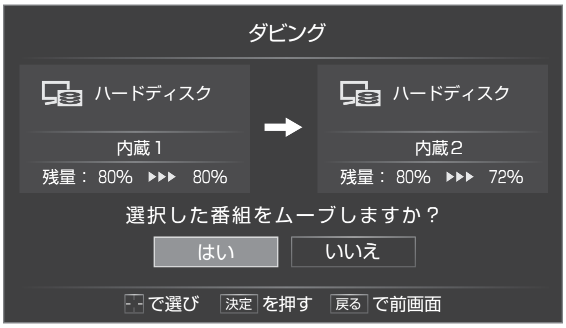
● 保護を解除する場合は、保護されている番組を選び、青 を押します。

❷ ダビングする番組をすべて選んだら、黄 を押す

● 一度にダビングできるのは16番組までです。



8 「ダビング」画面で、 で「はい」を選んで 決定 を押す



※ 番組のダビング中はチューナー前面の「録画/ダビング」表示が赤色に点灯します。

● ダビングが始まってしばらくすると、画面の右下に進行状況が表示されます。



お知らせ

● ダビング中は「今すぐニュース」の自動録画は行われません。

● ダビング中にできない操作をすると、画面にメッセージが表示されます。ダビングが終了するまでお待ちください。

● ダビング中に録画予約の開始時刻になった場合は、画面にメッセージが表示されます。

録画番組をダビングする つづき

レグザリンクダビング

● DTCP-IP対応サーバーやDTCP-IP対応の東芝レコーダーにLAN経由でデジタルダビングをすることができます。
● 番組のコピー制御情報に従ったダビングとなります。

■ 準備

❶ 本機とDTCP-IP対応サーバーをLANで接続する

● 「DLNA認定サーバー、DTCP-IP対応サーバーを接続する」の「機器の接続」（準備編 57）を参照してください。

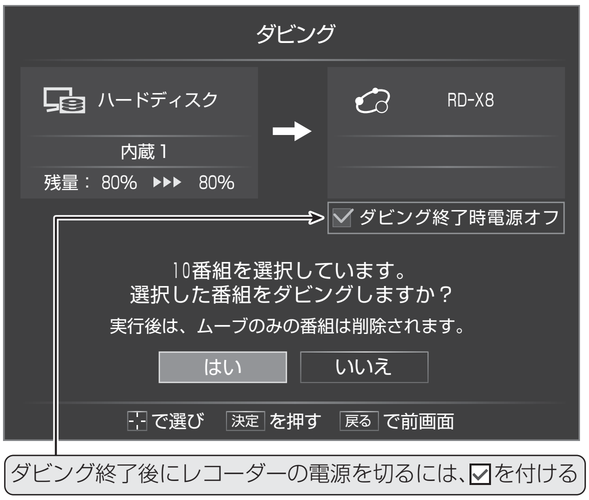
❷ ネットワークの設定をする

● 準備編上記ページの「設定の手順」を参照してください。

■ ダビングの操作

● 前ページの操作手順と同じです。
手順**6**で、LAN接続したDTCP-IP対応サーバーやDTCP-IP対応の東芝レコーダーをダビング先に指定してください。
※ 使用する機器が「ダビング先指定」の画面（1台だけの場合は「ダビング」の画面）に表示されない場合は、接続や設定を確認してください。

● DTCP-IP対応の東芝レコーダーの場合は、ダビングが終わったときに東芝レコーダーの電源が切れるように設定することができます。
- 対応機種 形名
RD-X9、RD-S1004K、RD-S304K、RD-X8、RD-S503、RD-S303
- 手順**8**の「ダビング」画面で、[十字キー]で「ダビング終了時電源オフ」を選び、[決定]を押して ✔ をつけます。



動画を見る

- DLNA認定サーバーやDTCP-IP対応サーバーに保存されている動画コンテンツを視聴することができます。
- 準備については、「DLNA認定サーバー、DTCP-IP対応サーバーを接続する」（準備編 56 ～ 57 ）をご覧ください。

1 レグザリンク を押す

2 で「動画を見る」を選び、決定 を押す



3 再生機器を で選び、決定 を押す

- 再生機器が1台だけの場合、この操作はありません。



4 動画リストで、見たい動画を で選んで 決定 または ►/可変再生 を押す

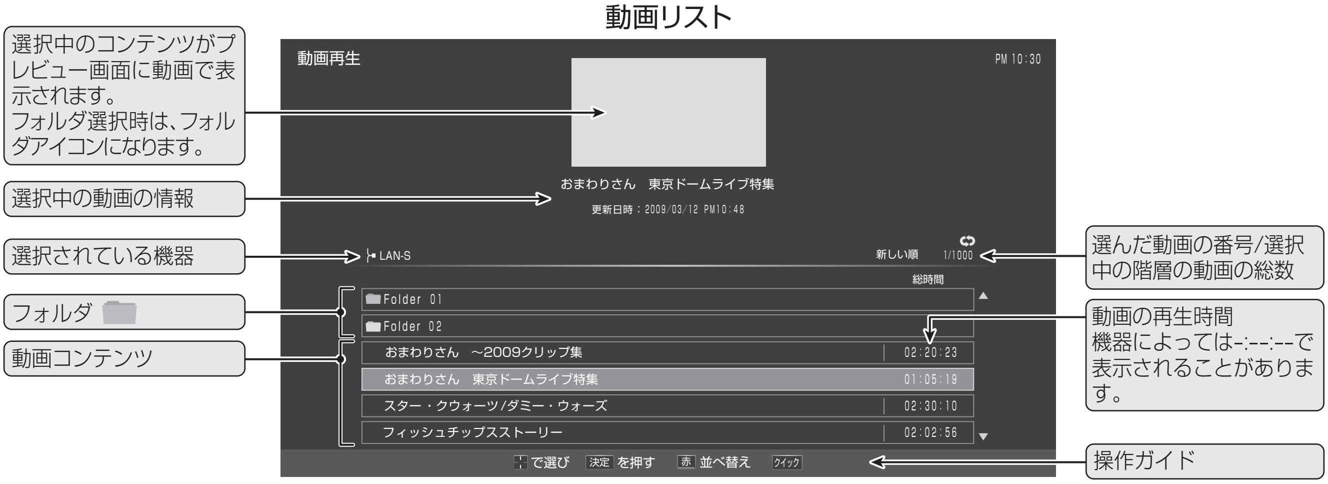
- 選択した動画の冒頭から再生が始まります。

- フォルダを選択した場合は、決定 を押せばフォルダ内の動画コンテンツが表示されます。
  - 元の階層に戻るには 戻る を押します。
- 動画コンテンツを選んだ状態で 決定 が押されないとき、プレビュー画面でそのコンテンツの再生が始まります。
- 動画再生中のリモコン操作については次ページをご覧ください。
- 再生機器を選択し直す場合は、「再生機器を選び直す」 76 の操作をします。

5 「動画を見る」を終了するときは、終了 を押す

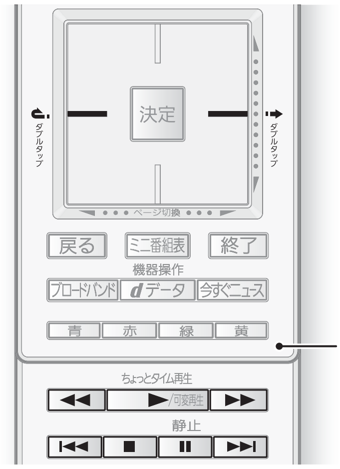
- 放送画面などに戻ります。

動画リスト



動画を見る つづき

動画再生中にできるリモコン操作



パネル1段スライド

ボタン	動　作
▶/可変再生	動画を再生します。
❚❚	再生中に押すと一時停止になります。一時停止中にもう一度押すと、再生が再開されます。 一時停止中に［ダイヤル］の操作で再生位置が変えられます。
■	再生を停止し、動画リストに戻ります。
▶▶	早送りをします。(押すたびに速さが変わります)
◀◀	早戻しをします。(押すたびに速さが変わります)
［パネル右］ダブルタップ	再生中にダブルタップ 9 をすると、30秒ほど先に進んで再生します。(ワンタッチスキップ) • 進む時間は、「ワンタッチスキップ設定」(準備編 64)で変更できます。
ダブルタップ［パネル左］	再生中にダブルタップをすると、10秒ほど戻って再生します。(ワンタッチリプレイ) • 戻る時間は、「ワンタッチリプレイ設定」で変更できます。
▶▶❙	ワンタッチスキップの動作になります。
❙◀◀	ワンタッチリプレイの動作になります。

※ 接続する機器やコンテンツによっては、早送り／早戻し再生などの特殊再生ができない場合があります。また、再生時間の表示がずれる場合があります。

動画コンテンツを並べ替える

● 動画リストの表示中に以下の操作をします。
● 並べ替えができない機器の場合はこの操作はできません。

1 赤 を押す

2 並び順を で選び、決定 を押す

- **新しい順**……更新日時の新しい順に並べます。
- **古い順**…………更新日時の古い順に並べます。

※ 更新日時の情報がない場合は、タイトル順に並びます。
※ サーバーによっては正しく並ばない場合があります。

リピートの設定をする

● 同じ階層にある動画コンテンツの繰返し再生方法を設定します。
※ 動画の再生中はリピートの設定はできません。

1 クイック を押す

2 で「リピート」を選び、決定 を押す

3 で以下から選び、決定 を押す

- **オフ**………………… 繰返し再生をしません。
- **１コンテンツ** …. 選択した動画コンテンツだけの再生が繰り返されます。
- **すべて**…………… 同じ階層にあるすべての動画コンテンツの再生が繰り返されます。

お好みの動画を選んで再生する

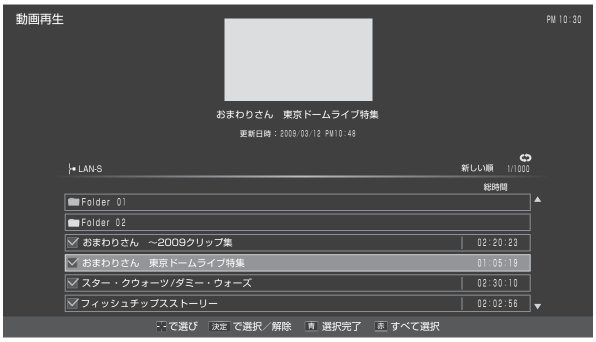
● お好みの動画だけのリストを作って再生することができます。（同じ階層内にあるコンテンツからお好みを選択します）
● 動画リスト画面の表示中に以下の操作をします。

1 クイック を押す

2 で「選択再生」を選び、決定 を押す

3 見たい動画を で選び、決定 を押す

● 決定 を押すたびに☑と□が交互に切り換わります。見たい動画に✓がつくようにします。
● 赤 を押すと、すべて選択したり、すべて解除したりできます。



4 選択が終わったら 青 を押す

● 選択した動画コンテンツだけの動画リストが表示されます。

5 動画リストから、見たい動画を で選び、決定 または ▶/可変再生 を押す

● 選択した動画の冒頭から再生が始まります。
● 再生時の操作は、通常の再生の場合と同じです。
●「リピート」の設定に従った再生になります。

6 「選択再生」を終了するときは、リスト画面で 緑 を押す

● 通常の動画リストに戻ります。
● 上記手順***3***、***4***で選択した状態は記憶されません。

動画を見る つづき

その他の操作をする

コンテンツの情報を見る

● コンテンツの再生中に以下の操作をします。

❶ 画面表示 を押す

機器の情報を見る

● 動画リストの表示中に以下の操作をします。

❶ クイック を押す

❷ で「機器情報」を選び、決定 を押す

再生機器を選び直す

● 動画リストの表示中に以下の操作をします。

❶ クイック を押す

❷ で「機器選択」を選び、決定 を押す

❸ で機器を選び、決定 を押す

放送番組視聴時と同様の操作をする

● コンテンツの再生中に以下の操作ができます。

- お好みの映像メニューを選ぶ➡ 37
- お好みの音声メニューを選ぶ➡ 47
- 字幕を表示させる➡ 30
- 音声や映像を切り換える➡ 30
- 画面サイズを切り換える➡ 28
- ヘッドホーンの音量を調節する➡ 31

写真を見る

● 内蔵ハードディスクに保存されている名画コンテンツや、SDメモリーカード、USB機器（デジタルカメラ、メモリーカードリーダー経由の各種メモリーカード、USBメモリーなど）、DLNA認定サーバーに記録されている写真（JPEGファイルの画像）を見ることができます。（SDメモリーカードの挿入口については、7をご覧ください）
● 外部機器の接続・設定については準備編の「外部機器の接続と設定」39の章の各機器のページをご覧ください。

データをバックアップすることをおすすめします。

本機で使用したことによって、データが変化・消失した場合の補償はできませんので、本機で使用する前にあらかじめ外部機器に保存されているデータのバックアップをとってください。

■ 再生できる写真（静止画ファイル）

圧縮方式	JPEG 準拠
静止画ファイルフォーマット	Exif ver2.2 準拠
画素数	6000×4000 ピクセル以内
ファイルサイズ	24MB 以内

■ 対応できるファイルシステム（USB機器のPC接続モード時）

● FAT12/FAT16/FAT32

■ 使用できるSDメモリーカード

● 128MBから2GBまでのSDメモリーカード
● 4GBから32GBまでのSDHCメモリーカード
※ マルチメディアカード（MMC）、セキュアマルチメディアカードには対応していません。
※ すべてのSDメモリーカードの動作を保証するものではありません。

■ 対応できるUSB機器の規格

● Universal Serial Bus Mass Storage Class
機器によって、PC接続モード、MassStorage、マスストレージクラスなどと表記されることがあります。
- この場合は、第1階層にあるDCIMフォルダや、その中にあるフォルダに保存されているファイルが最大1000個まで表示されます。

● Universal Serial Bus Still Image Capture Device
機器によって、プリンター接続モード、PTPなどと表記されていることがあります。
- この場合は、JPEGファイルだけが最大1000ファイルまで表示されます。

※ すべてのUSB機器の動作を保証するものではありません。
※ USB延長ケーブルを使用しないでください。

お知らせ
● DLNA認定サーバーに保存された写真は、DLNA認定サーバー側で自動的にサイズを変更して表示する場合があります。
● パソコンのアプリケーションソフトを使って加工や編集をした写真は、再生できないことがあります。
● USBハブには対応しておりません。

写真を見る つづき

1 [レグザリンク]を押す

2 [▲▼◀▶]で「写真を見る」を選び、[決定]を押す

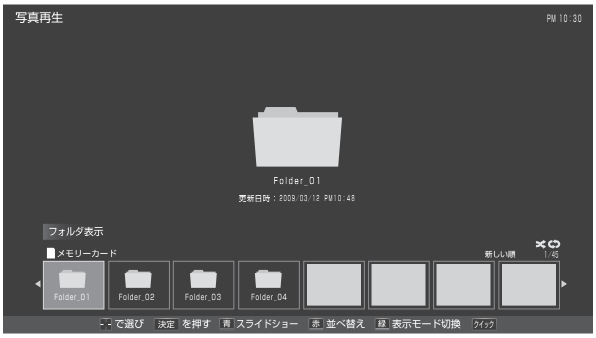


3 再生機器を[▲▼◀▶]で選び、[決定]を押す

- 内蔵ハードディスクに収録されている「名画」を見る場合は、「名画を見る」の表示のある「内蔵HDD」を選びます。



- 写真リストが表示されます。



- 写真リストの表示モードを変えることができます。80☞

4 写真を見る

- シングル表示で見る➡右記
- スライドショー表示で見る➡次ページ
- お好みの写真を選んで再生する➡次ページ

5 「写真を見る」を終了するときは、[終了]を押す

- 放送画面などに戻ります。

シングル表示で写真を見る

- 1枚の写真を全画面で表示します。
- 写真リストの表示中に以下の操作をします。

1 見たい写真を[▲▼◀▶]で選び、[決定]を押す

- 選んだ写真が全画面表示されます。

■前の写真、次の写真に切り換える

- [▲▼◀▶]を操作します。

■写真の情報を見る

- [画面表示]を押します。ファイル名などの情報が表示されます。表示を消すときは、もう一度[画面表示]を押します。

■写真の向きを変える（回転させる）

- [赤]を押します。[赤]を押すたびに写真が90度ずつ回転します。
- 回転させた状態は、現在の階層を抜けるまで保持されます。
- 画像データに向きの情報がある場合は、自動的に向きが変わります。

■拡大率を変える

- [緑]を押してから以下の操作をします。
  [青]を押す････押すたびに拡大されます。
  [赤]を押す････押すたびに縮小されます。
- 拡大した写真が画面よりも大きいときは、[▲▼◀▶]で移動することができます。
- 拡大・縮小モードを終了するときは、[緑]を押します。
- 拡大・縮小した状態は記憶されません。

■スライドショーを始める

- [青]または[▶/可変再生]を押すと、表示中の写真からスライドショー（次ページ）が始まります。

2 シングル表示を終了するときは、[■]または[戻る]を押す

- 写真リストの表示に戻ります。

スライドショーで写真を見る

● 写真が自動的に切り換わります。
● 写真リストの表示中に以下の操作をします。

1 スライドショーを開始する写真を で選び、[青]または[▶/可変再生]を押す

● 選んだ写真からスライドショーが始まります。

■ 自動切換を待たずにスキップする（とばす）
- [▶▶I]を押す……次の写真にスキップします。
- [I◀◀]を押す……前の写真にスキップします。
- でも同様の操作ができます。

■ 写真の向きを変える（回転させる）
- 操作はシングル表示の場合と同じです。
- 回転を終了すると、スライドショーが再開されます。

■ 拡大率を変える
- 操作は左記のシングル表示の場合と同じです。
- 拡大・縮小モードを終了すると、スライドショーが再開されます。

■ スライドショーを一時的に停止する
- [II]を押します。

■ スライドショー表示をシングル表示に変える
- [青]を押します。

2 スライドショーを終了するときは、[■]または[戻る]を押す

● 写真リストに戻ります。

お好みの写真を選んで再生する

● お好みの写真だけのリストを作って再生することができます。（同じ階層内にあるコンテンツからお好みを選択します）
● 写真リストの表示中に以下の操作をします。

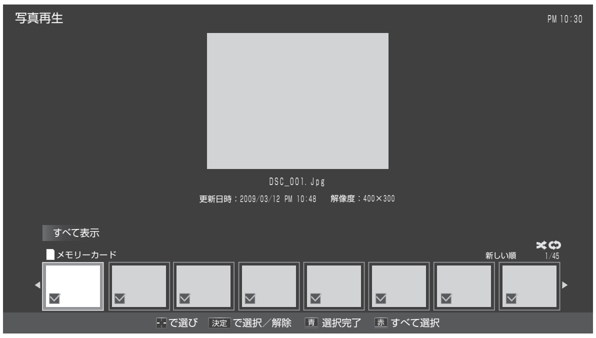
1 [クイック]を押す

2 で「スライドショー設定」を選び、[決定]を押す

3 で「選択再生」を選び、[決定]を押す

4 見たい写真を で選び、[決定]を押す

● [決定]を押すたびに☑と☐が交互に切り換わります。見たい写真に✔がつくようにします。
● [赤]を押すと、すべて選択したり、すべて解除したりできます。



5 選択が終わったら[青]を押す

● 選択した写真だけのリストが表示されます。

6 写真を見る

● シングル表示で見る➡前ページ
● スライドショー表示で見る➡左記

7 「選択再生」を終了するときは、リスト画面で[緑]を押す

● 通常の写真リストに戻ります。
● 上記手順**4**で選択した状態は記憶されません。

写真を見る つづき

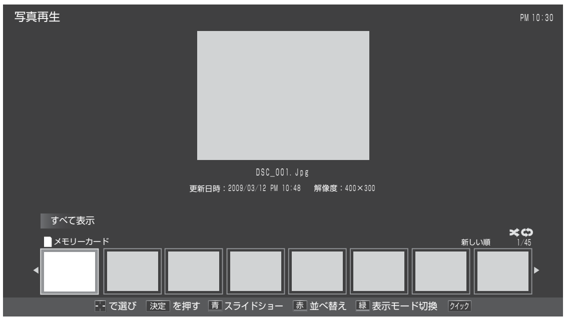
写真リストの表示モードを切り換える

● 「すべて表示」、「フォルダ表示」の切換えができます。
● 表示モードの切換えには時間がかかることがあります。
※ 内蔵ハードディスク選択中およびDLNA認定サーバー選択中は表示モードの切換えはできません。
※ SDメモリーカード選択中およびUSBメモリー選択中は、機器によっては表示モードの切換えができないことがあります。

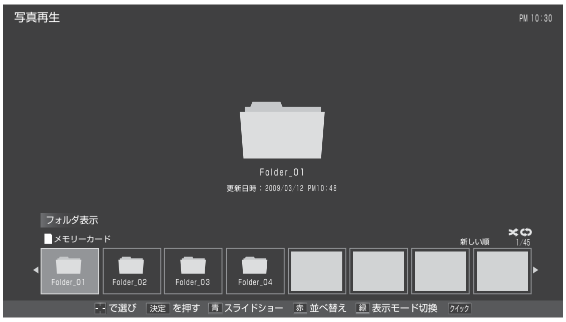
1 写真リストの表示中に 緑 を押す

2 で表示モードを選び、決定 を押す

■ すべて表示
選択中の機器の第1階層にあるDCIMフォルダおよび、その中の6階層目までのフォルダに保存されている写真が1000枚まで表示されます。



■ フォルダ表示
選択中の機器に保存されているフォルダが、機器と同じ階層構成で表示されます。
同じ階層に保存されている写真とフォルダが合計1000まで表示されます。



※ フォルダを開くには、でフォルダを選んで 決定 を押します。
• 元の階層に戻るには、戻る を押します。

スライドショーの設定をする

● 写真が切り換わる間隔（時間）や切り換わるときの画面効果などを設定することができます。
● 以下の操作は、写真リスト表示中のほかに拡大・縮小中を含むシングル表示中、スライドショーでの表示中にもできます。

スライドショーの効果を変える

● 写真が切り換わるときの特殊効果を設定します。

❶ クイック を押す
❷ で「スライドショー設定」を選び、決定 を押す
❸ で「スライドショー効果」を選び、決定 を押す
❹ で効果を選び、決定 を押す

スライドショーの表示間隔を変える

● 1枚の全体が表示されてから次の表示が始まるまでの間隔を設定します。

❶ クイック を押す
❷ で「スライドショー設定」を選び、決定 を押す
❸ で「間隔設定」を選び、決定 を押す
❹ で「速い」、「標準」、「遅い」のどれかを選び、決定 を押す

リピートの設定をする

❶ クイック を押す
❷ で「スライドショー設定」を選び、決定 を押す
❸ で「リピート」を選び、決定 を押す
❹ で以下から選び、決定 を押す
• **オン**…スライドショーを同じ階層内で繰り返します。
• **オフ**…同じ階層にある最後の写真を再生するとスライドショーが終了します。

シャッフルの設定をする

❶ クイック を押す
❷ で「スライドショー設定」を選び、決定 を押す
❸ で「シャッフル」を選び、決定 を押す
❹ で以下から選び、決定 を押す
• **オン**…不特定の順番で表示されます。
• **オフ**…ファイルの並び順に表示されます。

写真を並べ替える

● 写真リストの表示中に以下の操作をします。
● 並べ替えができない機器の場合はこの操作はできません。

1 赤 を押す

2 並び順を ↕ で選び、決定 を押す
- **新しい順**…… 更新日時の新しい順に並べる
- **古い順**……… 更新日時の古い順に並べる

※ 更新日時の情報がない場合は、タイトル順に並びます。
※ サーバーによっては正しく並ばない場合があります。

その他の操作をする

■ 機器の情報を確認する

● 再生機器がDLNA認定サーバーの場合、機器の情報が確認できます。
● 写真リストの表示中に以下の操作をします。

❶ クイック を押す
❷ ↕ で「機器情報」を選び、決定 を押す

■ 再生機器を選び直す

● 写真リストの表示中に以下の操作をします。

❶ クイック を押す
❷ ↕ で「機器選択」を選び、決定 を押す
❸ ↕ で機器を選び、決定 を押す

■ 放送番組視聴時と同様の操作をする

● シングル表示、スライドショー表示をしているときに以下の操作ができます。

- お好みの映像メニューを選ぶ➡ 37
  「おまかせ」、「あざやか」、「標準」、「写真」、「メモリー」の中から選ぶことができます。
- 画面サイズを切り換える➡ 28
  「ノーマル」、「Dot By Dot」から選ぶことができます。
  「ノーマル」を選ぶと、写真の縦横比を維持した状態で、画面いっぱいに収まるように拡大されます。
  「Dot By Dot」は、解像度が1920×1080ピクセル以下の写真のときに選ぶことができます。

音楽を聴く

● DLNA認定サーバーに保存されている音楽コンテンツ(リニアPCM、MP3)を再生することができます。
● 準備については、「DLNA認定サーバー、DTCP-IP対応サーバーを接続する」(準備編 56 ～ 57)をご覧ください。

1 レグザリンク を押す

2 ◁▷ で「音楽を聴く」を選び、決定 を押す



3 再生機器を ◁▷ で選び、決定 を押す

● 再生機器が1台だけの場合、この操作はありません。



4 聴きたいコンテンツを △▽ で選び、決定 または ▶/可変再生 を押す



● 選択したコンテンツの冒頭から再生が始まります。
● フォルダを選択した場合は、決定 を押せばフォルダ内のコンテンツが表示されます。
- 元の階層に戻るには 戻る を押します。

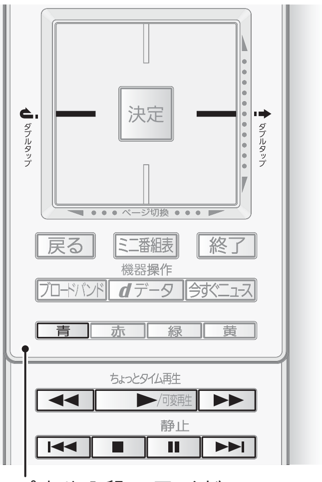
● 音楽の再生中は、以下の画面が表示されます。



● 再生中に下表の操作ができます。

5 「音楽を聴く」を終了するときは、終了 を押す

● 放送画面などに戻ります。



パネル1段スライド

ボタン	動　作
❚❚	再生中に押すと一時停止になります。 一時停止中にもう一度押すか、▶/可変再生 を押すと再生が再開されます。 一時停止中に ◁▷ の操作で再生位置が変えられます。
■	再生を停止し、音楽リストに戻ります。
▶▶	早送りをします。(押すたびに速さが変わります)
◀◀	早戻しをします。(押すたびに速さが変わります)
▷➡	再生中にダブルタップ 9 をすると、30秒ほど先に進んで再生します。(ワンタッチスキップ) • 進む時間は、「ワンタッチスキップ設定」(準備編 64)で変更できます。
⬅◁	再生中にダブルタップをすると、10秒ほど戻って再生します。(ワンタッチリプレイ) • 戻る時間は、「ワンタッチリプレイ設定」で変更できます。
▶▶❙	次の音楽を再生します。
❙◀◀	再生中の音楽の先頭に戻って再生します。3秒以内にもう一度押すと、前の音楽の冒頭から再生が始まります。
青	再生を継続したまま音楽リストを表示します。音楽リストでは通常同様の操作ができます。再生継続中の音楽リストで 青 を押すと、再生画面に戻ります。 別の階層に移動した場合は、継続していた再生が停止します。

お好みの音楽を選んで再生する

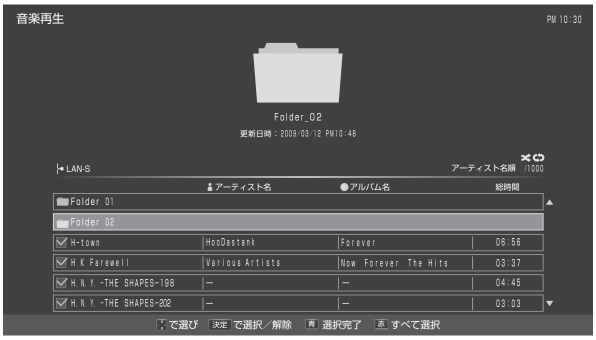
- お好みのコンテンツだけの音楽リストを作って再生することができます。（同じ階層内にあるコンテンツからお好みを選択します）
- 音楽リスト画面の表示中に以下の操作をします。

1 [クイック]を押す

2 で「選択再生」を選び、[決定]を押す

3 聴きたいコンテンツをで選び、[決定]を押す

- [決定]を押すたびに☑と□が交互に切り換わります。聴きたいコンテンツに✔がつくようにします。
- [赤]を押すと、すべて選択したり、すべて解除したりできます。



4 選択が終わったら[青]を押す

- 選択した音楽コンテンツだけの音楽リストが表示されます。

5 聴きたいコンテンツをで選び、[決定]、[▶/可変再生]のどちらかを押す

- 再生が始まります。
- 再生時の操作は、通常の再生の場合と同じです。
- 右記の「リピート」、「シャッフル」の設定に従った再生になります。

6 「選択再生」を終了するときは、リスト画面で[緑]を押す

- 再生を停止し、通常の音楽リストに戻ります。
- 上記手順***3***、***4***で選択した状態は記憶されません。

音楽コンテンツを並べ替える

- 音楽リストの表示中に以下の操作をします。
- 並べ替えができない機器の場合はこの操作はできません。

1 [赤]を押す

2 並び順をで選び、[決定]を押す

- **アーティスト名順**… アーティスト名順に並べる
  同一アーティスト名のコンテンツが複数ある場合は、同じアーティストの中でタイトルの昇順に並びます。
- **アルバム名順** …… アルバム名順に並べる
  同一アルバム名のコンテンツが複数ある場合は、同じアルバムの中でトラック順に並びます。

※ アーティスト名、アルバム名の情報がない場合は、タイトル順に並びます。
※ サーバーによっては正しく並ばない場合があります。

リピートの設定をする

- 同じ階層にある音楽コンテンツの繰返し再生の方法を設定します。
- 音楽リストの表示中およびコンテンツの再生中に以下の操作をします。

1 [クイック]を押す

2 で「リピート」を選び、[決定]を押す

3 で以下から選び、[決定]を押す

- **オフ**……………繰り返し再生をしません。
- **1曲**……………再生中の音楽コンテンツ、または選択した音楽コンテンツだけの再生が繰り返されます。
- **すべて**…………同じ階層にあるすべての音楽コンテンツの再生が繰り返されます。

シャッフルの設定をする

- 音楽リスト画面の表示中およびコンテンツの再生中に以下の操作をします。

1 [クイック]を押す

2 で「シャッフル」を選び、[決定]を押す

3 で以下から選び、[決定]を押す

- **オン**……………不特定の順番で再生します。
- **オフ**……………コンテンツの並び順で再生します。

レグザリンクを使う

音楽を聴く

音楽を聴く つづき

再生時の背景画面を設定する

● 音楽コンテンツの再生中に以下の操作をします。

1 クイック を押す

2 で「背景設定」を選び、決定 を押す

3 で「表示する」または「表示しない」を選び、決定 を押す

その他の操作をする

機器の情報を見る

● リスト画面の表示中に以下の操作をします。

❶ クイック を押す

❷ で「機器情報」を選び、決定 を押す

再生機器を選び直す

● リスト画面の表示中に以下の操作をします。

❶ クイック を押す

❷ で「機器選択」を選び、決定 を押す

❸ で機器を選び、決定 を押す

コンテンツの情報を見る

● コンテンツの再生中に以下の操作をします。

❶ 画面表示 を押す

放送番組視聴時と同様の操作をする

● 以下の操作ができます。

- お好みの音声メニューを選ぶ➡ 47
- ヘッドホーンの音量を調節する➡ 31

予約を確認する

● 予約の確認と取消しをすることができます。
※ レグザリンク対応の東芝レコーダーに録画予約した番組は本機では確認できません。機器側で確認や取消しの操作をしてください。

予約番組の確認と取消し

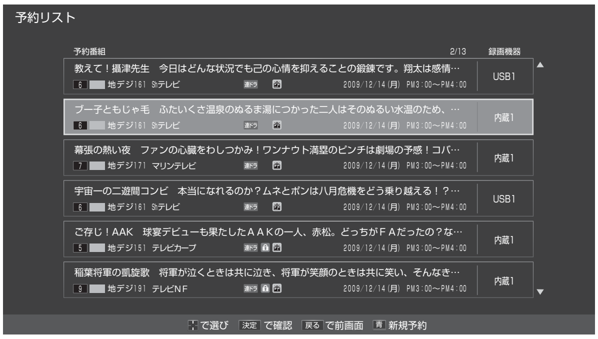
1 レグザリンク を押す

2 [十字キー]で「予約を確認する」を選び、決定 を押す



● 予約リストが表示され、予約の確認ができます。
● 予約を取り消したり、録画設定を変更したりする場合は、手順*3*、*4*の操作をします。

3 予約を取り消す番組を[十字キー]で選び、決定 を押す



4 [十字キー]で「はい」を選び、決定 を押す

● 「録画設定」の内容を変更する場合は、「録画設定」を選んでください。(58 をご覧ください)

5 終わったら、終了 を押す

連ドラ予約番組の確認と取消し

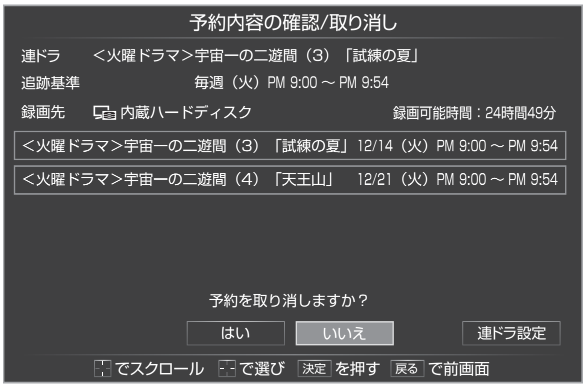
● 「連ドラ予約」をした番組をリストで確認したり、予約を取り消したりすることができます。

1 左記の手順*1*、*2*の操作をする

2 連ドラ予約をした番組を予約リストから[十字キー]で選び、決定 を押す

● 選んだ予約番組の「予約内容確認」画面が表示されます。
※ 8日以上先の番組は表示されません。

3 予約を取り消す場合は、[十字キー]で「はい」を選んで 決定 を押す

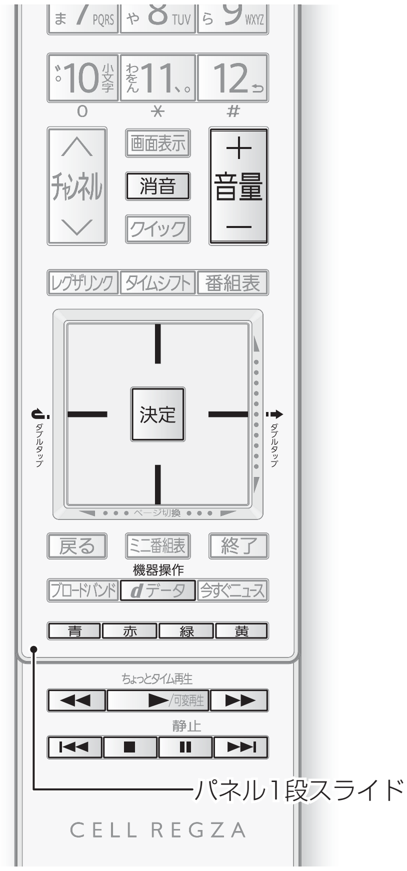


4 終わったら、終了 を押す

HDMI連動機器を操作する

本機のリモコンでできる操作

● HDMI連動機能対応（レグザリンク対応）機器を接続した場合、本機のリモコンで以下の操作をすることができます。
※ 以下は代表的な動作です。操作する機器によっては、動作が異なる場合があります。



[▶/可変再生] 再生
- 番組を再生します。

[II] 一時停止
- 再生中に押すと再生を一時停止します。もう一度押すと再生を再開します。

ワンタッチスキップ
- 再生中にダブルタップ操作 [9] をすると少し先に進んで再生します。

ワンタッチリプレイ
- 再生中にダブルタップ操作をすると少し戻って再生します。

[■] 停止
- 再生中に押すと再生を停止します。
- 録画中に押すと録画を停止します。

[終了] 終了
- 操作の途中で押すと、操作を中断します。

[I◀◀] [▶▶I] スキップ
- [I◀◀]は、前に戻って頭出し再生します。
- [▶▶I]は、一つ先に進んで頭出し再生します。

[▶▶] 早送り
- 再生中に押すと早送りします。

[◀◀] 早戻し
- 再生中に押すと早戻しします。

リモコン動作対応表

本機のリモコンボタン	東芝レコーダー	東芝パソコン	AVシステム機器
▶/可変再生	○	○	—
II	○	○	—
■	○	○	—
I◀◀ ▶▶I	○	○	—
◀◀ ▶▶	○	○	—
ワンタッチリプレイ ワンタッチスキップ	○	○	—
十字キー	○	○	—
決定	○	○	—
戻る	○	○	—
終了	○	○	—
機器操作 dデータ	○	○	—
青	○(Blue/A)	○(A)	—
赤	○(Red/B)	○(B)	—
緑	○(Green/C)	○(C)	—
黄	○(Yellow/D)	○(D)	—
＋ 音量 －	—	—	○
消音	—	—	○

機器を選択する

1 [レグザリンク] を押す

2 で「HDMI連動機器を操作する」を選び、[決定] を押す



3 操作のメニューを選ぶ

● 選択できるメニューは接続されている対象機器の種類や台数によって異なります。



■ 対象機器が1台の場合

❶「機器を操作する」を選び、[決定] を押す

● 機器操作メニューが表示されます。

■ 対象機器が複数の場合

❶「機器を選択する」を選び、[決定] を押す

❷ 操作する機器を （機器の台数によっては ）で選び、[決定] を押す

● 機器操作メニューが表示されます。

■ AVシステム機器が接続されている場合

● レグザリンク対応のAVシステム機器（AVアンプなどとそのスピーカー）が接続されている場合は、本機（テレビ）の音声を出すスピーカーを切り換えることができます。

❶「スピーカーを切り換える」を選び、[決定] を押す

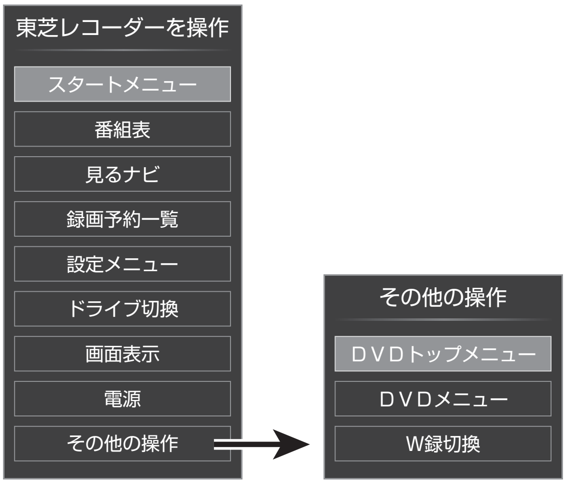
❷ 音声を出すスピーカーを で選び、[決定] を押す

4 機器を操作する

● 以降の内容を参考にしてください。

●「スピーカーを切り換える」で、「AVシステムのスピーカーから音声を出す」を選択した場合は、本機のリモコンで音量の調節と消音の操作ができます。

東芝レコーダーを操作する



■ スタートメニュー

● 東芝レコーダーのスタートメニューが表示されます。

■ 番組表

● 東芝レコーダーの番組表が表示されます。

■ 見るナビ

●「見るナビ」または「見ながら選択」画面が表示されます。

■ 録画予約一覧

● 東芝レコーダーの「録画予約一覧」画面が表示されます。

■ 設定メニュー

● 東芝レコーダーの設定メニューが表示されます。

■ ドライブ切換

● ハードディスクとDVDを切り換えます。

■ 画面表示

● 状態表示の表示／非表示を切り換えます。

■ 電源

● [決定] で電源の「入」、「待機」ができます。

■ DVDトップメニュー（その他の操作内）

● DVD視聴中に選ぶとDVDトップメニューが表示されます。

■ DVDメニュー（その他の操作内）

● DVD視聴中に選ぶとDVDメニューが表示されます。

■ W録切換（その他の操作内）

● W録選択を切り換えます。

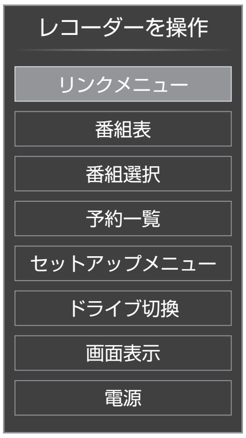
お知らせ

●「スピーカーを切り換える」の操作でAVシステムのスピーカーを選択していた場合でも、ゲーム入力を選択したときにはテレビのスピーカーに切り換わります。

HDMI連動機器を操作する つづき

東芝製以外のレコーダーを操作する

● HDMI CEC対応のレコーダーを操作します。
● すべての製品ですべての機能の操作ができることを保証するものではありません。



東芝パソコンを操作する



ソフトウェア選択

● 表示される項目を で選んで 決定 を押すと、アプリケーションが起動します。

クイックメニュー

● 東芝パソコンのクイックメニューが表示されます。

画面表示

● 状態表示の表示／非表示を切り換えます。

電源

● 決定 でパソコンの「起動」、「シャットダウン」ができます。

AVシステムの音声を設定する

● 以下の条件のときに、「HDMI連動機器を操作」のメニューから「AVシステムの音声を設定する」が選べるようになり、サラウンドメニューからお好みの音声を選択したり、ユニボリュームの機能を使用したりすることができるようになります。（AVシステム機器によっては、サラウンドメニューまたはユニボリュームのどちらか一方しか使用できない場合があります）

❶ 本機と音声連動が可能なAVシステム機器（AVアンプなど）がHDMIケーブルで接続されていて、動作状態になっている（AVシステム機器のスピーカーから音声が出るようになっている）。

❷「HDMI連動設定」（準備編 52）が以下のように設定されている。

- HDMI連動機能……………使用する
- AVシステム連動…………使用する
- AVシステム音声連動 ….. 使用する

サラウンドメニュー

● AVシステム機器のサラウンドモードを設定します。サラウンドメニューから、視聴中の番組に適した音声を選ぶことができます。

※ 画面に表示されるサラウンドメニューは目安です。AVシステム機器側のサラウンドメニューの内容と一致しない場合があります。

※「おまかせ」に設定すると、番組が変わるたびに本機が取得した番組ジャンル情報がAVシステム機器に送られ、AVシステム機器のスピーカーから番組のジャンルに適した音声が出るようになります。

ユニボリューム

●「オン」に設定すると、番組とコマーシャルの音量差、チャンネル間の音量差、外部入力間の音量差が少なくなるように補正され、テレビの音が聞きやすくなります。

※ クラシック音楽などの番組では、音量差を小さくすると音の強弱表現が損なわれます。そのような番組を視聴する場合や、映画などでシーンによって変わる音量差の迫力を味わいたい場合などは、この機能を「オフ」にしてください。

お知らせ

● レグザリンク対応機器、AVシステム音声連動対応機器については、「対応機器一覧」（準備編 135）をご覧ください。

■ 東芝パソコンについて

● 選択したアプリケーションによっては、動作しないリモコン操作や項目があります。
● アプリケーションの状態によってはパソコンでの操作が必要になる場合があります。

Yahoo! JAPANを利用する

Yahoo! JAPANとは

- 「Yahoo! JAPAN」は、ヤフー株式会社が提供するインターネット・ポータルサイトです。

※ 回線の速度によっては利用できないサービスがあります。

Yahoo! JAPANのサービス（2009年11月現在）

◆ **ニュース、天気、占いなど、130以上のサービス**
目的別に分類されたカテゴリーから、必要な情報を探すことができます。

◆ **検索サービス**
キーワードを入力して、インターネット検索をすることができます。

◆ **画像検索サービス**
検索キーワードに関連する画像を探すことができます。

必要な準備

- 「ブロードバンドを利用する場合の接続・設定」（準備編 71 ～ 74 ）をご覧ください。

ご利用に関するお知らせ

- 安心してご利用いただくために、以下の点にご注意ください。
  - Yahoo! JAPAN以外のWebページで、Yahoo! JAPANのIDやパスワードを入力する画面が表示された場合、セキュリティ上の問題が発生することがありますので、入力しないでください。トップページに戻るには、[dデータ]を押し、「ホーム」を選びます。
  - セキュリティを高めるため、「ログインシール」などのYahoo! JAPANが推奨するセキュリティ設定をしてください。設定のしかたは、Yahoo! JAPANのログイン画面でご確認ください。

基本操作

1 [ブロードバンド]を押す

- ブロードバンドメニューが表示されます。

2 [◁▷]で「Yahoo! JAPAN」を選び、[決定]を押す



はじめて使用するとき

- 「インターネット制限設定」（準備編 89 ）が未設定の場合、「Yahoo! JAPAN」をはじめて利用する際に、「インターネット制限設定」の説明画面が表示されます。

❶ **説明を読み、[決定]を押す**

- 説明画面が消えます。

暗証番号の入力画面が表示されたとき

- 暗証番号の入力画面は、「ブラウザ起動制限設定」（準備編 90 ）を「制限する」に設定している場合に表示されます。
- 「暗証番号の設定」（準備編 88 ）で設定した暗証番号を入力します。

3 見たい情報を[△▽◁▷]で選び、[決定]を押す



閲覧制限の説明画面が表示されたとき

- 「レグザ版あんしんねっと設定」（準備編 89 ）で「閲覧設定」をしている場合、設定した制限レベルを超えるサイトにアクセスすると、閲覧制限の説明画面が表示されます。

❶ **説明を読み、[決定]を押す**

- 前のページに戻ります。

■一時的に閲覧制限を変更するとき

❶ [クイック]を押す

❷ [△▽]で「閲覧制限一時変更」選び、[決定]を押す

❸ [1]～[10](0)で暗証番号を入力する

- 閲覧制限レベルが「大人」に変更されます。
- 変更された状態は、「Yahoo! JAPAN」を終了するまで継続されます。
- 利用中に再び閲覧制限を元に戻す場合は、[クイック]を押して「閲覧制限再設定」を選びます。

4 Yahoo! JAPANを終了するには、[終了]を押す

- 確認画面で、[◁▷]で「はい」を選んで[決定]を押すと、「Yahoo! JAPAN」が終了します。

お知らせ

- Yahoo! JAPAN以外のページに移動した場合、画面が正しく表示されないことがあります。
- Yahoo! JAPANのホームページに関するお問い合わせは、Yahoo! JAPANヘルプセンター（http://help.yahoo.co.jp/help/jp/）をご覧ください。
- Yahoo! JAPANを利用中にできない操作をした場合や、録画予約の開始時刻になった場合などは、画面にメッセージが表示されます。

Yahoo! JAPANを利用する つづき

便利機能を使う

● Yahoo! JAPAN利用時に以下の便利機能が使用できます。

1 ページ画面の表示中に[dデータ]を押す

● 便利機能のメニューが表示されます。

2 でメニューを選び、[決定]を押す

※ いくつかの機能は使用できません。使用できない機能は、うすく表示されます。



メニュー	内　容
「戻る」	• 一つ前のページに戻ります。 • 履歴がないときには選択できません。
「進む」	• 一つ後のページに進みます。 • 履歴がないときには選択できません。
「再読込み」	• ページの表示内容を更新します。 • 読込みを中止するには、読込中に「中止」を選択します。
「ホーム」	• トップページが表示されます。
「お気に入り」	• 表示中のページを「お気に入り」に登録したり、「お気に入り」からアクセス先を選んだりすることができます。
「履歴表示」	• アクセス履歴の一覧が表示されます。 • 履歴一覧からアクセス先を選んだり、履歴を削除したりすることができます。
「検索」	• ページ内検索ができます。

「お気に入り」に登録する

● お買い上げ時に登録されているものを含めて50個までのページを「お気に入り」に登録できます。

1 登録したいページを開く

2 [dデータ]を押す

3 で「お気に入り」♡を選び、[決定]を押す

4 で「お気に入りに登録」を選び、[決定]を押す

● 「お気に入り」リストの一番下に追加されます。

「お気に入り」からアクセス先を選ぶ

1 [dデータ]を押す

2 で「お気に入り」♡を選び、[決定]を押す

3 で「お気に入り一覧」を選び、[決定]を押す

4 見たいページをで選び、[決定]を押す

● 選んだページの名称やURLを編集したりする場合は、[決定]を押さないで以下の「お気に入り」の便利機能の操作をしてください。

■「お気に入り」の便利機能を使う

❶「お気に入り一覧」の表示中に[dデータ]を押す

● 便利機能の項目❷、❹、❺、❻の場合は、ページを選んでから[dデータ]を押します。

❷ で項目を選び、[決定]を押す

● 項目の番号をリモコンのチャンネルボタンで選ぶこともできます。

● 使用できない機能はうすく表示されます。



❷ 編集

- 選んだページの名称やURLを編集することができます。

❶ 編集する項目を▲▼で選び 決定 を押す

❷ 文字入力画面で編集する

- 文字入力については、「文字を入力する」112をご覧ください。
- タイトルの入力文字数は、全角12文字（半角24文字）までです。（「お気に入り」を最大登録可能数の50個まで登録した場合の目安です）
- URLの入力文字数は半角英数字・半角記号で254文字までです。

❸ アドレスで表示

- 「お気に入りリスト」がURLで表示されます。
- 「アドレスで表示」を選ぶと、項目名は「タイトルで表示」に換わります。

❹ 上へ移動

- 選んだページの表示順を一つ上へ移動します。

❺ 下へ移動

- 選んだページの表示順を一つ下へ移動します。

❻ 削除

- 選んだページを「お気に入り」から削除します。

❶ 確認画面で、▲▼で「はい」を選んで 決定 を押す

❼ すべて削除

- すべての「お気に入り」を削除します。

❶ 確認画面で、▲▼で「はい」を選んで 決定 を押す

履歴からアクセス先を選ぶ

- 「便利機能」で「履歴表示」を選んで 決定 を押したあとに以下の操作をします。

1 「履歴一覧」から、見たいページを▲▼で選んで 決定 を押す

- 選んだページが表示されます。

■ 「履歴一覧」の便利機能を使う

❶ 「履歴一覧」の表示中に dデータ を押す

❷ ▲▼で項目を選び、決定 を押す



- 項目の番号をリモコンのチャンネルボタンで選ぶこともできます。
- 使用できない機能は薄くなって表示されます。

❷ アドレスで表示

- 「履歴一覧」がURLで表示されます。
- 「アドレスで表示」を選ぶと、項目名は「タイトルで表示」に変わります。

❸ 削除

- 選んだ履歴を削除します。

❶ 確認画面で、▲▼で「はい」を選んで 決定 を押す

❹ すべて削除

- すべての履歴を削除します。

❶ 確認画面で、▲▼で「はい」を選んで 決定 を押す

ページ内検索をする

- 表示中のページ内で文字列の検索ができます。
- 「Yahoo! JAPAN利用時の便利機能」で「検索」を選んで 決定 を押したあとに以下の操作をします。



1 決定 を押す

- 検索文字入力ウインドウが表示されます。
- 左端の▼を選んで 決定 を押せば、検索文字入力ウインドウを画面の下に移動させることができます。下にあるときは、▲を選んで 決定 を押せば、上に移動させることができます。



2 ▲▼でキーワード入力欄を選び、決定 を押す

- 文字入力画面が表示されます。

3 検索する文字を入力する

- 文字入力画面の操作については、112をご覧ください。
- 文字入力が終わって 決定 を押すと、検索文字入力ウインドウに戻り、入力した文字が検索文字入力欄に表示されます。

4 ▲▼で「上へ検索」または「下へ検索」を選び、決定 を押す

- **上へ検索**……入力された文字をページの上方向に検索します。
- **下へ検索**……入力された文字をページの下方向に検索します。

- 該当の文字列がページ内に見つかると、その文字列が色付きで表示されます。

アクトビラを利用する

アクトビラとは

● 「アクトビラ」は、株式会社アクトビラが提供するテレビ向けインターネット・サービスです。

アクトビラのサービスについて(2009年11月現在)

※ 回線の速度によっては、利用できないサービスがあります。

◆ **アクトビラビデオ**
映画やドラマ、アニメなど10ジャンル・1000番組以上のビデオを番組ごとに購入して楽しむことができるビデオオンデマンド(VOD)サービスです。
標準画質でのサービスのほかに、ハイビジョンレベルでのサービスもあります。
視聴時に本機のリモコンで、早送り・早戻し・一時停止などの操作ができます。

◆ **アクトビラベーシック**
テレビ番組に関する情報や、話題の商品など、気になるトレンドをチェックして買い物をしたり、生活に関する最新情報(ニュース、天気予報、株価、交通情報など)を入手したりすることができます。

必要な準備

● 「ブロードバンドを利用する場合の接続・設定」(準備編 71 ～ 74)をご覧ください。

アクトビラをはじめてご利用のとき

● はじめてアクトビラを使うときに、本機に組み込まれた識別情報が自動で送信されます。
● 郵便番号の入力画面が表示されます。
画面の指示に従って入力してください。
郵便番号を入力しないと、アクトビラの一部の機能が使用できない場合があります。

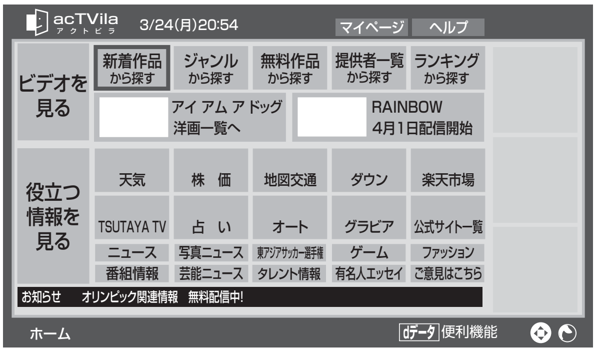
基本操作

1 [ブロードバンド]を押す

2 [十字キー]で「アクトビラ」を選び、[決定]を押す



● しばらくするとアクトビラのトップページが表示されます。(回線の状態によって時間がかかることがあります)



3 以下の操作をする

ビデオサービスを見る場合

❶ [十字キー]で「ビデオを見る」の中から見たい項目を選び、[決定]を押す
❷ 目的の項目になるまで❶の操作を繰り返す
❸ 購入画面などが表示されたら、画面の表示に従って操作する

情報サービスを見る場合

❶ [十字キー]で「役に立つ情報を見る」の中から見たい項目を選び、[決定]を押す
❷ 目的の項目になるまで❶の操作を繰り返す

4 アクトビラを終了するには、[終了]を押す

● 確認画面で、[十字キー]で「はい」を選んで[決定]を押すと、「アクトビラ」が終了します。

お知らせ
● アクトビラを利用中にできない操作をした場合や、録画予約の開始時刻になった場合などは、画面にメッセージが表示されます。

便利機能を使う

● アクトビラ利用時に以下の便利機能が使用できます。

1 **ページ画面の表示中に［dデータ］を押す**

● 便利機能のメニューが表示されます。

2 **［上下左右］でメニューを選び、［決定］を押す**

※ いくつかの機能は使用できません。使用できない機能は、薄くなって表示されます。



メニュー	内　容
「戻る」	• 一つ前のページに戻ります。 • 履歴がないときには選択できません。
「進む」	• 一つ後のページに進みます。 • 履歴がないときには選択できません。
「再読込み」	• ページの表示内容を更新します。 • 読込みを中止するには、読込中に「中止」を選択します。
「ホーム」	• トップページが表示されます。
「お気に入り」	• 表示中のページを「お気に入り」に登録したり、「お気に入り」からアクセス先を選んだりすることができます。
「履歴表示」	• アクセス履歴の一覧が表示されます。 • 履歴一覧からアクセス先を選んだり、履歴を削除したりすることができます。

ビデオサービスを利用する

※ サービス提供者側の状況によっては、各操作が実行されるまでに時間がかかることがあります。

ビデオ再生の基本操作

● 以下の操作ができます。

- ［▶/可変再生］………再生
- ［❚❚］、［■］……一時停止、停止
- ［◀◀］、［▶▶］……早戻し再生、早送り再生
- ［❙◀◀］、［▶▶❙］……前へスキップ、次へスキップ
- ［右］、［左］……ワンタッチスキップ、リプレイ

時間を指定して再生する（タイムサーチ）

❶ **［サーチ CH番号入力］を押す**

● 画面右上に サーチ－－:－－:－－ が表示されます。

❷ **［1］～［10(0)］で時間を指定する**

例 冒頭から1時間25分5秒後の位置を指定するとき
［10(0)］［1］［2］［5］［10(0)］［5］の順に押します。

※ 入力しなおすときは、［サーチ CH番号入力］を押して入力画面を消し、もう一度［サーチ CH番号入力］を押してください。

音声切換をする

● 音声多重のビデオサービスでは、主音声と副音声が同時に聞こえます。

● 音声多重の場合は、［音声切換］を押すたびに、以下のように切り換わります。

主：副 ➡ 主音声 ➡ 副音声（➡ 主：副に戻る）

※ ビデオの視聴を終了すると「主：副」に戻ります。

● 放送の種類によっては、音声多重以外に、「音声1」「音声2」など複数の音声に切り換わる場合があります。

ビデオ再生開始前の画面に戻るには

❶ **［戻る］または［■］を押す**

ビデオなどの情報を見るには

❶ **［画面表示］を押す**

● 情報表示を消すには、もう一度［画面表示］を押します。

ご確認ください

以下のような場合は故障ではありません

BS・110度CSデジタル放送での一時的な映像障害

- アンテナへの積雪や豪雨などで電波が弱くなったときには、映像にノイズが多くなったり、映らなくなったりすることがあります。

キャビネットからの「ピシッ」というきしみ音

- 「ピシッ」というきしみ音は、部屋の温度変化でキャビネットが伸縮するときに発生する音です。画面や音声などに異常がなければ心配ありません。

本機内部からの「カチッ」という音

- 本機（チューナー）は、電源が「待機」のときに番組情報取得などの動作をします。このときに、本機内部から「カチッ」という音が聞こえることがあります。

本機内部からの「ジー」という音

- 本機（モニター）から「ジー」という液晶パネルの駆動音が聞こえる場合がありますが、故障ではありません。

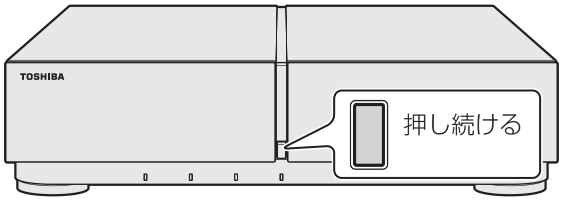
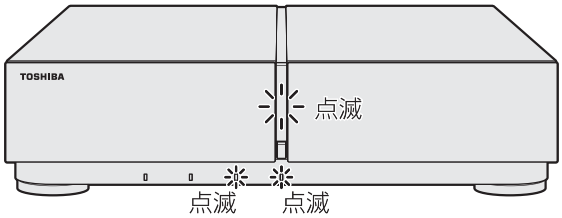
⚠ 警告

■ 修理・改造・分解はしない
内部には電圧の高い部分があり、感電・火災の原因となります。
内部の点検・調整および修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

- 電源プラグがはずれたり、アンテナなどに異常があったりすると本機の故障と間違えることがあります。
修理を依頼される前に以下のことをお調べください。

基本操作

このようなとき	確認事項	対処のしかた・その他
電源がはいらない	• 正しく接続されていますか。	• 電源プラグがコンセントに正しく差し込まれているか確認してください。 • モニターとチューナーが付属のHDMIケーブルで接続されているか確認してください。（準備編 31）
	• モニターの「電源」表示が消えていませんか。	• モニターの「電源」表示が消えているときは、リモコンの操作はできません。チューナーまたはモニターの電源ボタンを押してください。
	• 「電源」表示が赤色に点滅していますか。	• 本機（点滅しているモニターまたはチューナー）の電源プラグをコンセントから抜き、一分以上たってからもう一度コンセントに差し込んでください。 この対処をしても「電源」表示が点滅しているときは、本機に何かしらの異常が起きています。電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店にご相談ください。
リモコンが動作しない	• 乾電池の極性（＋、－）が逆向きになっていませんか。	• 極性（＋、－）を正しく入れてください。（準備編 32）
	• リモコンの登録をしましたか。	• 本機のリモコンは本機に登録しないと使用できません。「リモコンの登録」（準備編 34）をしてください。
	• 乾電池が消耗していませんか。 • 乾電池が消耗していると、 ⇒ 動作しなかったり、動作しにくくなったりします。 ⇒ リモコンの登録ができないことがあります。 ⇒ ボタンでの操作ができてもタッチパッドの操作ができないことがあります。 ⇒ 呼出機能が動作しないことがあります。	• 新しい乾電池に交換してください。（準備編 32） （動作しない場合は、10 のリモコン側のタッチパッド機能の停止設定や呼出機能オン・オフの設定もご確認ください）
	• 近くで電子レンジなどを使用中ではありませんか。	• 近くに使用中の電子レンジや無線装置があると、リモコンの操作ができないことがあります。
	• 本体のボタンで音量調整などの操作ができますか。	• 上記および左記の内容を確認してもリモコンで操作ができない場合は、次ページのリセットの操作をしてみてください。 • それでも動作しない場合はリモコンの故障が考えられます。お買い上げの販売店にご相談ください。

このようなとき	対処のしかた・その他
すべての操作ボタンが動作しない	● 以下の操作で本機をリセットしてください。 ① チューナーの電源ボタンを押し続ける  ② チューナーの表示ランプが点滅を開始したら、電源ボタンを放す  ● しばらくすると点滅が止まり、本機が再起動します。 ● 画面に、「リセット機能により、再起動を行いました。」のメッセージが表示されます。

映像

このようなとき	確認事項	対処のしかた・その他
放送の映像が出ない	• アンテナ線がはずれていませんか。	• アンテナ線を正しく接続してください。（準備編 28 ～ 30 ）
	• アンテナ、アンテナ線が破損、または断線していませんか。	• アンテナ、アンテナ線を確認してください。
	• アンテナは正しい方向に向いていますか。	• アンテナを正しい方向に向けてください。
	• 音声は出ていますか。	• 音声が出ている場合は、本体の電源ボタンで電源を切り、もう一度電源を入れてください。
	• チューナーとモニターが付属のHDMIケーブルで正しく接続されていますか。	• チューナーとモニターを正しく接続してください。 • HDMIケーブルのコネクターが抜けかかっていないか確認してください。（準備編 31 ）
映像や番組表などが表示されるまでに時間がかかる	• 本体の電源ボタンで電源「入」にしましたか。	• 本体の電源ボタンで電源「入」にしたときは時間がかかります。（リモコンで電源「入」にしたときよりも時間がかかります）
	• 別の放送メディアのチャンネルを選局しましたか。	• 別の放送メディアのチャンネルを選局した場合は映像が表示されるまでやや時間がかかります。
接続した機器の映像が出ない	• 接続コードが正しく接続されていますか。	• 接続した映像コードの入力、出力が合っているか確認してください。
	• チューナーとモニターが付属のHDMIケーブルで正しく接続されていますか。	• チューナーとモニターを正しく接続してください。 • HDMIケーブルのコネクターが抜けかかっていないか確認してください。（準備編 31 ）
	• 入力切換は合っていますか。	• 外部機器を接続した入力端子をリモコンの 入力切換 や ゲーム で選んでください。 26
色がつかない、色がおかしい、画面が暗い	• 希望の映像メニューや映像調整になっていますか。	• 「映像メニュー」 37 を確認してください。 「映像メニュー」を選択してもご希望の映像にならない場合は「お好み調整」（「映像調整」） 38 でご希望の映像に調整します。
雪や雨が降ったような画面になる 	• アンテナの向きがずれていませんか。 • アンテナ線がはずれたり、切れたりしていませんか。	• アンテナの向き、アンテナ線の接続（準備編 28 ～ 30 ）に問題がない場合は、チャンネル設定が正しいか確認してください。

ご確認ください つづき

このようなとき	確認事項	対処のしかた・その他
画面にはん点が出る 	• 平行フィーダー線(準備編29☞お知らせ)を使っていませんか。	• 自動車、オートバイ、電車、高圧線、ネオンサイン、クリーナー、ヘアードライヤーなどからの妨害が原因と考えられます。 • アンテナ線は同軸ケーブルをご使用ください。 ※ 上記の対処で直らない場合は、お買い上げの販売店などにご相談ください。
画面にしま模様が出る 	• 平行フィーダー線を使っていませんか。	• 近くのテレビやパソコン、テレビゲーム、ビデオ、オーディオ機器、DVD機器、携帯電話などや無線局などからの電波の混信が考えられます。 • アンテナ線は同軸ケーブルをご使用ください。 ※ 上記の対処で直らない場合は、お買い上げの販売店などにご相談ください。

音声

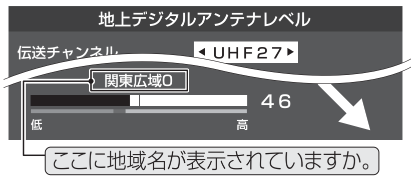
このようなとき	確認事項	対処のしかた・その他
本機から音声が出ない	• 音量が最小になっていませんか。	• [+音量−]で音量を上げてください。11☞
	• 画面に「消音」マークが表示されていませんか。	• [消音]を押せば消音を解除できます。11☞ ([+音量−]を押しても解除されます)
	• 「センタースピーカーモード」(準備編45☞)を「オン」に設定していませんか。	• 「センタースピーカーモード」を「オン」に設定した場合は、外部接続したAVシステム機器から音声が出るようにしてください。(以下の「AVシステム機器からテレビの音声が出ない」の場合の内容をご覧ください)
AVシステム機器からテレビの音声が出ない	• AVシステム機器の電源が「入」になっていますか。	• AVシステム機器の電源を入れてください。
	• 本機の光デジタル音声出力端子または音声出力(固定)端子とAVシステム機器の音声入力端子が正しく接続されていますか。	• 本機と機器を正しく接続してください。 (準備編42☞、43☞)
	• AVシステム機器側で、本機から入力した音声を選択していますか。	• 機器の取扱説明書を参照して、本機の音声出力を接続した入力を選んでください。
	• AVシステム機器はレグザリンクに対応していますか。(準備編135☞)	• レグザリンクに対応していないAVシステム機器の場合や、音声出力(固定)端子で接続している場合は、機器側で音量を調節してください。 • レグザリンクに対応しているAVシステム機器の場合は、「HDMI連動設定」(準備編52☞)の「HDMI連動機能」と「AVシステム連動」を「使用する」に設定してください。
	• モニターの入力(ゲーム)を選択していませんか。	• モニターの入力(ゲーム)からの音声は、チューナーの光デジタル音声出力端子や音声出力(固定)端子から出力されません。
本機のスピーカーをセンタースピーカーとして使用(設定)しているが、音声が出ない	• 外部アンプのセンター出力が本機に正しく接続されていますか。	• 本機と機器を正しく接続してください。 (準備編43☞) • 接続が正しい場合でも、AVアンプからセンター出力の音声信号が出力されていないときは、本機のスピーカーから音声は出ません。
ときどき音声が出ない、音がとぎれる	• 地上アナログ放送の電波が弱いチャンネルではありませんか。	• 「無信号消音設定」を「オフ」にしてください。(準備編85☞)

デジタル放送関係

デジタル放送全般

このようなとき	確認事項	対処のしかた・その他
デジタル放送だけが映らない	• B-CASカードが正しく挿入されていますか。（カードの上下や裏表は正しいですか）	• B-CASカードを挿入しないと、放送や「放送局からのお知らせ」の受信ができません。B-CASカードを正しい向きで入れてください。 • 挿入口1に赤カード、挿入口2 ～ 6に青カードを入れてください。（準備編25ページ）
	• アンテナをさえぎる障害物はありませんか。 • アンテナ線がはずれていませんか。 • アンテナの向きがずれていませんか。	• お買い上げの販売店にご相談のうえ、アンテナの方向を確認・調整してください。（準備編75ページ、76ページ） • 地上デジタル放送に対応したアンテナ線が正しく接続されているかを確認してください。
	• BS/110度CS放送の場合、アンテナ電源供給が「供給しない」になっていませんか。	• マンションなどの共聴アンテナ以外ではアンテナ電源供給を「供給する」にします。（準備編75ページ）
映像や音声が（ときどき）出たり、出なかったりする 映像の動きが（ときどき）停止する	• 電波の種類（BS、110度CS、地上デジタル）に適合したアンテナを使用していますか。 • 衛星デジタル放送の場合、地域に適したサイズ（口径）のアンテナを使用していますか。	• 放送に適合したアンテナを使用してください。
	• アンテナをさえぎる障害物はありませんか。 • アンテナ線がはずれていませんか。 • アンテナの向きがずれていませんか。	• お買い上げの販売店にご相談のうえ、アンテナの方向を確認・調整してください。（準備編75ページ、76ページ） • デジタル放送に対応したアンテナ線が正しく接続されているかを確認してください。（準備編29ページ～30ページ）
	• 積雪や豪雨、雷などが発生していませんか。	• 天候が回復すれば、もとの状態に戻ります。
デジタル放送のチャンネルが変えられない	• チャンネルボタンを押すと「○○を録画しています。終了を押すと録画を中止します。」のメッセージが表示されますか。	• BS/110度CSデジタル放送の2番組同時録画中は、他のBS/110度CSデジタル放送チャンネルに切り換えられません。切り換えたい場合はメッセージに従って「終了」をしてください。（録画は中止されます）
有料放送が視聴できない	• B-CASカードは正しく入れてありますか。	• BS・CS・地上共用カード（赤カード）を挿入口1に正しい向きで入れてください。（準備編25ページ）
	• 有料放送を視聴するための手続きはお済みですか。	• 視聴手続きをしてください。
地上デジタル放送がまったく受信できない ※以下も含みます • 地上デジタル放送の番組表などが表示されない • 本体の放送切換ボタンを押しても地上デジタル放送に切り換わらない	• B-CASカードは正しく入れてありますか。	• B-CASカードを正しい向きで入れてください。 • 挿入口1に赤カード、挿入口2 ～ 6に青カードを入れてください。（準備編25ページ）
	• 地上デジタル放送用アンテナは正しく接続されていますか。	• 地上デジタル用アンテナの接続を確認してください。（準備編28ページ～29ページ）
	• アンテナの方向は正しいですか。	• 地上デジタル用アンテナを地上デジタルの放送局側に向けてください。 • お買い上げの販売店に相談のうえ、アンテナの方向を確認・調整してください。（準備編75ページ）
	• 「初期スキャン」をしましたか。	• 初期スキャンをしてください。（準備編77ページ） • 受信したチャンネルは番組表で確認できます。
	• お住まいの地域は地上デジタル放送の受信可能エリアですか。	• お近くの電気店などにお問い合わせください。以下のホームページのリンク先で確認することもできます。 www.toshiba.co.jp/regza/naruhodo/
	• 共聴システムをご使用の場合、共聴システムは地上デジタルに対応（パススルー方式）になっていますか。	• CATVの場合はご契約のCATV会社に、その他の場合は共聴システムの管理者にお問い合わせください。（CATVがパススルー方式でない場合はCATV用チューナーが必要な場合があります）

ご確認ください つづき

このようなとき	確認事項	対処のしかた・その他
引越をしたら、データ放送や文字スーパー表示が表示されなくなった	• データ放送用の地域設定は正しいですか。	• 新住所に合わせて「郵便番号と地域の設定」をしてください。（準備編 86 ）
引越しをしたら、地上デジタル放送が受信できなくなった	• 引越し後、地上デジタル放送の「初期スキャン」または「再スキャン」をしましたか。	• 県外に引越しをした場合は、「初期スキャン」（準備編 77 ）をしてください。 • 県内で引越しをした場合は、「再スキャン」（準備編 78 ）をしてください。 • 「初期スキャン」または「再スキャン」をしても受信できない場合は、上の「地上デジタル放送がまったく受信できない」の内容も確認してください。
一部の地上デジタル放送が受信できない	• 放送は行われていますか。	• 地上デジタル放送が行われているかをもよりの放送局にお問い合わせください。
複数のテレビで、リモコンボタンのチャンネルが異なっている	• 初期スキャンなどを異なる時間にしませんでしたか。	• 一部の東芝テレビや他社メーカーのテレビの場合は、チャンネルの割当てや枝番が同じにならないことがあります。 ※「チャンネル設定」の「手動設定」（準備編 80 ）でチャンネルの割当てを変更することができます。
複数のテレビで、枝番 12 が異なっている		
地上デジタルアンテナレベル画面では受信できるチャンネルがそれ以外のときには受信できない		• 地域名が表示されている場合は、再スキャンをしてください。（準備編 78 ） ※ 地域名が表示されている場合でも、背面が黒画面の場合は通常の選局では受信できません、 • 地域名が表示されていない場合は、検査放送です。通常の選局では受信できません。
リモコンボタンに設定した放送局が別の放送局に変わっている ※ 以前選局できた放送がなくなっている場合も含みます。	• 「本機に関するお知らせ」の中に「放送局からの変更がありました。」などのお知らせがありますか。	• 放送の運用規定などに基づいて、設定内容が変更される場合があります。「本機に関するお知らせ」の内容を確認してください。 111
チャンネル∧∨での選局時に同じ3ケタのチャンネル番号が複数表示される	• 枝番 12 で区別されているチャンネルではありませんか。	• 「番組説明」 15 で枝番の有無を確認してください。枝番があれば正常な動作です。
番組表を表示させても番組名などが表示されない場合や、実際の内容と合っていない場合が多い	—	• 「番組表を更新する」 18 の操作をしてください。情報取得には時間がかかる場合があります。 • チャンネルや番組の数によっては、すべてを表示できない場合があります。 • 番組表を最新にしておくために、本機の電源を毎日2時間以上待機状態にすることをおすすめします。
特定のチャンネルの映像や音声が出ない	• アンテナとの接続にデジタル放送に非対応のケーブルや機器などを使用していませんか。	• 携帯電話など本機の受信周波数帯域に相当する周波数を使用している機器の影響によって、映像や音声が出なくなる場合があります。 • デジタル放送に対応したケーブルや機器などをご使用ください。（準備編 29 、 30 ）
不自然なブロックノイズ（モザイク状のノイズ）が見えるときがある 	• 積雪や豪雨、雷などが発生していませんか。 • 特に動きの激しい画面でブロックノイズが見えますか。	• デジタル放送受信の特性上、発生することがあります。以下の場合は故障ではありません。 • 降雨対応放送の映像の場合 • 悪天候などで、受信状態が悪化した場合 • 画面の激しい変化に映像処理が対応できない場合
検索ナビでキーワードや人物が選択欄に表示されない	—	• 人物やキーワードの抽出は深夜に行われます。深夜に本機の電源を「待機」にしておくことで、表示されるようになることがあります。（すべてが抽出されることを保証するものではありません）

お知らせ

このようなとき	確認事項	対処のしかた・その他
「お知らせ」アイコンが消えない	• 「お知らせ」の内容を確認しましたか。	• 「お知らせ」を表示させると消えます。111
未読の「お知らせ」がなくなっている ・放送局からのお知らせ ・本機に関するお知らせ ・ボード	• 「設定の初期化」をしませんでしたか。	• 「設定の初期化」（準備編 95）をすると「お知らせ」は削除されます。
	• 「お知らせ」は最大件数を超えていませんか。	• 「放送局からのお知らせ」、「本機に関するお知らせ」は、最大数を超えて受信した場合は、未読でも自動的に削除されることがあります。
	• 「ボード」については、そのとき受信したものしか表示されません。	—
「放送局からのお知らせ」が受信できない	• B-CASカードは正しく入れてありますか。	• B-CASカード（赤カード）を正しい向きに入れないと「お知らせ」は受信できません。（準備編 25）

通信・双方向通信サービス・通信設定など

このようなとき	確認事項	対処のしかた・その他
イーサネット通信ができない(LAN端子を使った双方向サービスができない)	• LAN端子は正しく接続されていますか。	• 接続を確認してください。（準備編 71）
	• 「LAN端子設定」は正しく行われていますか。	• LAN端子設定を確認してください。（準備編 73） • 最後に「接続テスト」で、正しく通信できているか確認してください。（準備編 74）
ダイヤルアップ通信ができない	• 電話回線は正しく接続されていますか。	• 「通信環境設定」を「イーサネット優先」に設定してください。（準備編 73）
通信速度が遅い、不安定	• 接続ケーブルが長すぎませんか。	• ケーブルが長すぎると通信速度が遅くなる場合があります。短い接続ケーブルに換えてください。
	• 回線が混んでいるためではありませんか。	• イーサネット通信の場合、通信環境によるもの（ADSLの場合、局から遠いなど）ではありませんか。 • 接続機器の使用状況によっては、通信速度が遅くなる場合があります。（データ量が多い場合など） • 時間をおいてから通信をしてみてください。 ※ 通信速度は、インターネット接続業者にご相談ください。
通信が切れてしまう	• 通信切断前の確認画面表示を「表示しない」に設定していませんか。	• 「接続確認メッセージ設定」を「表示する」に設定すれば、通信切断前に確認画面を表示させることができます。（準備編 70）

ご確認ください つづき

録画・再生・予約

内蔵ハードディスクの場合

このようなとき	確認事項	対処のしかた・その他
内蔵ハードディスクを使用できない	• 本機の使用中や、チューナー前面の「ハードディスク」表示が点灯しているときに、停電や雷などによる瞬間的な停電、電源プラグを抜く、ブレーカーを落とすなどで、電源が切れませんでしたか。	• 機器の初期化（準備編64☞）をしてください。それでも使用できない場合はハードディスクの交換が必要です。お買い上げの販売店にご相談ください。
内蔵ハードディスクに録画した番組が消えた		• 左記の場合、録画した番組が消える場合があります。録画した番組がすべて消えた場合や、ハードディスクが動作しない場合は機器の初期化（準備編64☞）をしてください。それでも使用できない場合は、ハードディスクの交換が必要です。お買い上げの販売店にご相談ください。
	• 内蔵ハードディスク3、4の用途設定（タイムシフトマシン録画用または通常録画用）を変更しませんでしたか。	• 用途の設定を変更すると、内蔵ハードディスク3、4の録画番組は消去されます。
タイムシフトマシン録画番組が消えた	• タイムシフトマシン録画のチャンネルを変更しませんでしたか。	• タイムシフトマシン録画から解除されたチャンネルの録画番組は消去されます。
内蔵ハードディスクに録画できない（再生はできる）	• 本機のハードディスクの残量が足りていますか。	• 不要な番組を削除してください。
	• コピー禁止の番組ではないですか。	• 番組説明で確認してください。
	• 録画機器が内蔵ハードディスク以外に設定されていませんか。	• 「録画設定」で録画機器を「内蔵ハードディスク」に変更してください。
	• 電波の受信状態が不安定ではないですか。	• アンテナの接続を確認してください。（準備編28☞～30☞）（電波の受信状態が不安定な場合は録画できないことがあります）
	• 2番組同時録画をしていませんか。	• 2番組同時録画中に、さらに録画をすることはできません。
再生中に不自然なブロックノイズが見えるときがある	—	以下の場合に発生することがありますが、故障ではありません。 • もとの映像にブロックノイズがすでにある状態での録画の場合。 • 天候などによって、受信状態が悪化した状態での録画の場合。 • 画面の激しい変化に画像処理が対応できない場合。 • 内蔵ハードディスクのディスク上のエラーによる場合。（内蔵ハードディスク寿命で大量に発生する場合は、内蔵ハードディスクの交換が必要です。お買い上げの販売店にご相談ください）

USBハードディスクの場合

このようなとき	確認事項	対処のしかた・その他
USB(録画専用)端子に接続したUSBハードディスクが機器選択画面に表示されない	• USBハードディスクの電源がはいっていますか。	• 電源を入れてください。
	• USBハードディスクを接続した直後ではありませんか。	• USBハードディスクを本機に接続してから自動登録されるまで1分ほどかかります。
	• USBハードディスクが正しく接続・設定されていますか。	• 正しく接続・設定してください。(準備編 53 ～ 55)
録画先に指定したUSBハードディスクに正しく録画できない	• 録画先に指定したUSBハードディスクが機器選択画面に表示されていますか。	• 表示されない場合は、上の「USB(録画専用)端子に接続したUSBハードディスクが機器選択画面に表示されない」の内容を確認してください。
	• 録画先に指定したUSBハードディスクに十分な残量がありますか。	• 残量が少ない場合は、不要な番組を消すか、または残量のある録画先を選択してください。
USBハードディスクを使用できない	• 使用したい機器が機器選択画面に表示されていますか。	• 表示されない場合は、上の「USB(録画専用)端子に接続したUSBハードディスクが機器選択画面に表示されない」の内容を確認してください。 • それでも使用できない場合は、以下の操作をしてください。 ① 電源を「待機」にする ② USBハードディスクを本機からとりはずす ③ USBハードディスクを本機に接続する ④ 電源を「入」にする
USBハードディスクに録画した番組が消えた	• USBハードディスクを使用中に停電や雷などによる瞬間的な停電、USBハードディスクの電源プラグを抜く、ブレーカーを落とすなどで、電源が切れませんでしたか。	• 左記の場合、録画した番組が消える場合があります。録画した番組がすべて消えた場合や、USBハードディスクが動作しない場合は、機器の初期化(準備編 55)をしてください。

録画予約

このようなとき	確認事項	対処のしかた・その他
録画予約で、予約した番組が放送時間を繰り上げて放送されたが、「放送時間」を「連動する」に設定していたのに、連動して録画されなかった	—	• 本機は、放送時間の繰り上げには対応していません。
「連ドラ予約」が正しく録画できない	• 追跡キーワードや追跡基準は正しく設定されていますか。	• 「連ドラ予約」で、追跡キーワードや追跡基準を正しく設定し直してください。 57 ※ 番組情報を取得できていない場合、正しく設定できないことがあります。
	• 連ドラ予約と通常の録画予約が重複していませんか。	• 通常の録画予約を取り消してください。 85

ご確認ください つづき

HDMI連動機能

このようなとき	確認事項	対処のしかた・その他
推奨機器を接続しても連動動作できない	• 接続は正しいですか。	• 接続を確認してください。（準備編 41 、42 、48 ） • HDMIケーブルは、HDMIロゴ表示のついた規格に合ったものを使用してください。 • はじめてHDMI連動機能対応機器を接続したときや、接続を変更したときには、AVシステム機器に接続している機器も含めて、すべての機器が連動しているか（画面右上の接続機器表示に「HDMI連動」アイコンが表示されます）を確認してください。
	• 接続機器側の設定は正しいですか。 • 本機の設定は正しいですか。	• 接続機器側の設定を確認してください。 • 「レグザリンク設定」の「HDMI連動設定」を確認してください。（準備編 52 ）
	• 接続している機器はレグザリンク対応の東芝パソコンですか。	• パソコンを再起動してからHDMIケーブルをはずし、本機と接続し直してください。
本機のリモコンの操作と連動機器側の動作があわない	• 接続機器は本機の推奨機器ですか。	• 推奨機器を接続しているにもかかわらず、リモコンの操作と機器の動作が合わない場合は、接続機器側のリモコンで操作してください。
接続したAVシステム機器の外部スピーカーから音が出ない	• 接続機器側の設定は正しいですか。 • 本機の設定は正しいですか。 • 本機との接続は正しいですか。	• AVシステム機器側の設定を確認してください。 • 「HDMI連動設定」の「AVシステム連動」を「使用する」に設定していますか。（準備編 52 ） • AVシステム機器の接続を確認してください。（準備編 42 ） ※ HDMIケーブル以外にオーディオケーブルを接続しないと、外部スピーカーからテレビの音は出ません。（準備編 42 ）
映像機器からの映像と、AVシステム機器からの音声が違う	• 映像機器とAVシステム機器が別々のHDMI入力端子に接続されていませんか。	• 映像機器をAVシステム機器のHDMI入力端子に接続してください。
	• 接続している映像機器は、レグザリンク対応の東芝レコーダーですか。	• 接続を確認し（準備編 41 ）、「機器選択」画面 87 で機器を選んでください。

DLNA認定サーバー、DTCP-IP対応サーバー関係（動画・写真・音楽再生）

このようなとき	確認事項	対処のしかた・その他
DLNA認定サーバーが「機器選択」画面に表示されない	• DLNA認定サーバーは正しく接続されていますか。	• 準備編 57 を参照して、正しく接続してください。（必ずルーターを通して接続してください）
	• 本機のLAN端子およびDLNA認定サーバーはIPアドレスを自動取得する設定になっていますか。	• 「通信接続設定」の「LAN端子設定」（準備編 73 ）で、「IPアドレス自動取得」を「する」に設定してください。 • DLNA認定サーバーについてはDLNA認定サーバーの説明書に従って設定してください。
	• IPアドレスが「192.168.XXX.XXX」、「172.16.XXX.XXX～172.31.XXX.XXX」または「10.XXX.XXX.XXX」になっていますか。	• 準備編 73 の手順でIPアドレスを確認してください。ほかのIPアドレスに設定されたものは、本機に接続できません。
	• ルーターのIPアドレスが「192.168.XXX.XXX」、「172.16.XXX.XXX～172.31.XXX.XX」または「10.XXX.XXX.XXX」範囲で割り当てる設定になっていますか。	• ルーターの説明書に従って、左記のIPアドレスがDLNA認定サーバーと本機に割り当てられるように設定してください。
	• 複数のDLNA認定サーバーを接続していますか。	• 2台目以降のDLNA認定サーバーが「機器選択」画面に表示されるまで15分程度かかることがあります。 • 「機器選択」画面を終了して、もう一度「機器選択」画面を表示すると、機器が表示される場合があります。
動画リスト（または写真リスト、音楽リスト）が表示されない	• DLNA認定サーバーによっては、アクセス後一定時間が経過しないと動画リスト（または写真リスト、音楽リスト）を表示できないことがあります。	• しばらくお待ちください。
	• DLNA認定サーバーのアクセス制限は正しく設定されていますか。	• DLNA認定サーバーによってはMACアドレスによるアクセス制限をしている場合があります。DLNA認定サーバーの説明書に従って正しく設定してください。 ※ 本機のMACアドレスは、「通信接続設定」（準備編 74 ）で確認することができます。
DLNA認定サーバーのコンテンツが見られない	• DLNA認定サーバーが公開しているコンテンツは、本機が再生できる種類のものですか。	• 本機が再生できるコンテンツのフォーマットは、準備編 56 に記載のとおりです。DLNA認定サーバーが公開しているコンテンツのフォーマットは、DLNA認定サーバー側で確認してください。

ご確認ください つづき

写真再生関係

このようなとき	確認事項	対処のしかた・その他
USB機器やSDメモリーカードの画像が見られない	• 本機のUSB端子に正しく接続していますか。	• USB機器の接続を確認してください。(準備編 49)
	• SDメモリーカードが正しく挿入されていますか。	• SDメモリーカードを正しく挿入してください。 7
	• 本機で再生できる写真ですか。	• 「再生できる写真」 77 を確認してください。
	• 本機で使用できる機器ですか。	• 「対応できるファイルシステム」、「使用できるSDメモリーカード」、「対応できるUSB機器の規格」 77 を確認してください。 • すべてのUSB機器の動作を保証することはできません。
	• USBハブを使って接続していませんか。	• USB機器を直接接続してください。
	• USB延長ケーブルを使って接続していませんか。	• USB延長ケーブルは使用しないでください。
	• USB機器の接続設定を変更できますか。	• USB機器の接続設定を変更してみてください。(変更方法はUSB機器の取扱説明書で確認してください)
	• 表示モードは「すべて表示」ですか。	• 表示モード切換をしてください。(第1階層にDCIMフォルダがない場合、「すべて表示」はできません)
USB機器やSDメモリーカードの一部の画像が見られない	• 同じ階層内に1000以上のファイルが保存されていませんか。	• パソコンやデジタルカメラなどで不要なファイルを削除してください。
	• ファイル名やフォルダ名に長い名前のものがありませんか。	• ファイル名を短くしてください。 ※ 見たい写真のファイル名とそのファイルが収容されているフォルダ名の合計文字数を200文字以内にしてください。
画像が表示されるのが非常に遅い	• USB機器の接続設定を変更できますか。	• USB機器の接続設定を変更してみてください。(変更方法はUSB機器の取扱説明書で確認してください)
	• ファイルサイズが大きすぎませんか。	• ファイルサイズを小さくしてください。 ※ パソコンなどで加工や編集をした写真は、再生できないことがあります。
写真再生で表示モード切換ができない	• USB機器の接続設定を確認してください。	• USB機器の接続設定がPC接続モードの場合、またはSDメモリーカード挿入口に挿入したSDメモリーカードの場合に表示モード切換ができます。
	• DLNA認定サーバーを選択していませんか。	• DLNA認定サーバーを選択しているときは、表示モードの切換えはできません。
	• 内蔵ハードディスクの名画を見ていませんか。	• 名画を見ているときは、表示モードの切換えはできません。
	• 第1階層にDCIMフォルダはありますか。(SDメモリーカードも対象です)	• 第1階層にDCIMフォルダがない場合、「すべて表示」のモードには切り換えられません。

ブロードバンド関係

このようなとき	確認事項	対処のしかた・その他
ブラウザ画面が表示されない	• プロバイダーなどとの契約はお済みですか。	• 契約、費用などについては、プロバイダーまたはお買い上げの販売店にご相談ください。
	• LAN端子は正しく接続されていますか。	• 「LAN端子の接続」(準備編 71)で、正しく接続してください。
	• ブロードバンドを利用するための設定は正しいですか。	• 「通信接続設定」(準備編 73)で、「通信環境設定」と「LAN端子設定」をしてください。
音声が出ない	• ブロードバンドの音声は出力されません。	–
リモコンボタンの反応が悪い	• Webサイトのデータ読込中などは、リモコンボタンの反応が悪くなる場合があります。	–

エラーメッセージについて

全般 （代表的なもの）

画面に出るエラー表示	考えられる原因など	対処のしかた・その他
「電波の受信状態が良くありません。クイックメニューから降雨対応放送に切り換えられます。コード：E201」	• 気象条件などによって信号レベルが下がり、降雨対応放送切換が可能な状態になった。	• 降雨対応放送に切り換えることができます。111
「アンテナ接続か受信環境に問題があるためご覧になれません。 ケーブルをつなぎ直すかアンテナ再調整などをしてください。 【青】ボタンでアンテナレベルをご確認ください。 コード：E202」	• アンテナが放送に適合していない。 • 雨や雷、雪などの気象条件によって一時的に受信できない。 • アンテナ線がはずれたり、切れたりしている。 • アンテナの設定が合っていない。 • アンテナの方向ずれや故障。 • 電波が弱くて視聴できない。	• 放送に適合したデジタル放送用アンテナであることを確認してください。 • アンテナの接続や設定が合っているか確認してください。（準備編 28～30、75～76） • アンテナ線を確認してください。 ※ 選局したチャンネルでの放送が休止中の場合も表示することがあります。
「現在放送されていません。コード：E203」	• 選局したチャンネルでの放送が休止中になっている。 • 放送が終了している。	• 番組表などで放送時間を確認してください。 • 放送中のチャンネルを選局してください。 ※ 雨や雷、雪などの気象条件によって一時的に受信できない場合も表示することがあります。
「該当するチャンネルはありません。 コード：E204」	• 放送のないチャンネルを選局した。	• 番組表などでチャンネルを確認してください。
「B-CASカード挿入口1にカードが入っていません。 BS・CS・地上共用カード(赤カード)を入れてください。」	• B-CASカード挿入口１にB-CASカードが挿入されていない。	• B-CASカード挿入口１にBS・CS・地上共用カード(赤カード)を挿入してください。
「B-CASカード挿入口Xにカードが入っていません。 地上デジタル専用カード(青カード)を入れてください。」	• B-CASカード挿入口２～６のいずれかにB-CASカードが挿入されていない。	• 指定されたB-CASカード挿入口に地上デジタル専用カード(青カード)を挿入してください。
「B-CASカード挿入口1にBS・CS・地上共用カード(赤カード)が入っていません。カードをご確認ください。」	• B-CASカード挿入口１にBS・CS・地上共用カード(赤カード)以外のカードが挿入されている。	• B-CASカード挿入口１にBS・CS・地上共用カード(赤カード)を挿入してください。
「B-CASカード挿入口Xにカードが正しく入っていません。 カードをご確認ください。」	• B-CASカード挿入口Xにカードが正しく挿入されていない。	• B-CASカードが正しく挿入されているか確認してください。

■ デジタル放送を受信中にメッセージが表示された場合

- メッセージ表示の中に、「【画面表示】を押し続けると消去」という文章が表示された場合は、画面表示を数秒間押し続けると、メッセージ表示を消すことができます。
- 「【画面表示】を押し続けると消去」の文章は、メッセージが表示されてから数秒後に自動的に消えます。
  この文章が消えたあとも、画面表示を数秒間押し続けると、表示されている他のメッセージ表示を消すことができます。

エラーメッセージについて つづき

内蔵ハードディスクに関するエラー表示やお知らせ

画面に出るエラー表示	考えられる原因など	対処のしかた・その他
「内蔵ハードディスクのエラーにより録画を中止しました。」	• 内蔵ハードディスクに一時的にエラーが発生した。	• 以下の操作でリセットをしてから、もう一度同じ操作をしてください。それでも同じエラー表示が出る場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。 ※ リセットのしかた ① チューナー前面の表示ランプがすべて消えるまでシャットダウンボタンを押し続ける ② 電源プラグをコンセントから抜き、約10秒後に差し込んで、電源を入れる
「ファンの異常により、録画を中止しました。」	• 本機内部の冷却ファンに一時的な異常が発生した。 • ファンが故障している。	
「ファンの異常により、内蔵ハードディスクが動作しません。」		

USBハードディスクに関するエラー表示

画面に出るエラー表示	考えられる原因など	対処のしかた・その他
「機器に接続できません。」	• 接続ケーブルが抜けている。 • USBハードディスクの電源がはいっていない。 • USBハードディスクにエラーが発生した。	• 接続を確認してください。（準備編 53 ） • USBハードディスクの電源を入れてください。 • USBハードディスクの電源を入れ直してください。
「再生できません。」	• 本機で対応しているファイルフォーマットではない。	• 本機では再生できません。
「USB端子の電源容量を越えました。接続機器をはずし、本体の電源ボタンで電源を切り、もう一度電源を入れてください。」	• USB過電流エラーが発生した。	• 以下の方法で復帰をしてください。 ① チューナー前面の表示ランプがすべて消えるまでシャットダウンボタンを押し続ける ② 電源プラグをコンセントから抜く ③ 本機に接続しているUSB機器をすべてはずす ④ 電源プラグをコンセントに差し込み、電源を入れる ⑤ 使用するUSBハードディスクだけを本機に接続する

東芝レコーダーに録画・予約をするときのエラー表示

画面に出るエラー表示	考えられる原因など	対処のしかた・その他
「録画機器で設定が変更されました。録画機器で設定内容をご確認ください。」	• 録画機器側で録画設定が変更されている。	• 録画機器で録画設定の内容を確認してください。
「録画機器の動作により設定できません。しばらく待ってからもう一度操作してください」	• 録画機器側の動作との競合(何らかの操作、動作、表示をしている)がある。	• しばらくしてからやり直すか、または、録画機器側の操作などを中止してください。
「録画機器の予約数がいっぱいです。」	• 録画機器側の予約数が制限を超えている。	• 録画機器で、予約を取り消してください。
「指定した時刻情報では予約を設定できません。」	• 録画機器側が対応していない形式で時刻を設定した。	• 録画機器の取扱説明書で、指定できる時刻の形式を確認してください。
「録画機器の予約時間と重複するため、設定できません。」	• 録画機器側の予約と、本機からの予約時間が重なっている。	• 録画機器で予約している時間帯は、本機からの予約はできない場合があります。
「録画機器に時刻が設定されていません。」	• 録画機器の時刻設定をしていない。	• 録画機器の時刻設定をしてください。
「予約を設定できませんでした。」 または 「録画を設定できませんでした。」	• 録画機器の電源がはいっていない。	• 録画機器の電源を入れてください。
	• 録画機器が正しく接続されていない。	• 本機と東芝レコーダーを正しく接続してください。(準備編 41☞) • HDMIケーブルは、規格に合ったケーブルを使用してください。

USB機器に関するエラー表示

画面に出るエラー表示	考えられる原因など	対処のしかた・その他
「機器(メディア)が接続されていません。」	—	• 本機が対応しているメディア、または機器を使用してください。
「機器(メディア)を認識できません。」	• 正常にフォーマットされていないメディアまたは機器が接続された。	• 本機が対応しているフォーマット形式のものを使用してください。
	• その他の原因。	• 本体の電源ボタンを押して電源を切り、機器を接続してから、もう一度本機の電源を入れてください。
「機器(メディア)にアクセスできません。」	• USB接続に異常が発生した。	• USB機器をはずしてから、もう一度接続してください。
「USB端子の電源容量を越えました。必要な機器のみ接続してください。」	• USB過電流エラーが発生した。(USB機器を多く接続している場合には、使用できなくなることがあります)	• 以下の方法で復帰させてください。 ① 電源を「待機」にする ② 本機に接続しているUSB機器をすべてはずす ③ 本機の電源プラグをコンセントから抜き、約10秒後に差し込んで電源を入れる ⑤ 使いたいUSB機器だけを接続する

エラーメッセージについて つづき

通信(電話回線やLAN端子を使った通信)に関するエラー表示 (代表的なもの)

画面に出るエラー表示	考えられる原因など	対処のしかた・その他
「ダイヤルトーンの検出ができませんでした。電話機コードが正しく接続されているかご確認ください。コード：C100」	• 電話がつながらなかった。	• 「電話回線への接続」と「電話回線の設定」(準備編 67 ～ 69)で、接続・設定の状態を確認してください。
「接続に失敗しました。電話回線の設定をご確認ください。コード：C103」	• 電話回線を使用した通信ができなかった。	
「サーバーと通信できませんでした。詳しくは取扱説明書をご覧ください。」	• サーバーからのダウンロードに失敗した。	• 回線が混みあっているなどの場合も考えられますので、しばらくたってから、もう一度操作してください。 • 接続・設定の状態を確認してください。(準備編 67 ～ 69)
「本機にルート証明書が設定されていないため、サーバーに接続できません。」	• 本機にルート証明書が設定されていない。	• ルート証明書番号(準備編 86)を確認し、東芝テレビご相談センター(裏表紙参照)にお問い合わせください。
「現在設定されているルート証明書ではサーバーの安全性を確認できないため、接続できません。」	• ルート証明書は本機内に設定されているが、接続先のサーバー証明書との検証が取れない。	• ルート証明書番号を確認し、正しいルート証明書であるかを東芝テレビご相談センター(裏表紙参照)にお問い合わせください。
「現在設定されているルート証明書の有効期限が切れているため、サーバーに接続できません。」	• ルート証明書の有効期限が切れている。	
「サーバーの証明書の有効期限が切れているため、接続できません。」	• 接続先の証明書が有効期限切れになっている。	• 接続先の安全性に問題があります。本機は、一部の接続先については、安全性の確認ができない場合、接続は行われません。(本機の動作は正常です)
「サーバーの証明書には表示するページの名前が含まれていないため、接続できません。」	• サーバー証明書に表示しようとしているページの名前がない。	
「サーバーの証明書の不正が検出されたため、接続を中断します。」	• 接続先の証明書が改ざんされている。	
「サーバーの証明書に問題があるため、接続を中断します。」	• 認証エラーが発生した。	
「接続できません。通信環境設定をご確認ください。」	• 本機の通信環境設定が正しく設定されていない。	• 「通信環境設定」を正しく設定し直してください。(準備編 73)

アクトビラ・Yahoo! JAPANに関するエラー表示（代表的なもの）

画面に出るエラー表示	考えられる原因など	対処のしかた・その他
「アドレスが正しくありません。」	• 処理できないスキーム（ftp,mailto,fileなど）を開こうとした。	• URLを確認してください。正しいURLを入力しても同様のメッセージが表示される場合、このページを見ることはできません。
「サーバが見つかりません。」	• HTTPリクエスト、リゾルブ中にDNSサーバーが見つからない。	• 「LAN端子設定」（準備編 73）の「DNS設定」が正しく設定されているか確認してください。
「サーバからの応答に含まれている認証パラメータが正しくありません。」	• 認証の際にHTTPヘッダが不正である。	• 左記の原因でこのページを表示できません。（もう一度接続しても同様の場合は、このページは見ることはできません）
「サーバからの応答が正しくありません。リダイレクトできません。」	• リダイレクトの際にHTTPヘッダが不正である。	• 左記の原因でこのページを表示できません。（もう一度接続しても同様の場合は、このページは見ることはできません）
「ページの安全性を確認できません。 サーバが証明書をサポートしていません。 接続しますか?」	• 証明書認証時にブラウザの証明DBに発行元のルートCA証明書がない。	• このページが安全であることを確認できませんでした。問題があるかわからない場合は、「キャンセル」を選んで表示しないでください。「OK」を選んだ場合は、そのままページが表示されます。
「ページの安全性を確認できません。 ルートCA 証明書の有効期限が切れています。 接続しますか?」	• ルートCA証明書の有効期限が切れている。	• このページが安全であることを確認できませんでした。問題があるかわからない場合は、「キャンセル」を選んで表示しないでください。「OK」を選んだ場合は、そのままページが表示されます。
「ページの安全性を確認できません。 サーバ証明書のCNがホスト名と一致しません。 接続しますか?」	• サーバ証明書のCN（一般名）がホスト名と一致しない。	• このページが安全であることを確認できませんでした。問題があるかわからない場合は、「キャンセル」を選んで表示しないでください。「OK」を選んだ場合は、そのままページが表示されます。
「ページの安全性を確認できません。 サーバ証明書の有効期限が切れています。 接続しますか?」	• サーバ証明書の有効期限が切れている。	• このページが安全であることを確認できませんでした。問題があるかわからない場合は、「キャンセル」を選んで表示しないでください。「OK」を選んだ場合は、そのままページが表示されます。
「メモリ不足のため、コンテンツを表示できませんでした。」	• 極度のメモリー不足状態から強制復帰した	• 他のウインドウを閉じてから「再読込み」をしてください。「再読込み」をしても同様のメッセージが出る場合は、このページを見ることはできません。
「ページがありません。」	• コンテンツが見つからなかった。	• このページを見ることはできません。

タイマーを使う

オンタイマーを使う

● 設定した時刻に本機の電源が「入」になります。オンタイマーは、デジタル放送を受信していない場合や、時刻情報を取得していない場合には使用できません。

1 クイック を押す

2 で「タイマー機能」を選び、決定 を押す

3 で「オンタイマー」を選び、決定 を押す

4 必要な項目を以下の操作で設定する



オンタイマー機能

● オンタイマーを使用するかどうかを設定します。

❶ で「オンタイマー機能」を選び、決定 を押す

❷ で「入」を選び、決定 を押す

● オンタイマーを設定したあとにオンタイマーを解除する場合は、上記の手順で「切」を選びます。

日時

● オンタイマーで本機の電源を「入」にする曜日と時刻を設定します。

❶ で「日時」を選び、決定 を押す

❷ 設定する欄を で選び、 で設定する

● 曜日は「毎日」、「毎週(日)」～「毎週(土)」、「月～木」、「月～金」、「月～土」の中から選びます。



❸ 設定が終わったら、決定 を押す

チャンネル

● オンタイマーで電源が「入」になったときに、画面に映すチャンネルを設定します。

❶ で「チャンネル」を選び、決定 を押す

❷ 設定する欄を で選び、 で設定する

- **放送の種類**…… 地デジ／ BS ／ CS
- **チャンネル**…… 設定した放送の種類に該当するチャンネル

❸ 設定が終わったら、決定 を押す

音量

● オンタイマーで電源が「入」になったときの音量を設定できます。

❶ で「音量」を選び、決定 を押す

❷ でお好みの音量を選び、決定 を押す

5 設定が終わったら、終了 を押す

● モニター前面の「オンタイマー」表示が青色に点灯します。

オフタイマーを使う

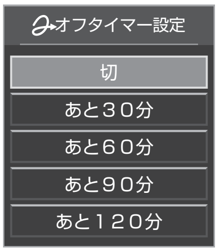
● オフタイマーを設定すると、設定時間後に電源が「待機」になります。

1 クイック を押す

2 で「タイマー機能」を選び、決定 を押す

3 で「オフタイマー」を選び、決定 を押す

4 で設定時間を選び、決定 を押す



● 電源が切れる1分前になると、画面にメッセージが表示されます。

● オフタイマーが設定されているときに クイック を押すと、クイックメニューの「タイマー機能」に電源が切れるまでの残り時間が表示されます。

● オフタイマーを設定したあとにオフタイマーを解除する場合は、上記の手順で「切」を選びます。

お知らせ

■「オンタイマー」について

● オンタイマーで電源がはいってから約1時間操作をしなかった場合には、電源が自動的に「待機」になります。

● オンタイマーと番組予約が重なっていた場合は、予約した番組のチャンネルで電源がはいることがあります。音量は、オンタイマーで設定した大きさになります。

■「オフタイマー」について

● 設定した時刻になる前に、電源を「待機」にしたりすると、設定が取り消されます。

● 本機で録画中にオフタイマーで設定した時間になると、画面の映像は消えますが、録画は録画時間の終了まで続けられます。

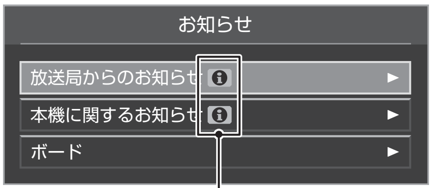
お知らせを見る

● お知らせには、「放送局からのお知らせ」、「本機に関するお知らせ」、「ボード」の3種類があります。
● 未読のお知らせ（「ボード」を除きます）があると、チャンネル切換時や 画面表示 を押したときに、画面に「お知らせアイコン」 15 が表示されます。

1 クイック を押す

2 で「お知らせ」を選び、決定 を押す

3 でお知らせの種類を選び、決定 を押す



未読のお知らせがある場合はオレンジ色で表示されます。

- **放送局からのお知らせ**……デジタル放送局からのお知らせです。
- **本機に関するお知らせ**……録画予約などについて本機が発行したお知らせです。
- **ボード**……………………110度CSデジタル放送の視聴者に向けたお知らせです。

4 読みたいお知らせを で選び、決定 を押す

5 確認が終わったら、終了 を押す

■「本機に関するお知らせ」を削除するには

※削除できるのは「本機に関するお知らせ」のみです。

❶「本機に関するお知らせ」の画面で、青 を押す

❷ で「はい」を選び、決定 を押す
※ 本機に関するお知らせがすべて削除されます。

降雨対応放送について

● BSデジタル放送、110度CSデジタル放送を視聴中に、雨や雪などで衛星からの電波が弱まったときには、放送局が運用していれば、降雨対応放送に切り換えて見ることができます。
● 以下のメッセージが表示された場合は、降雨対応放送に切り換えることができます。

> 電波の受信状態が良くありません。
> クイックメニューから降雨対応放送に切り換えられます。
> コード：E201

1 クイック を押す

2 で「その他の操作」を選び、決定 を押す

3 で「信号切換」を選び、決定 を押す

4 で「降雨対応放送切換」を選び、決定 を押す

5 で「降雨対応放送」を選ぶ

● 降雨対応放送をやめるには、「通常の放送」を選んでください。

お知らせ

■ お知らせについて
● 「放送局からのお知らせ」は、地上デジタル放送が7通まで記憶され、BSデジタル放送と110度CSデジタル放送は、合わせて24通まで記憶されます。放送局の運用によっては、それより少ない場合もあります。記憶できる数を超えて受信した場合は、古いものから順に削除されます。
● 「本機に関するお知らせ」は、既読の古いものから順に削除される場合があります。
● 「ボード」は110度CSデジタル放送のそれぞれに対し、今送信されているものが50通まで表示されます。

■ 降雨対応放送について
● 通常の放送よりも画質が低下します。
● 電波が強くなると、自動的に通常の放送に戻ります。
● 本機からの録画中に自動的に降雨対応放送に切り換わる場合があります。

文字を入力する

文字入力の手順

● 文字入力が必要な設定や操作をすると、文字入力画面が表示されます。

● たとえば、Yahoo! JAPANの「ページ内検索」91をするときには、検索する文字を以下の手順で入力します。



・キーワード入力欄を選んで［決定］を押すと、文字入力画面が表示されます。

・リモコン操作で文字を入力し、終わったら［決定］を押します。



・「ページ内検索」の画面に戻り、入力した文字が文字入力欄に表示されます。



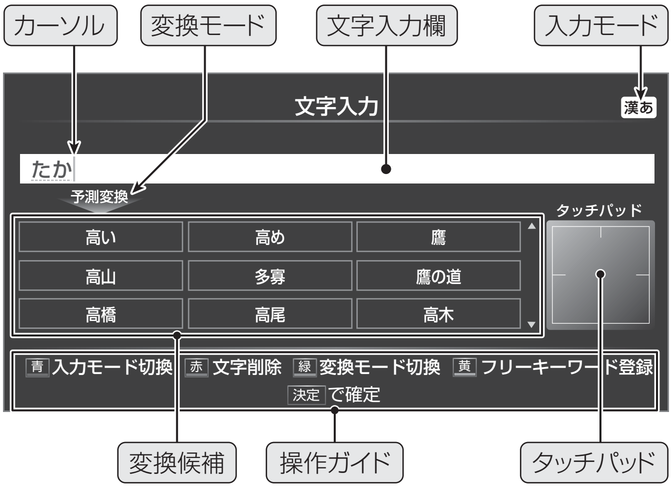
文字入力の方法

● リモコンの［1］～［12］で文字を入力する方法と、タッチパッドをなぞって文字を入力する方法の2種類があります。

- **ボタンで文字を入力する** 114
- **手書きで文字を入力する** 115

● 2種類の入力方法を併用することができます。（文字入力方法を切り換える操作はありません）

文字入力画面の構成



● **カーソル**
文字入力位置が縦の線で表示されます。

● **変換モード**（次ページ）
選択されている変換モードが表示されます。

● **文字入力欄**
入力した文字が表示されます。この中で入力・確定した文字が、元の操作場面（インターネットの「ページ内検索」など）に引き継がれます。

● **入力モード**（次ページ）
選択されている入力モードが表示されます。

● **変換候補**
入力した文字に対する変換候補が表示されます。

● **操作ガイド**
リモコンボタンの操作ガイドが表示されます。

● **タッチパッド**
リモコンのタッチパッドで手書入力した文字が表示されます。

ご注意
変換候補の中から確定する文字を選択する際に［決定］や［タッチパッド］を押します。
このときにタッチパッドに手や指が触れた状態で移動（こする、なぞる）すると、新たな文字入力となって変換候補が変わってしまうことがありますので、ご注意ください。
［dデータ］を押して手書入力機能を停止させることもできます。（文字入力画面のタッチパッド部分が薄く表示されるようにします）

変換モードを切り換える

- 本機には2種類の文字変換モードがあります。文字入力をしているときに、必要に応じて切り換えられます。
- 変換モードを切り換えるには、［緑］を押します。
  ［緑］を繰返し押すたびに、「予測変換モード」と「文節変換モード」が交互に切り換わります。
- 初期状態は「予測変換モード」です。「文節変換モード」に切り換えていた場合でも、文字入力を終了したときにリセットされます。

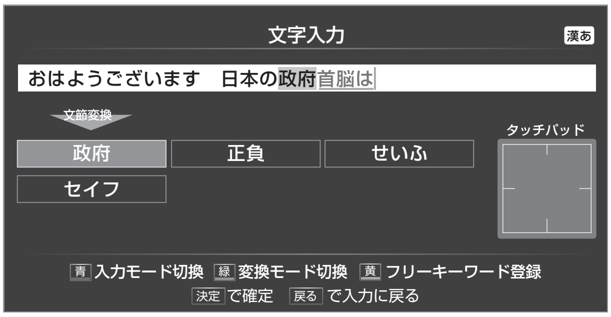
■ 予測変換モード

- 文字入力の途中で、予測可能な範囲の変換候補が表示されます。最後まで入力しなくても、目当ての候補があれば選択することができます。



■ 文節変換モード

- 文節単位で変換候補から選択します。



入力モードを切り換える

- ［青］を繰り返し押せば入力モードが切り換わります。

入力モード	表示	入力できる文字	手書入力可否
漢字変換モード	「漢あ」	ひらがな	○
全角カナモード	「カナ」	カタカナ	○
全角英字モード	「ａＡ」	全角の英字、数字	○
		全角の記号	※1
半角英字モード	「abAB」	半角の英字、数字	○
		半角の記号	※1
全角数字モード	「１２」	全角の数字	○
半角数字モード	「1234」	半角の数字	○
全角記号モード	「全角記号」	全角の記号	×
半角記号モード	「半角記号」	半角の記号	×
定型文モード	「定型文」	次ページ参照	×
フリーキーワード	ユーザー登録キーワード呼出		×

- 文字入力モードが「全角記号」、「半角記号」、「定型文」、「フリーキーワード」のときには、入力する記号や文字列を変換候補（選択候補）の欄から選びます。

※ 文字入力にジャンプする前の操作内容によって、入力モードが決まっていたり、選択できるモードが制限されたりすることがあります。

※1

全角英字モードの場合											
，	．	！	？	／	：	；	ー	＿	～	＠	␣（スペース）

半角英字モードの場合											
,	.	!	?	/	:	;	-	_	~	@	␣(スペース)

文字の挿入と削除

■ 文字を挿入するとき

- 文字を挿入する場所に［十字キー］でカーソルを移動させて、文字を入力します。

■ 文字を削除するとき

- ［赤］を短く押します。
  カーソルの右に文字がない場合は、カーソルより左の1文字が削除されます。カーソルの右に文字がある場合は、カーソルより右の1文字が削除されます。

■ 文字列が確定されている場合に［赤］を押し続けたとき

カーソルより右に文字列がない場合は、カーソルより左の文字がすべて削除されます。
カーソルより右に文字列がある場合は、カーソルより右の文字がすべて削除されます。

※ 手書入力の場合は、上記の操作のほかにタッチパッドの操作で文字の削除ができます。115☞

文字を入力する つづき

入力できる文字

リモコンボタン	文字入力モード															
	漢字変換					全角カナ					英字					数字
[あ1]	あ	い	う	え	お	ア	イ	ウ	エ	オ	1	2	3	4	5	1
	ぁ	ぃ	ぅ	ぇ	ぉ	ァ	ィ	ゥ	ェ	ォ	6	7	8	9	0	
[か2]	か	き	く	け	こ	カ	キ	ク	ケ	コ	a	b	c			2
						ヵ	ヶ				A	B	C			
[さ3]	さ	し	す	せ	そ	サ	シ	ス	セ	ソ	d	e	f			3
											D	E	F			
[た4]	た	ち	つ	て	と	タ	チ	ツ	テ	ト	g	h	i			4
	っ					ッ					G	H	I			
[な5]	な	に	ぬ	ね	の	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	j	k	l			5
											J	K	L			
[は6]	は	ひ	ふ	へ	ほ	ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ	m	n	o			6
											M	N	O			
[ま7]	ま	み	む	め	も	マ	ミ	ム	メ	モ	p	q	r	s		7
											P	Q	R	S		
[や8]	や	ゆ	よ			ヤ	ユ	ヨ			t	u	v			8
	ゃ	ゅ	ょ			ャ	ュ	ョ			T	U	V			
[ら9]	ら	り	る	れ	ろ	ラ	リ	ル	レ	ロ	w	x	y	z		9
											W	X	Y	Z		
[10]	゛	゜				゛	゜				小文字変換					0
	小文字変換					小文字変換										
[11]	わ	を	ん	ゎ	、	ワ	ヲ	ン	ヮ	、	※1					＊
	。	ー	␣(スペース)			。	ー	␣(スペース)								
[12]	※2 逆方向へ入力					※2 逆方向へ入力					※2 逆方向へ入力					#

● スペース(空白文字)は、[11](または全角記号モード、半角記号モードで選択)で入力します。(文字入力欄でカーソルを移動するだけでは、スペースが入力されたことにはなりません)

※1

全角英字モードの場合											
，	．	！	？	／	：	；	ー	＿	～	＠	␣(スペース)

半角英字モードの場合											
,	.	!	?	/	:	;	-	_	~	@	␣(スペース)

※2 文字入力変換中に文字を通り過ぎたときに、逆方向へ戻します。

全角記号モード											
␣	、	。	・	―	ー	「	」				

半角記号モード											
␣	,	.	!	?	:	;	"	'	`	^	_
+	-	/	*	#	~	¥	$	%	&	@	(
)	[	]	<	=	>	{	|	}			

● ␣、␣はスペースです。

定型文モード					
www.	.co.jp/	.ne.jp/	.ac.jp/	.or.jp/	.com/
http://	https://				

ボタンで文字を入力する

1 [あ1]～[12]を押して文字を入力する

● 文字入力欄(次ページの図参照)にカーソルがあるときに以下の操作をします。

入力例：がっこう

➡ [か2]、[10]、[た4](6回)、[か2](5回)、[あ1](3回)
が　っ　こ　う

● 濁点(゛)や半濁点(゜)を入力するには、文字に続けて[10]を押します。

● 拗促音などの小さい文字(っ、ゃ、ゅ など)にするには、大文字に続けて[10]を押す方法もあります。確定前であれば[10]を押すたびに大文字⇔小文字に切り換えられます。

● 同じボタンに割り当てられた文字を続けて入力する場合は、最初の文字を入力したあと、[▶]を押してから次の文字を入力します。

入力例：あい

➡ [あ1]、[▶]、[あ1](2回)
あ　い

● カーソルを移動するには、[◀▶]を押します。

※ 意図せずにタッチパッドをなぞると手書入力になることがあります。

2 以下の操作で確定する

■ 文字入力欄でひらがなのまま確定するとき

❶ [決定]を押す

■ 候補一覧から選んで確定するとき

❶ [▼]を押す

❷ [▲▼]で候補から選び、[決定]を押す

※ [決定]は1回だけ押します。2回押すと文字入力の終了になります。

● [決定]を押さないで、[あ1]～[12]で次の文字を入力した場合にも選択中の候補に確定されます。

3 手順1～2の操作を繰り返して、必要な文字を入力する

4 すべての入力が終わったら、[決定]を押す

● 文字入力をする前の操作場面に戻り、入力した文字が反映されます。

お知らせ

■ 入力した文字は、以下のように表示されます。
● 入力中の文字、未確定の文字：青
● 漢字変換候補選択中の文字：青背景
● 確定した文字：黒、背景なし

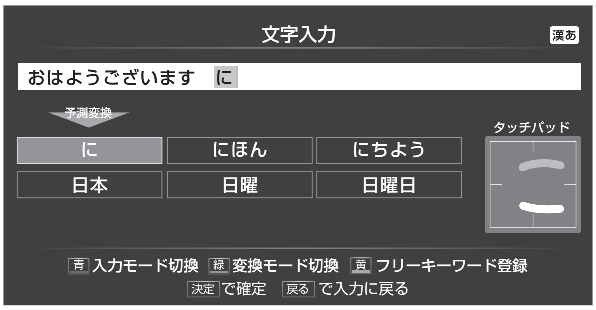
● 漢字候補選択時に[戻る]を押せば、その文節を未変換状態に戻すことができます。

手書きで文字を入力する

- 文字入力欄にカーソルがあるときに、タッチパッドをなぞれば手書きで文字を入力することができます。
- [dデータ]で手書入力機能の有効・無効が切り換えられるようになっています。手書入力をする場合は、[dデータ]を押して文字入力画面のタッチパッド部分が濃く表示されるようにします。

1 タッチパッドを指でなぞって文字を描く

- 入力モードに従った文字が入力できます。漢字を手書きすることはできません。
- 描いた文字の筆跡が文字入力画面の「タッチパッド」の部分に表示されます。

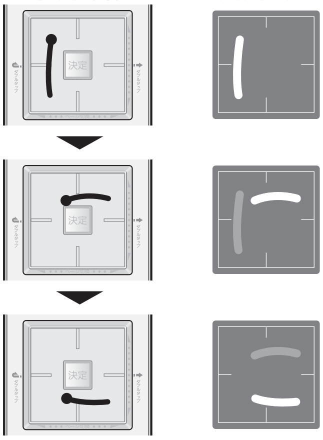


- カーソルを移動するには、[◁▷]を押します。

手書入力のポイント

- 一画描くたびに指を離してください。
- 一画描くと画面に筆跡が表示され、次の一画を描くと前の筆跡が薄くなって表示されます。
  図の●印は筆跡の始点を表します。

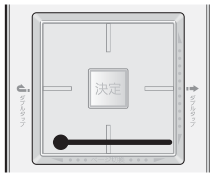
手書操作　　画面表示



  - 一画描くたびに文字入力欄の文字が変化しながら表示され、それに応じて変換候補も変化します。
- 正しい筆順で描いてください。筆順が違うと、正しく認識できないことがあります。
  次ページの一例を参考にしてください。
- タッチパッドからはみ出ない範囲で、できるだけ大きめに描いてください。
- アルファベットはブロック体で描いてください。
- 拗促音などの小さい文字(っ、ゃ、ゅ　など)は、タッチパッドの下半分に描いてください。
  [10]を押して、大文字⇔小文字の切換えをすることもできます。

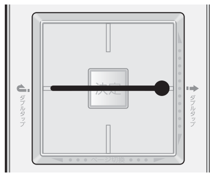
スペースを入力するとき

- タッチパッドの下側を右方向になぞります。

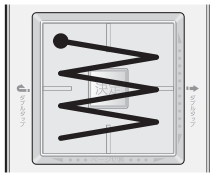


文字を削除するとき

- タッチパッドの中央を左方向になぞると、1文字だけ削除されます。



- 左右に3往復以上の折れ線を描くと、すべての文字が削除されます。



2 以下の操作で確定する

文字入力欄でひらがなのまま確定するとき

❶ [決定]を押す

候補一覧から選んで確定するとき

❶ [▽]を押す

❷ [◁▷]で候補から選び、[決定]を押す

※ [決定]は1回だけ押します。2回押すと文字入力の終了になります。

※ 手書きで英字を入力するモードでは、形が類似した文字候補が表示されることがあり、その中から選択することができます。



3 手順*1*～*2*の操作を繰り返して、必要な文字を入力する

4 すべての入力が終わったら、[決定]を押す

- 文字入力をする前の操作場面に戻り、入力した文字が反映されます。

文字を入力する つづき

手書文字入力例

● 以下は筆跡の一例です。図中の●印は筆跡の始点を表します。



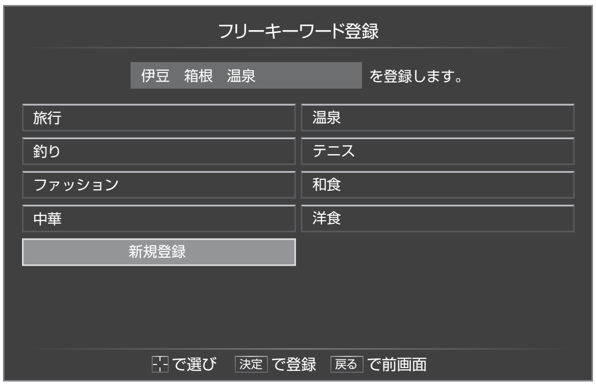
フリーキーワードを登録する

● 文字入力の操作で入力した文字列をフリーキーワードとして登録することができます。
● キーワードは14個まで登録できます。
● 一つのキーワードは全角15文字まで入力できます。

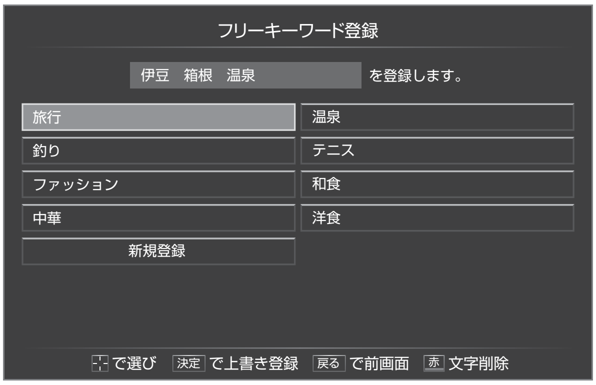
1 登録する文字列を確定して、黄を押す

2 ✥で登録先を選び、決定を押す

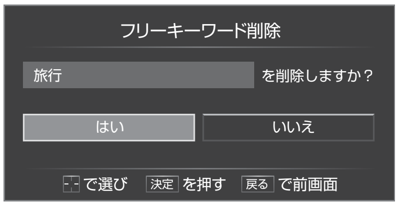
● 新たに登録する場合は、「新規登録」を選びます。



● すでに登録されているキーワードを書き換えるときは、そのキーワードを選びます。



● 登録されているキーワードを削除するときは、そのキーワードを選んで赤を押します。
確認画面で、✥で「はい」を選んで決定を押せば、選んだキーワードが削除されます。



フリーキーワードを呼び出して編集する

● 登録済のキーワードを呼び出して編集することができます。

1 文字入力モードを「フリーキーワード」にする

● 変換候補欄に登録済のキーワードが表示されます。

2 編集するキーワードを✥で選び、決定を押す

● 選択したキーワードが文字入力欄に追加されます。



3 文字を編集する

4 前記「フリーキーワードを登録する」の操作をする

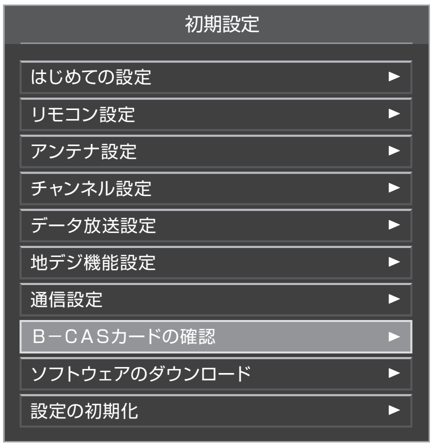
B-CASカードの情報を確認する

● B-CASカードの挿入状態や、ID番号などの情報を確認することができます。

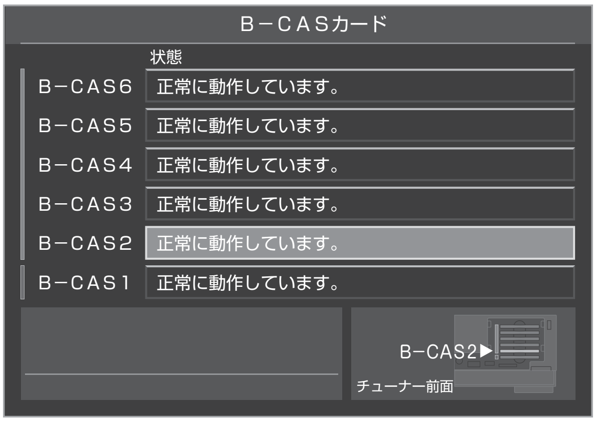
1 [設定メニュー]を押す

2 [十字キー]で「初期設定」を選び、[決定]を押す

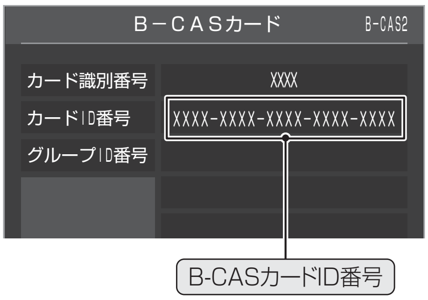
3 [十字キー]で「B-CASカードの確認」を選び、[決定]を押す



4 確認するB-CASカードを[十字キー]で選び、[決定]を押す



5 情報を確認したら、[戻る]を押す

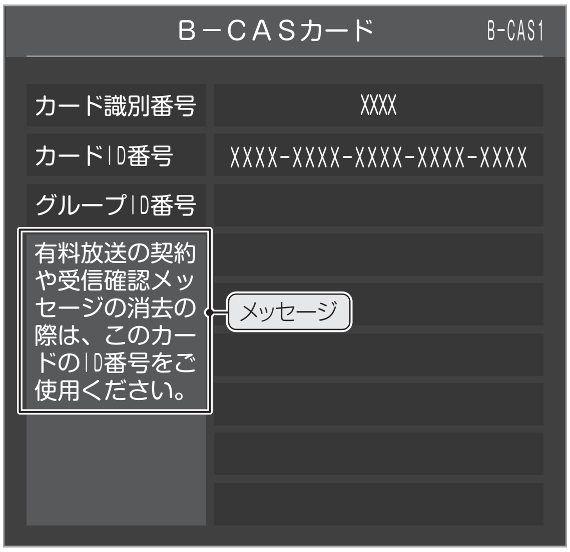


● ほかのB-CASカードを確認するには、手順***4***、***5***を繰り返します。

● 確認したB-CASカードのID番号を、「B-CASカードID番号記入欄」135に記入しておくと、B-CASカードのお問い合わせなどの際に便利です。

6 確認が終わったら、[終了]を押す

※ 有料放送の契約や、受信確認メッセージ消去などの際は、以下のメッセージが表示される画面のID番号をご使用ください。



ダウンロードについて

ダウンロード機能とは

- 本機のソフトウェアを更新する機能です。機能の追加や改善をします。
- ダウンロードには、下表の三つの種類があります。

BSや地上デジタルの放送波で送られる自動ダウンロード用ソフトウェアをダウンロードする	あらかじめ設定しておくことによって、自動ダウンロード用のソフトウェアが送られてきたときに、本機が自動的にダウンロードします。
BSや地上デジタルの放送波で送られる任意ダウンロード用ソフトウェアをダウンロードする	任意でダウンロードできるソフトウェアがある場合に、予約をしておくことでダウンロードできます。
東芝サーバーからソフトウェアをダウンロードする	インターネットを利用して、東芝サーバーからソフトウェアをダウンロードします。

放送波で送信されるソフトウェアをダウンロードする

- ダウンロードをするには、あらかじめ電源「入」の状態でBSまたは地上デジタル放送を数分間受信する必要があります。（本機がダウンロード情報を取得するためです）

自動ダウンロードの設定をする

- お買い上げ時は自動ダウンロードするように設定されています。「ダウンロードする」のまま、お使いいただくことをおすすめします。

1 設定メニューを押す

2 で「初期設定」を選び、決定を押す

3 で「ソフトウェアのダウンロード」を選び、決定を押す

4 で「放送からのダウンロード」を選び、決定を押す

5 で「自動ダウンロード」を選び、決定を押す

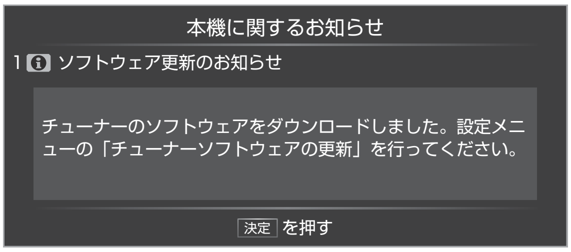
6 で「ダウンロードする」または「ダウンロードしない」を選び、決定を押す

- 青を押して自動ダウンロードの日時一覧を確認することができます。

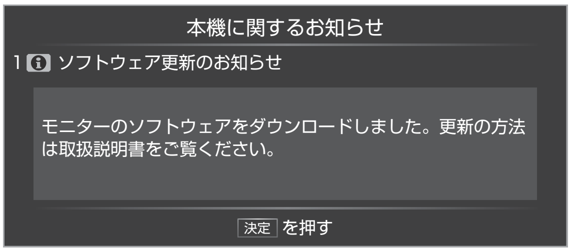
7 設定が終わったら、終了を押す

本機がソフトウェアをダウンロードしたとき

- 本機が更新用のソフトウェアをダウンロードすると、画面に「お知らせアイコン」が表示されます。
- 「お知らせを見る」111 の操作で内容を確認してください。（ダウンロードのお知らせは、「本機に関するお知らせ」として本機から発行されます）
- チューナーのソフトウェア更新と、モニターのソフトウェア更新の2種類の「ソフトウェア更新のお知らせ」があります。



- 次ページの「チューナーのソフトウェアを更新する」の操作をしてください。



- 「モニターのソフトウェアを更新する」120 の操作をしてください。

用語について

■ **ダウンロード**　本書の場合は、放送波やインターネットを使ってソフトウェアを本機に転送することをさします。
■ **ソフトウェア**　本書の場合は、本機内部の制御プログラムをさします。

お知らせ

- ダウンロードによって、一部の設定内容がお買い上げ時の状態に戻ったり、予約やお知らせが削除されたりする場合があります。
- 悪天候の場合や録画予約との重複などによってダウンロードが取り消された場合は、「本機に関するお知らせ」でお知らせします。

任意ダウンロードをする

● ダウンロードする場合は、以下の操作でダウンロードの予約をしてください。

1 前ページの「自動ダウンロードの設定をする」の手順 ***1***～***4***をする

2 で「ダウンロードの予約」を選び、決定を押す

3 ダウンロードの予約をする場合は、で「はい」を選び、決定を押す

4 で予約日時を選び、決定を押す

5 画面のメッセージを読み、決定を押す
● 予約できるダウンロードは一つです。

6 設定が終わったら、終了を押す
※ 予約の開始時刻の前までに電源を「待機」にしておいてください。

任意ダウンロード予約の日時を変更するには

❶上記の手順 ***1***～***3***の操作で、予約日時一覧の画面にする
❷変更後の日時をで選び、決定を押す
❸で「はい」を選び、決定を押す
❹画面のメッセージを読み、決定を押す
❺終わったら、終了を押す
※ 予約の開始時刻の前までに、電源を「待機」にしておいてください。

任意ダウンロード予約を取り消すには

❶上記の手順 ***1***～***3***の操作で、予約日時一覧の画面にする
❷予約済のダウンロード日時をで選び、決定を押す
❸画面のメッセージを読み、で「はい」を選び、決定を押す
❹終わったら、終了を押す

チューナーのソフトウェアを更新する

1 設定メニューを押す

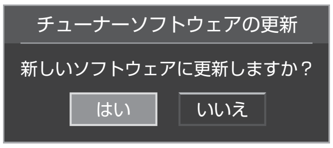
2 で「初期設定」を選び、決定を押す

3 で「ソフトウェアのダウンロード」を選び、決定を押す

4 で「放送からのダウンロード」を選び、決定を押す

5 で「チューナーソフトウェアの更新」を選び、決定を押す

6 ソフトウェアを更新する場合は、で「はい」を選んで決定を押す



● チューナーのソフトウェアの更新が始まります。
● ソフトウェアの更新中は操作できません。そのままで終了するまでお待ちください。

※ ソフトウェアの更新中に電源プラグを抜いたりすると、本機が使用できなくなることがあります。

7 「ソフトウェアを更新しました。」のメッセージが表示されたら、決定を押す
● 本機が再起動します。
● 「モニターのソフトウェアも更新してください。」のメッセージも表示されていた場合は、次ページの「モニターのソフトウェアを更新する」の操作をしてください。

お知らせ
● 任意ダウンロードの開始時刻に本機からの録画をしていると、ダウンロード予約は取り消されます。

ダウンロードについて つづき

モニターのソフトウェアを更新する

- モニターのソフトウェアを更新するにはUSBメモリーが必要です。以下のものをご用意ください。
  - 機器種別　：USBマスストレージクラス対応のUSBメモリー
  - 空き容量　：128MB以上
  - フォーマット：FAT12/FAT16/FAT32

モニターソフトウェアを書き出す

- はじめに、チューナーがタウンロードしたモニターのソフトウェアをUSBメモリーに書き出します。

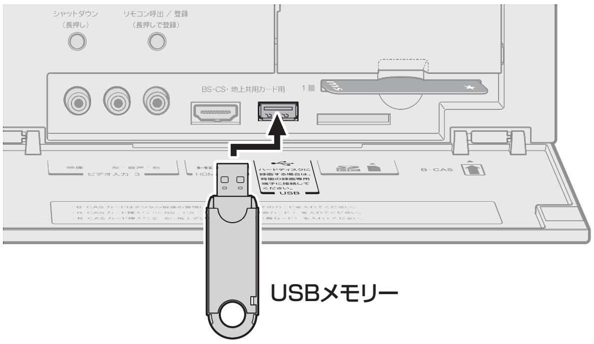
1 設定メニュー を押す

2 ▲▼ で「初期設定」を選び、決定 を押す

3 ▲▼ で「ソフトウェアのダウンロード」を選び、決定 を押す

4 ▲▼ で「モニターソフトウェアの書出し」を選び、決定 を押す

5 チューナー前面とびら内のUSB端子にUSBメモリーを挿入する



6 書出しをする場合は、◀▶ で「はい」を選んで 決定 を押す

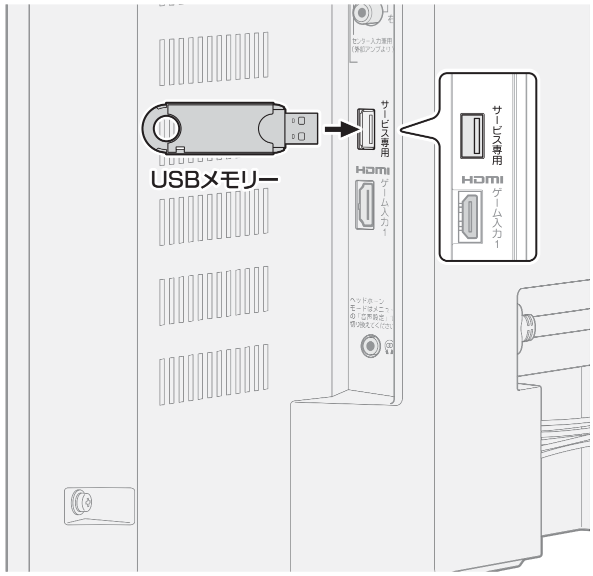
- モニターのソフトウェアの書出しが始まります。

7 「ソフトウェアの書出しを完了しました。」のメッセージが表示されたら、USBメモリーをチューナーから抜き、決定 を押す

モニターにソフトウェアを書き込む

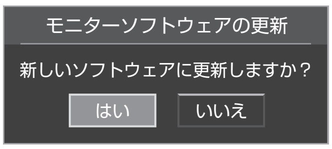
- チューナーでUSBメモリーに書き出したソフトウェアをモニターに書き込みます。

1 USBメモリーをモニターのサービス専用端子に挿入する



- 「モニターソフトウェアの更新」の画面が表示されます。

2 モニターのソフトウェアを更新する場合は、◀▶ で「はい」を選んで 決定 を押す



3 画面の説明を読み、決定 を押す

- モニターのソフトウェア更新が始まります。
- ソフトウェアの更新中は操作できません。そのままで終了するまでお待ちください。

※ ソフトウェアの更新中に電源プラグを抜いたりすると、本機が使用できなくなることがあります。

4 「ソフトウェアを更新しました。」のメッセージが表示されたら、USBメモリーをモニターから抜き、決定 を押す

- 本機が再起動します。

東芝サーバーからダウンロードする

- イーサネット通信を利用して東芝サーバーからソフトウェアをダウンロードして、本機内部のソフトウェアを更新します。
- あらかじめLAN端子の接続と設定が必要です。
（準備編 71 ～ 74 ）

1 設定メニュー を押す

2 で「初期設定」を選び、決定 を押す

3 で「ソフトウェアのダウンロード」を選び、決定 を押す

4 で「サーバーからのダウンロード開始」を選び、決定 を押す

5 ソフトウェアダウンロード確認画面で、で「はい」を選んで 決定 を押す

- ソフトウェアのダウンロードが始まります。

6 ソフトウェア更新確認画面で、で「はい」を選んで 決定 を押す

- ソフトウェアの更新をしない場合は、「いいえ」を選びます。
- 「はい」を選ぶとチューナーのソフトウェア更新が始まります。
- ソフトウェアの更新中は操作できません。そのままで終了するまでお待ちください。

※ **ソフトウェアの更新中に電源プラグを抜いたりすると、本機が使用できなくなることがあります。**

7 「ソフトウェアを更新しました。」のメッセージが表示されたら、決定 を押す

- 本機が再起動します。
- 「モニターのソフトウェアも更新してください。」のメッセージも表示されていた場合は、前ページの「モニターのソフトウェアを更新する」の操作をしてください。

ソフトウェアのバージョンを確認する

1 設定メニュー を押す

2 で「初期設定」を選び、決定 を押す

3 で「ソフトウェアのダウンロード」を選び、決定 を押す

4 で「ソフトウェアバージョン」を選び、決定 を押す

5 ソフトウェアのバージョンを確認して、決定 を押す

6 確認が終わったら、終了 を押す

お知らせ

■ **東芝サーバーからのダウンロードについて**

- 回線の速度が遅い場合には、正しくダウンロードできないことがあります。このとき、「通信エラー」が表示されます。サーバーが一時的に停止していることもありますので、LAN端子の接続や設定（準備編 71 ～ 74 ）を確認し、しばらくたってからもう一度ダウンロードしてみてください。

メニュー 一覧

- 設定・調整のメニュー 一覧を下図に示します。（薄く記載している部分は、別冊「準備編」で使用する部分です）
  「準備編」のメニュー 一覧は、準備編 97 ～ 98 をご覧ください。
- メニューで選択できる項目は、映像や音声の種類などによって変わり、選択できない項目はメニュー画面で薄く表示されます。
- 以下は、「映像メニュー」、「音声メニュー」で「おまかせ」を選んでいる場合のメニュー 一覧です。

設定メニュー → 映像設定
- 映像メニュー 37
- お好み調整
  - 黒レベル 38
  - 色の濃さ 38
  - 色あい 38
  - シャープネス 38
  - 明るさ調整 44
  - 詳細調整 39～43
    - カラーイメージコントロールプロ
      - カラーイメージプロ設定
      - カラーパレットプロ調整
        - レッド
        - グリーン
        - ブルー
        - イエロー
        - マゼンダ
        - シアン
        - ユーザー1
        - ユーザー2
        - ユーザー3
      - 初期設定に戻す
    - レゾリューションプラス設定
      - レゾリューションプラス
      - アニメモード
      - レベル調整
    - ノイズリダクション設定
      - MPEG NR
      - ダイナミックNR
    - ピーク輝度調整
    - LEDエリアコントロール
    - Wスキャン倍速
    - オートファインシネマ
    - 色温度
    - ダイナミックガンマ
    - ガンマ調整
    - Vエンハンサー
  - 初期設定に戻す 38
- 画面調整 27
  - スキャン切換
  - 上下振幅調整
  - 上下画面位置
  - 左右振幅調整
  - 初期設定に戻す
- 1080p処理モード設定 46
- 色解像度 45
- 明るさ検出 44
- 室内環境設定
  - 照明の色
  - 外光設定
- ヒストグラム表示 45

設定メニュー → 音声設定
- 音声メニュー 47
- お好み調整 48～49
  - イコライザー
  - サラウンド
  - 低音強調
  - CM検出補正
  - 初期設定に戻す
- バランス 50
- 視聴距離 50
- ドルビーボリューム 50
- ドルビーDRC 50
- 光デジタル音声出力
- ヘッドホーンモード 31
- センタースピーカーモード

設定メニュー → 機能設定
- 省エネ設定
  - 消費電力
  - 番組情報取得設定
  - 無操作自動電源オフ
  - オンエアー無信号オフ
  - 外部入力無信号オフ
- 視聴制限設定
  - 視聴年齢制限設定
  - インターネット制限設定
    - レグザ版あんしんねっと設定
      - レグザ版あんしんねっと
      - 閲覧設定
    - ブラウザ起動制限設定
  - 暗証番号設定
  - 暗証番号削除
- 外部入力設定
  - 外部入力表示設定
    - HDMI1 設定
    - HDMI2 設定
    - HDMI3 設定
    - HDMI4 設定
    - HDMI5 設定
    - ビデオ1 設定
    - ビデオ2 設定
    - ビデオ3 設定
    - ゲーム1 設定
    - ゲーム2 設定
    - 初期設定に戻す
  - 外部入力自動スキップ
  - RGBレンジ設定
    - HDMI1
    - HDMI2
    - HDMI3
    - HDMI4
    - HDMI5
    - ゲーム1
  - HDMI4音声入力設定
- 信号フォーマット詳細表示設定
- ページ切換設定

- 設定メニュー → レグザリンク設定
  - 内蔵ハードディスク設定
    - 今すぐニュース番組登録
    - 機器名の変更
    - 自動削除設定
    - 省エネ設定
    - 機器の初期化
  - USBハードディスク設定
    - 機器の登録
    - 自動削除設定
    - 省エネ設定
    - 機器の取りはずし
    - 動作テスト
    - 機器の初期化
  - 録画再生設定
    - Eメール録画予約設定
      - 基本設定
        - POP3サーバーアドレス
        - POP3ユーザー名
        - POP3パスワード
        - APOP
        - POP3アクセス時刻
        - SMTPサーバーアドレス
        - メールアドレス
      - Eメール録画予約機能
      - 録画機器
      - メール予約パスワード
      - 予約設定結果通知
      - 指定メールアドレス
      - 予約アドレス登録
    - ダイレクト録画時間設定
    - ワンタッチスキップ設定
    - ワンタッチリプレイ設定
  - HDMI連動設定
    - HDMI連動機能
    - HDMI連動機器リスト
    - 連動機器→テレビ入力切換
    - 連動機器→テレビ電源
    - テレビ→連動機器電源オフ
    - PC映像連動
    - AVシステム連動
    - AVシステム音声連動
    - 優先スピーカー

- 設定メニュー → 初期設定
  - はじめての設定
  - リモコン設定
    - リモコン登録
    - リモコン削除
    - 呼出機能設定
  - アンテナ設定
    - 地上デジタルアンテナレベル
    - BS・110度CSアンテナレベル
    - BS・110度CSアンテナ電源供給
    - BS中継器切換
    - 110度CS中継器切換
  - チャンネル設定
    - 地上デジタル自動設定
      - 初期スキャン
      - 再スキャン
      - 自動スキャン
    - 地上アナログ自動設定
    - 手動設定
      - 地上デジタル
      - 地上アナログ
      - BS
      - 110度CS
    - チャンネルスキップ設定
      - 地上デジタル
      - 地上アナログ
      - BS
      - 110度CS
    - ステレオ／モノラル
    - 無信号消音設定
    - 初期設定に戻す
  - データ放送設定
    - 郵便番号と地域の設定
    - 文字スーパー表示設定
    - ルート証明書番号
  - 地デジ機能設定
    - 地デジ機能チャンネル設定
    - タイムシフトマシン録画設定
    - ハードディスク設定
    - 高速チャンネル選局設定
  - 通信設定
    - 電話回線設定
      - ダイヤル方式
      - 外線発信番号
      - 電話会社の設定
      - 電話番号通知設定
      - 電話回線テスト
      - 待ち時間の設定
    - 通信接続設定
      - 通信環境設定
      - LAN端子設定
        - IPアドレス設定
        - DNS設定
        - プロキシ設定
        - MACアドレス
        - 接続テスト
    - 接続確認メッセージ設定
    - 通信エラー履歴
  - B-CASカードの確認 117
  - ソフトウェアのダウンロード
    - 放送からのダウンロード
      - 自動ダウンロード 118
      - ダウンロードの予約 119
      - チューナーソフトウェアの更新 119
    - サーバーからのダウンロード開始 121
    - モニターソフトウェアの書出し 120
    - ソフトウェアバージョン 121
  - 設定の初期化

アイコン一覧

番組についてのアイコン

アイコン	説　明	アイコン	説　明
テレビ	テレビ放送	字	字幕放送
ラジオ	ラジオ放送	MV	マルチビューサービス（複数の映像・音声がある番組）
データ	データ放送	HD	デジタルハイビジョン放送
テレビd	データ放送がある場合（テレビ）	HD:1080i	放送フォーマットが1080iのデジタルハイビジョン放送
ラジオd	データ放送がある場合（ラジオ）	HD:720p	放送フォーマットが720pのデジタルハイビジョン放送
16:9	画面の横と縦の比が16：9の番組の放送	SD	デジタル標準テレビ放送
4:3	画面の横と縦の比が4：3の番組の放送	SD:480i	放送フォーマットが480iのデジタル標準テレビ放送
ステレオ	ステレオ音声放送	SD:480p	放送フォーマットが480pのデジタル標準テレビ放送
サラウンド	サラウンドステレオ放送	信号切換	複数の映像、または音声またはデータがある場合
二重音声	二重音声放送	年齢	視聴年齢制限が設定されている番組の場合

※ テレビd が表示されていなくても、データ放送（番組に連動していないもの）がある場合があります。
テレビd が表示されていても、放送局側の運用によってはデータ放送が番組に連動していない場合があります。

お知らせ、予約、録画、その他についてのアイコン

アイコン	説　明	アイコン	説　明
データ取得中	データの取得中です	ダビング	録画可能回数が制限されている番組の場合
回線使用中	電話回線の使用中です	デジタルコピー¥	デジタル録画できない番組の場合
	未読の「おしらせ」	デジタルコピー×	
	既読の「おしらせ」	光デジタルコピー可	光デジタル録音できます
	録画予約	光デジタルコピー1	1回のみ光デジタル録音できます
	録画中	光デジタルコピー¥	光デジタル録音できません
	通常録画番組	光デジタルコピー×	
	タイムシフトマシン録画番組	デジタルコピー可	デジタル録画できます
			非リンク型サービス（通信番組）14
			SSLなどの暗号通信をしている場合14

本機で対応しているHDMI入力信号フォーマット

● 「VESA規格」の欄に「○」が記載されている信号フォーマットは、本機のHDMI入力端子ではVESA規格に準拠する信号フォーマットにのみ対応しています。パソコンや映像機器によっては下表に示した解像度や周波数と異なる信号が入力されることがあり、正しい表示やフォーマット判定ができなかったり、映像が表示されなかったりすることがあります。その場合は下表に示されている入力信号のどれかに合うようにパソコンや映像機器の設定を変更してください。一部のパソコンでは有効画面領域を「解像度」と表記する場合があり、その場合は本機が表示する解像度と異なることがあります。
● リフレッシュレートが24/70/72/75Hzの信号は60Hzに変換して表示されます。
● 下表すべての信号に対応していますが、パソコンを接続する場合はリフレッシュレートが60Hzの信号を推奨します。

フォーマット名	表示解像度	リフレッシュレートまたは垂直周波数	水平周波数	ピクセルクロック	VESA規格
480i	720×480	59.94 / 60Hz	15.734 / 15.750kHz	27.000 / 27.027MHz	
480p	720×480	59.94 / 60Hz	31.469 / 31.500kHz	27.000 / 27.027MHz	
1080i	1920×1080	59.94 / 60Hz	33.716 / 33.750kHz	74.176 / 74.250MHz	
720p	1280×720	59.94 / 60Hz	44.955 / 45.000kHz	74.176 / 74.250MHz	
1080p	1920×1080	59.94 / 60Hz	67.433 / 67.500kHz	148.352 / 148.500MHz	
		23.98 / 24Hz	26.973 / 27.000kHz	74.176 / 74.250MHz	
VGA	640×480	59.94 / 60Hz	31.469 / 31.500kHz	25.175 / 25.200MHz	○
		72Hz	37.861kHz	31.500MHz	○
		75Hz	37.500kHz	31.500MHz	○
SVGA	800×600	60Hz	37.879kHz	40.000MHz	○
		72Hz	48.077kHz	50.000MHz	○
		75Hz	46.875kHz	49.500MHz	○
XGA	1024×768	60Hz	48.363kHz	65.000MHz	○
		70Hz	56.476kHz	75.000MHz	○
		75Hz	60.023kHz	78.750MHz	○
WXGA	1280×768	60Hz	47.776kHz	79.500MHz	○
		75Hz	60.289kHz	102.250MHz	○
	1360×768	60Hz	47.712kHz	85.500MHz	○
SXGA	1280×1024	60Hz	63.981kHz	108.000MHz	○

その他

お手入れについて

注意

■お手入れのときは、電源プラグをコンセントから抜く
感電の原因となることがあります。

■ ベンジン・アルコールなどは使わない
● ベンジン・アルコールなど揮発性のものは使わないでください。キャビネットが変質したり、塗料がはげたりすることがあります。

■ キャビネットや操作パネルのお手入れ
● キャビネットに付着しているゴミやほこりを取り除いてから、付属のクリーニングクロスや柔らかい布で軽くふき取ってください。よごれたクリーニングクロスや硬い布でふいたり、強くこすったりすると、キャビネットの表面に傷がつきますのでご注意ください。
● 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

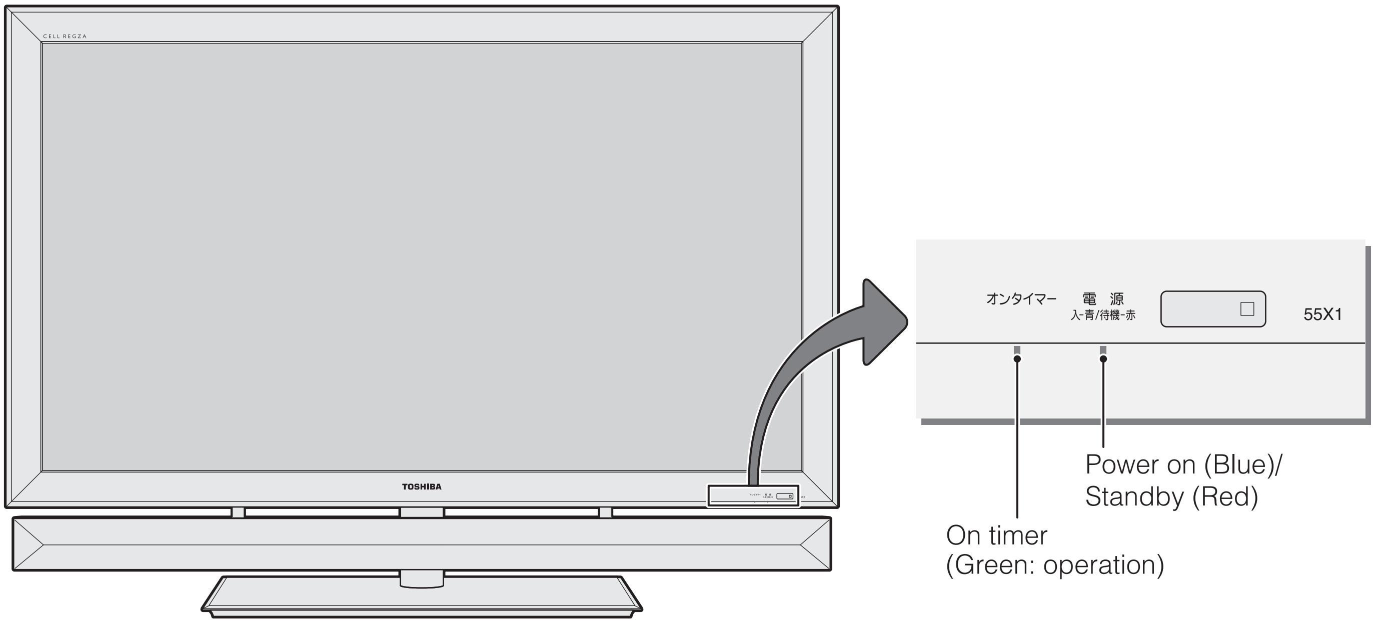
■ 画面(液晶パネル)は特殊な加工をしています
● 固い布でふいたり、強くこすったりすると表面が傷つきますので、ていねいに扱ってください。

■ 画面(液晶パネル)は水ぶきをしない
● 付属のクリーニンググロスで軽くふいてください。
● アセトンなどケトン類やキシレン、トルエンなどの溶剤、水は使用しないでください。

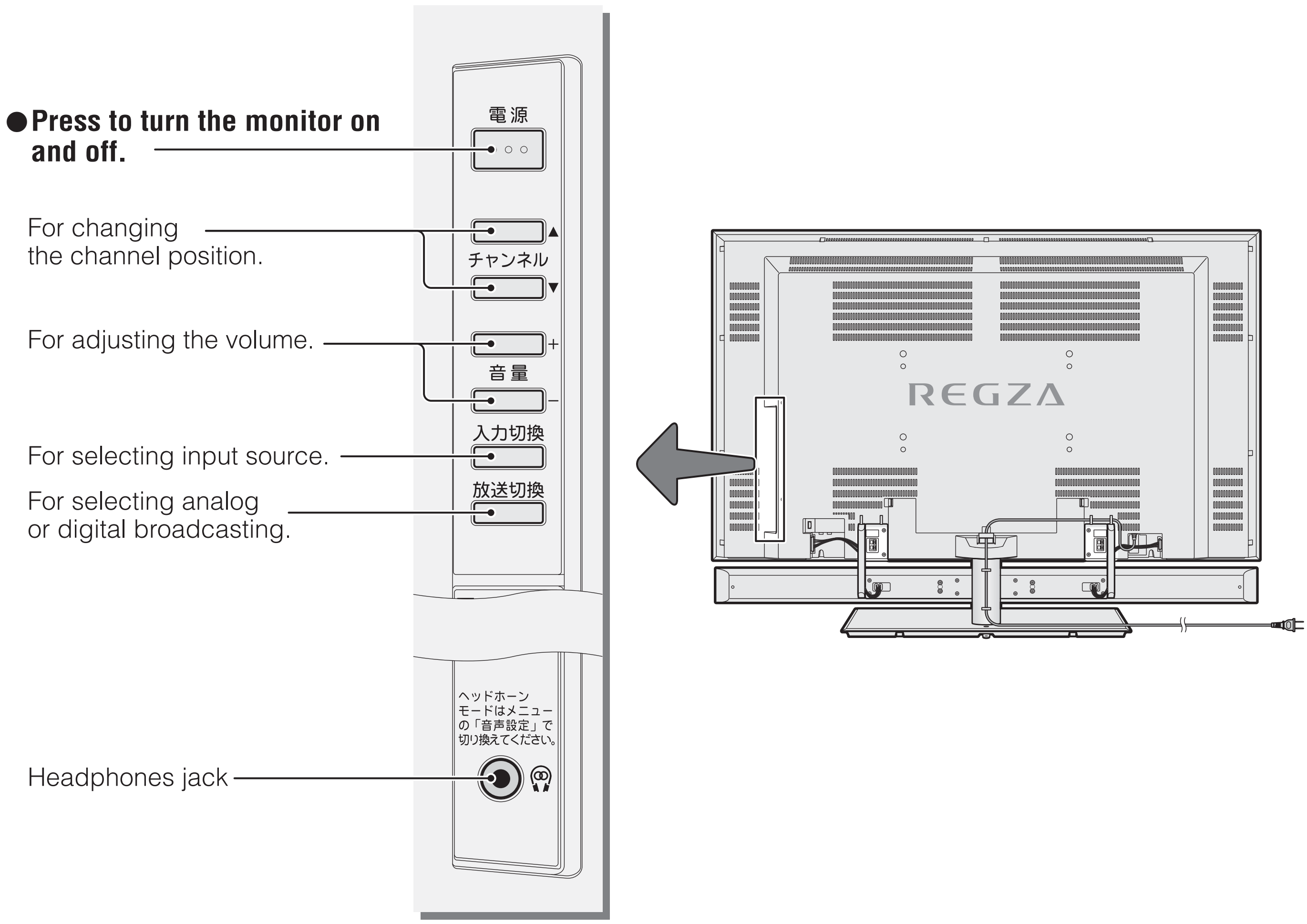
Basic Operations

- For more information on operations, safety instructions, maintenance,etc, please contact your local dealer.

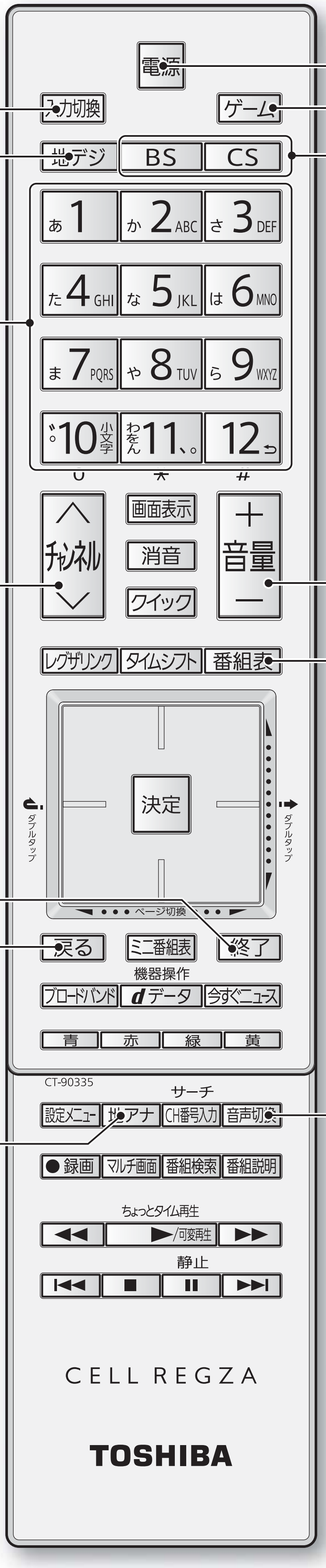
[Monitor Front Panel]



[Monitor Operation Panel]



[Remote controller]



Power button (ON/STANDBY)

Input selection button (except game inputs)

Game input selection button

● **For selecting Digital terrestrial broadcasting programs.**

● **For selecting Digital satellite broadcasting programs.**

● **For selecting program channeles.**

Channel sequential access button (Up / Down)

Sound volume adjustment button

EPG button

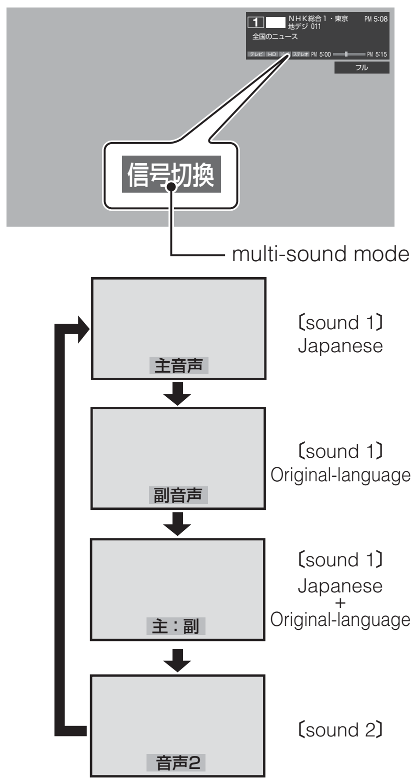
● **For accessing to the Electronic Program Guide (EPG). EPG provides you with a chart of the schedule of all available digital channels.**

Multi-sound mode selection button

● **For exiting menus or EPG mode.**

● **For returning to the previous screen when in menu or EPG mode.**

● **For selecting Analog terrestrial broadcasting programs.**



Basic Operations

その他

さくいん

番号

A

B

C

D

E

G

H

L

M

P

V

W

Y

あ

い

え

お

さくいん

仕様

種類	ハードディスク内蔵　地上・BS・110度CSデジタルハイビジョン液晶テレビ	
形名	55X1	
電源	AC 100V 50/60Hz共用	
	チューナー部	モニター部
消費電力	140W 電源「待機」時 0.2W （機能動作時は115W）※1	320W 電源「待機」時 0.1W 電源「切」時 0.09W
外形寸法　幅	43.6cm	133.3cm
外形寸法　高さ	10.9cm	90.3cm（別売卓上スタンド取付時96.3cm）
外形寸法　奥行	38.7cm	10.0cm（別売卓上スタンド取付時40.2cm）
質量	10.5kg	37.5kg（別売卓上スタンド取付時44kg）
液晶画面　画面寸法	幅 121.0cm、 高さ 68.0cm、 対角 138.8cm（55V 型）	
液晶画面　駆動方式	TFT アクティブマトリクス	
液晶画面　画素数	水平 1920 ×垂直 1080	
受信チャンネル	地上アナログ：VHF（1～12）、UHF（13～62）、CATV（C13～C63） 地上デジタル：VHF（1～12）、UHF（13～62）、CATV（C13～C63） BSデジタル：BS000～BS999、110度CSデジタル：CS000～CS999	
スピーカー	8cm 丸（ウーハー）×４個、3cm 丸（ツイーター）×3 個	
音声出力	ウーハー：20W+20W（JEITA）、ツイーター：10W+10W（JEITA）	
入力・出力端子　ビデオ入力1～3 ゲーム2	S2映像：Y入力：1V(p-p)、75Ω、同期負、C入力：0.286V(p-p)(バースト信号)、75Ω 映像：1V(p-p)、75Ω、同期負、ピンジャック 音声：200mV(rms)、22kΩ以上、ピンジャック	
入力・出力端子　D5映像入力 （ビデオ入力1／ゲーム2）	Y:1V(p-p)、PB/CB、PR/CR：0.7V(p-p)、14ピン、1.27mmピッチ	
入力・出力端子　HDMI 1～5 ゲーム1	HDMI（v.1.3a with DeepColor, "x.v.Color", Lip Sync） HDMI4アナログ音声入力：200mV(rms)、22kΩ以上、口径3.5mmステレオミニジャック	
入力・出力端子　USB（録画専用）端子	USB2.0	
入力・出力端子　USB端子	USB2.0	
入力・出力端子　光デジタル音声出力	トスリンク	
入力・出力端子　音声出力（固定）端子	200mV(rms)、2.2kΩ以下、ピンジャック	
入力・出力端子　電話回線接続端子	モジュラージャック方式	
入力・出力端子　LAN端子	RJ-45	
入力・出力端子　ヘッドホーン端子	口径3.5mmステレオミニジャック、適合インピーダンス8Ω～32Ω	
使用環境条件	使用周囲温度：0℃～35℃、使用周囲湿度：20%～80%（結露のないこと）	
付属品	「付属品」（準備編 6 ）をご覧ください。	

※1：電源「待機」時に以下の動作をしているときの消費電力です。
- 内蔵ハードディスクで録画しているとき（タイムシフトマシン録画、今すぐニュース自動録画、予約録画）
- 番組情報などを取得しているとき
- 「Eメール録画予約設定」の「POP3アクセス時刻」で設定した時刻に、メールサーバーにアクセスしているとき

ブラウザの仕様（Yahoo! JAPAN、アクトビラ）

記述言語	HTML4.01, XHTML1.1, XHTML Basic
動作記述言語	ECMAScript（ECMA-262 3rd Edition）
DOM	DOM1.0, DOM2.0
スタイルシート	CSS1.0, CSS2.0
セキュア通信	SSL2.0, SSL3.0, TLS1.0
プラグイン	なし

詳細は以下のURLをご覧ください。
http://www.toshiba.co.jp/dm_env/dm/label.htm#jmoss

- 意匠・仕様・ソフトウェアは製品改良のため予告なく変更することがあります。
- テレビのＶ型（55Ｖ型）は、有効画面の対角寸法を基準とした大きさの目安です。
- このテレビを使用できるのは日本国内だけで、外国では放送方式、電源電圧が異なるため使用できません。
  (This television set is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.)
- 本機はペイ・パー・ビュー（PPV）放送には対応していません。
- 本商品は、ご愛用終了時に再資源化の一助としておもなプラスチック部品に材質名表示をしています。
- 本商品の改造は感電、火災などのおそれがありますので行わないでください。
- イラスト、画面表示などは、見やすくするために誇張や省略などで実際とは多少異なります。
- 省エネルギーのため長時間テレビを見ないときは電源プラグを抜いてください。
- 「JIS C 61000－3－2 適合品」 ― JIS C 61000－3－2 適合品とは、日本工業規格「電磁両立性一第3-2部：限度値一高調波電流発生限度値（1相当たりの入力電流が20A以下の機器）」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計・製造した製品です。
- 液晶画面は非常に精密度の高い技術で作られており、微細な画素の集合で表示しています。99.99%以上の有効画素があり、ごく一部（0.01%以下）に光らない画素や、常時点灯する画素などがありますが、故障ではありませんので、ご了承ください。
- 静止画をしばらく表示したあとで映像内容が変わった時に、前の静止画が残像として見えることがありますが、自然に回復します。（故障ではありません。）
- 国外で本品を使用して有料放送サービスを享受することは有料放送契約上禁止されています。
  (It is strictly prohibited, as outlined in the subscription contract, for any party to receive the services of scrambled broadcasting through use of this television set in any country other than Japan and its geographic territory as defined by international Law.)

ライセンスおよび商標などについて

- この製品はドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
Dolby、ドルビー、及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
- 本製品は、株式会社ACCESSのNetFront Browserを搭載しています。
ACCESS、NetFrontは、日本国およびその他の国における株式会社ACCESSの商標または登録商標です。
© 2009 ACCESS CO., LTD. All rights reserved.
- 本製品はOPERA Software ASAの開発したOperaプラウザを搭載してます。
OperaはOpera Software ASAの商標または登録商標です。
Operaに関する詳細についてはhttp://www.opera.comをご覧ください
- SDHCロゴは商標です。
- Audyssey Laboratoriesからの実施権に基づき製造されています。
Audyssey EQはAudyssey Laboratoriesの商標です。
Audyssey EQとは、オーディオ製品で採用されている、MultEQ(マルチイコライザー)の技術をベースにした音響補正技術です。この技術では従来の周波数だけではなく、タイムドメイン(時間軸)の補正をすることで、最適な音質を作り出すことができます。本機の設計段階でマイクによる測定を行い、キャビネットなどの影響を補正しながら、最適な音響特性を実現しました。
- DLNA®, DLNA認定ロゴはDigital Living Network Allianceの登録商標あるいは認定マークです。
- HDMI、MDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing LLCの商標、または登録商標です。
- 本製品はAdobe Systems Incorporatedが開発したAdobe® Flash® player テクノロジーを搭載しています。
Adobe、FlashはAdobe Systems Incorporatedの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- YouTubeおよびYouTubeロゴは、Google Inc.の登録商標です。
- テレビサーフモバイルサービスは株式会社東芝が運営する携帯電話向けのテレビ録画予約サービスです。
テレビサーフは株式会社東芝の商標です。
- iモードは株式会社NTTドコモの登録商標です。
- EZwebはKDDI株式会社の商標です。
- Yahoo!ケータイはソフトバンクモバイル株式会社の商標です。
- 本製品の一部分に Independent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。
- この製品にはPPXP開発チームによって開発されたソフトウェアが含まれています。
- この製品に含まれているソフトウェアをリバース・エンジニアリング、逆アセンブル、逆コンパイル、分解またはその他の方法で解析、及び変更することは禁止されています。
- **AVC PATENT PORTFOLIO LICENSE**
THIS PRODUCT IS LICENSED UNDER THE AVC PATENT PORTFOLIO LICENSE FOR THE PERSONAL AND NON COMMERCIAL USE OF A CONSUMER TO (i) ENCODE VIDEO IN COMPLIANCE WITH THE AVC STANDARD (“AVC VIDEO”) AND/OR (ii) DECODE AVC VIDEO THAT WAS ENCODED BY A CONSUMER ENGAGED IN A PERSONAL AND NON-COMMERCIAL ACTIVITY AND/OR WAS OBTAINED FROM A VIDEO PROVIDER LICENSED TO PROVIDE AVC VIDEO. NO LICENSE IS GRANTED OR SHALL BE IMPLIED FOR ANY OTHER USE. ADDITIONAL INFORMATION MAY BE OBTAINED FROM MPEG LA,L.L.C. SEE HTTP//WWW.MPEGLA.COM
- **MPEG-4 VISUAL PATENT PORTFOLIO LICENSE**
THIS PRODUCT IS LICENSED UNDER THE MPEG-4 VISUAL PATENT PORTFOLIO LICENSE FOR THE PERSONAL AND NON-COMMERCIAL USE OF A CONSUMER FOR (i) ENCODING VIDEO IN COMPLIANCE WITH THE MPEG-4 VISUAL STANDARD (“MPEG-4 VIDEO”) AND/OR (ii) DECODING MPEG-4 VIDEO THAT WAS ENCODED BY A CONSUMER ENGAGED IN A PERSONAL AND NON-COMMERCIAL ACTIVITY AND/OR WAS OBTAINED FROM A VIDEO PROVIDER LICENSED BY MPEG LA TO PROVIDE MPEG-4 VIDEO. NO LICENSE IS GRANTED OR SHALL BE IMPLIED FOR ANY OTHER USE. ADDITIONAL INFORMATION INCLUDING THAT RELATING TO PROMOTIONAL, INTERNAL AND COMMERCIAL USES AND LICENSING MAY BE OBTAINED FROM MPEG LA, L.L.C. SEE HTTP://WWW.MPEGLA.COM
- **PATENT LICENSE AGREEMENT mp3 Codec**
MPEG Layer-3 audio coding technology licensed from Fraunhofer LLS and Thomson.
- Portions of this software are copyright © 2008 The FreeType Project (www.freetype.org). All rights reserved.
- This product includes software developed by the University of California, Berkeley and its contributors.
- This product includes software developed by the Computer Systems Laboratory at the University of Utah.

B-CASカードID番号記入欄

- B-CASカードのID番号をご記入ください。お問い合わせの際に役立ちます。
- B-CAS-1（赤）のID番号は、有料放送のお申し込みやお問い合わせにご使用ください。

B-CAS-1（赤）																				
B-CAS-2（青）																				
B-CAS-3（青）																				
B-CAS-4（青）																				
B-CAS-5（青）																				
B-CAS-6（青）																				

保証とアフターサービス

必ずお読みください

修理・お取り扱いについてご不明な点は

お買い上げの販売店にご相談ください。

販売店にご相談ができない場合は、以下の窓口にご相談ください。

「東芝テレビご相談センター」【受付時間】365日／9:00~20:00

【一般回線・PHSからのご利用は】(通話料：無料)
フリーダイヤル **0120-97-9674**（クナン クローナシ）

● IP電話などでフリーダイヤルサービスをご利用になれない場合は、
03-6830-1048 (通話料：有料)

【携帯電話からのご利用は】(通話料：有料)
ナビダイヤル **0570-05-5100**

【FAXからのご利用は】(通信料：有料)
03-3258-0470

- お客様からご提供いただいた個人情報は、修理やご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。
- 利用目的の範囲内で、当該製品に関連する東芝グループ会社や協力会社にお客様の個人情報を提供する場合があります。

ホームページに最新の商品情報などを掲載しておりますので、ご参照ください。 www.toshiba.co.jp/regza
※上記のアドレスは予告なく変更される場合があります。その場合は、お手数ですが、東芝総合ホームページ (www.toshiba.co.jp) をご参照ください。

保証書（別添）

- 保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき内容をよくお読みのあと、たいせつに保管してください。

保証期間……お買い上げの日から１年間です。
B-CASカードは、保証の対象から除きます。

補修用性能部品の保有期間

- 液晶テレビの補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後8年です。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

部品について

- 修理のために取りはずした部品は、特段のお申し出がない場合は当社で引き取らせていただきます。
- 修理の際、当社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

修理を依頼されるときは～出張修理

- 94ページに従って調べていただき、なお異常があるときは本体の電源を切り、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

■保証期間中は

修理に関しては保証書をご覧ください。保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

■保証期間が過ぎているとき

修理すれば使用できる場合には、ご希望によって有料で修理させていただきます。

■修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。	
技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の料金です。

■ご連絡いただきたい内容

品名	地上・BS・110度CSデジタルハイビジョン液晶テレビ
形名	55X1
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	付近の目印等もあわせてお知らせください。
お名前	
電話番号	
訪問ご希望日	
お買い上げ店名	おぼえのため、ご購入年月日、ご購入店名を記入されると便利です。 TEL(　　)　―

廃棄時にご注意願います

- 家電リサイクル法では、お客様がご使用済の液晶テレビを2009年4月1日以降に廃棄される場合は、収集・運搬料金、再商品化等料金（リサイクル料金）をお支払いいただき、対象品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。

愛情点検

長年ご使用のテレビの点検をぜひ！ 熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用の度合いによって部品が劣化し、故障したり、ときには安全性を損なって事故につながることもあります。

ご使用の際このような症状はありませんか?

- 電源を入れても映像や音が出ない。
- 映像が時々、消えることがある。
- 変なにおいがしたり、煙が出たりする。
- 電源を切っても、映像や音が消えない。
- 内部に水や異物がはいった。

ご使用中止 このような場合、故障や事故防止のため、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、必ずお買い上げの販売店に点検・修理をご相談ください。ご自分での修理は危険ですので、絶対にしないでください。

- 表紙は有機物質を含む廃液が少ない水なし印刷方式で作成しました。
- この印刷物は環境に配慮した植物性大豆油インキを使用しています。
- この印刷物は再生紙を使用しています。

株式会社 東芝
デジタルメディアネットワーク社
〒105-8001　東京都港区芝浦1-1-1
※所在地は変更になることがありますのでご了承ください。

ちょっとした心づかいでテレビの安全

(TD/T1)　VX1A00148600